

# **第3次四街道市地域福祉計画策定に係る 基礎調査報告書**

**令和3年 3月**

**四街道市**



# 目次

<b>I. 基礎調査の概要</b> .....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 団体アンケートにおける調査対象一覧.....	3
4 報告書の見方.....	4
<b>II. 市民アンケート調査結果</b> .....	5
1 回答者自身について.....	6
2 「地域との関わり」について.....	10
3 「地域での活動」について.....	18
4 「福祉の考え方」について.....	29
5 「地域の変化」について.....	37
6 「地域における支え合い」について.....	41
7 「福祉に関する情報・相談など」について.....	47
8 「防災」について.....	62
9 「福祉教育・学習」について.....	65
10 「福祉全般」について.....	69
<b>III. 団体アンケート調査結果</b> .....	85
1 団体が行っている福祉に関する活動について.....	85
2 地域包括ケアシステム等について.....	90
3 団体が活動する地域について.....	92
4 四街道市の現状について.....	100
5 今後の活動について.....	102
<b>IV. 団体意見交換会・まとめ</b> .....	107
1 第1回意見交換会の主な意見.....	107
2 第2回意見交換会の主な意見.....	113
（資料①）市民アンケート調査票.....	117
（資料②）団体アンケート調査票.....	135

# I . 基礎調査の概要

---

# 1 調査の目的

本調査は、第3次四街道市地域福祉計画策定にあたり、市民や団体の方の状況やご意見などを広くお聞きし、計画策定のための基礎資料とするために実施しました。

# 2 調査概要

①市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"><li>●調査地域:四街道市全域</li><li>●調査対象者:18歳以上の市内在住者 (2,000名を無作為抽出)</li><li>●調査期間:令和2年6月8日～6月23日</li><li>●調査方法:郵送による発送・回収</li><li>●回収件数:1,202件(回収率60.1%)</li></ul>
②団体アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"><li>●調査対象者: 四街道市の地域福祉の中核を担う団体 (30団体)</li><li>●調査期間:令和2年6月8日～6月23日</li><li>●調査方法:郵送による発送・回収</li><li>●回収件数:27件(回収率90.0%)</li></ul>
③団体意見交換会	<ul style="list-style-type: none"><li>●対象者: 四街道市の地域福祉の中核を担う団体 (21団体)</li><li>●開催場所:保健センター3階大会議室</li><li>●開催日時・参加人数: 令和2年7月9日 13:30～15:00／15名 令和2年7月13日 10:00～11:30／13名</li><li>●議題:<ul style="list-style-type: none"><li>①日常の活動(地域内、団体内)を通じて、課題や問題となっていることについて</li><li>②①を解決するために障害となっていること、具体的な解決策について</li><li>③その他の地域福祉の推進に関する意見・要望について</li></ul></li></ul>

### 3 団体アンケートにおける調査対象一覧

No.	団体名
1	千代田中学校地区社会福祉協議会
2	四街道北中学校地区社会福祉協議会
3	四街道西中学校A地区社会福祉協議会
4	四街道西中学校B地区社会福祉協議会
5	四街道中学校地区社会福祉協議会
6	旭中学校地区社会福祉協議会
7	福祉協力員
8	四街道市ボランティア連絡協議会
9	特別養護老人ホームあすみの丘
10	四街道市身体障害者福祉会
11	四街道市婦人会
12	四街道市PTA連絡協議会
13	四街道市社会福祉協議会
14	四街道市更生保護女性会
15	四街道市保護司会
16	四街道市シニアクラブ連合会
17	四街道市赤十字奉仕団
18	四街道市保健推進員
19	千代田中学校地区民生委員・児童委員協議会
20	北中学校地区民生委員・児童委員協議会
21	西中学校A地区民生委員・児童委員協議会
22	西中学校B地区民生委員・児童委員協議会
23	四街道中学校地区民生委員・児童委員協議会
24	旭中学校地区民生委員・児童委員協議会
25	NPO 法人 四街道こどもネットワーク
26	NPO 法人四街道プレーパークどんぐりの森
27	わろうべの里づくりの会（わろうべ会）
28	蔵の図書館
29	認定 NPO 法人 たすけあいの会ふきのとう
30	四街道市障害者親の会連絡会のぞみの会

## 4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。
- グラフおよび表のn数は、各設問に対する有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 設問によって、一部「n」の数（サンプル数）が少ない場合があることから、その場合は参考値とします。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

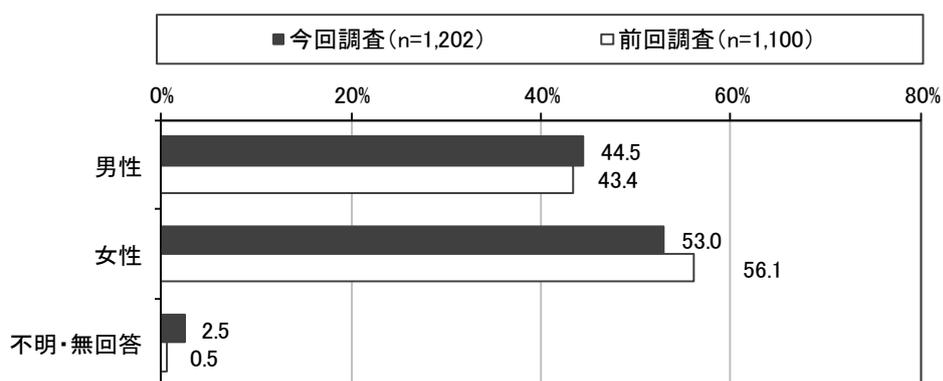
## Ⅱ. 市民アンケート調査結果

---

# 1 回答者自身について

## 問 1 あなたの性別はどちらですか。(単数回答)

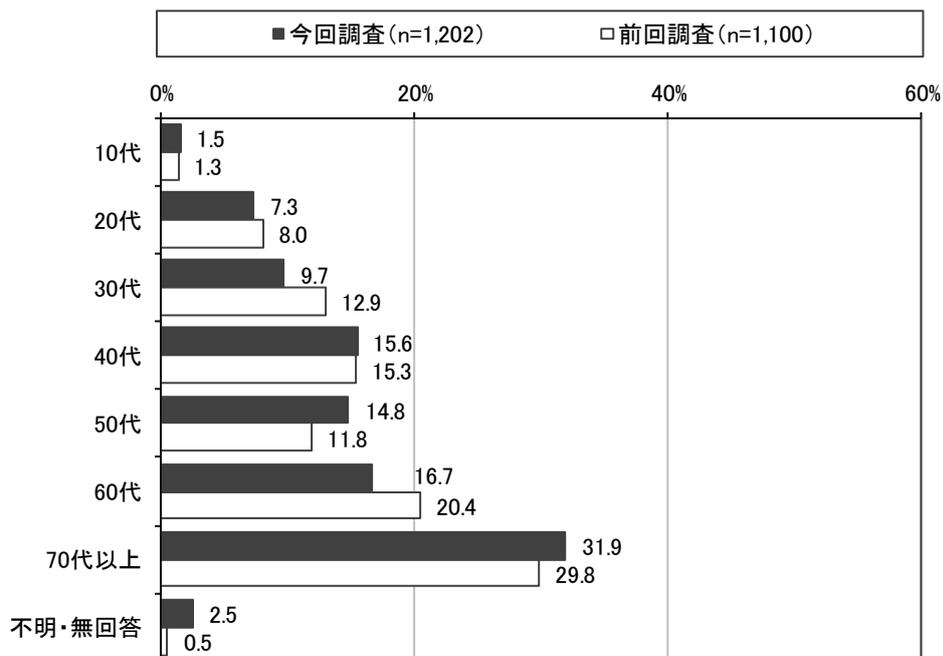
「男性」が44.5%、「女性」が53.0%となっています。  
前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



## 問 2 あなたの年代はどれですか。(単数回答)

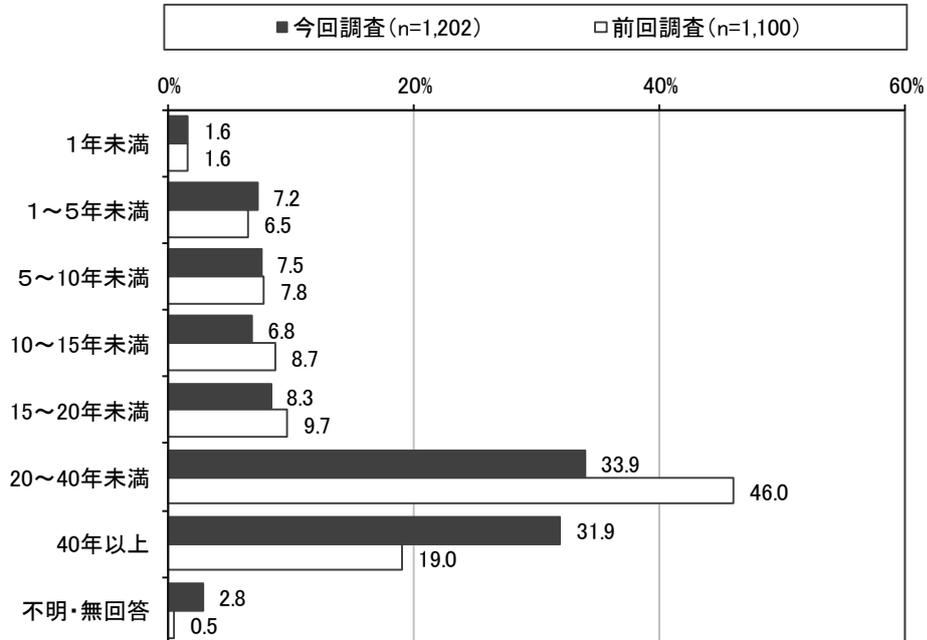
「70代以上」が31.9%と最も多く、次いで「60代」が16.7%、「40代」が15.6%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



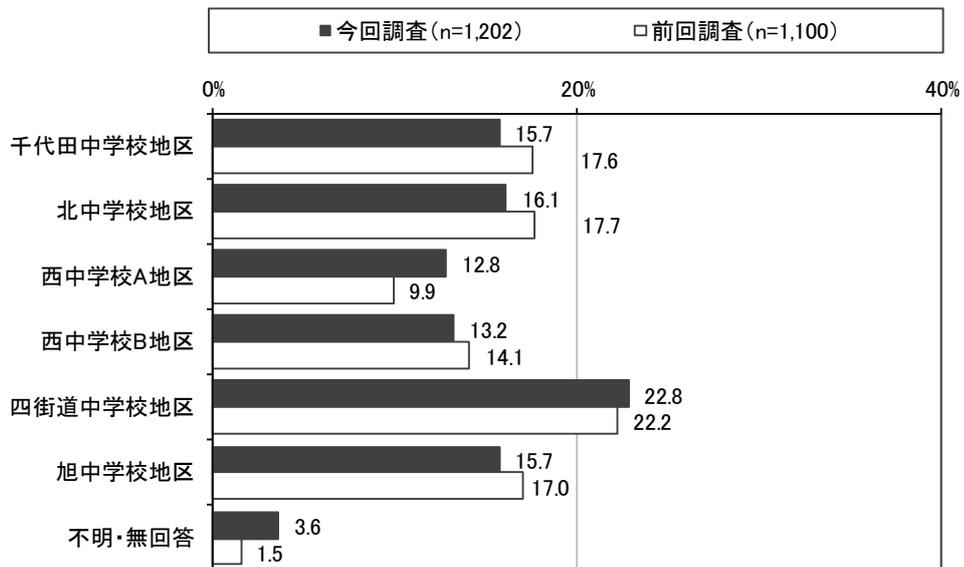
### 問 3 あなたは四街道市内に何年住んでいますか。(単数回答)

「20～40年未満」が33.9%と最も多く、次いで「40年以上」が31.9%となっています。  
 前回調査と比較すると、「40年以上」が12.9ポイント前回より多く、「20～40年未満」が12.1ポイント前回より少なくなっています。



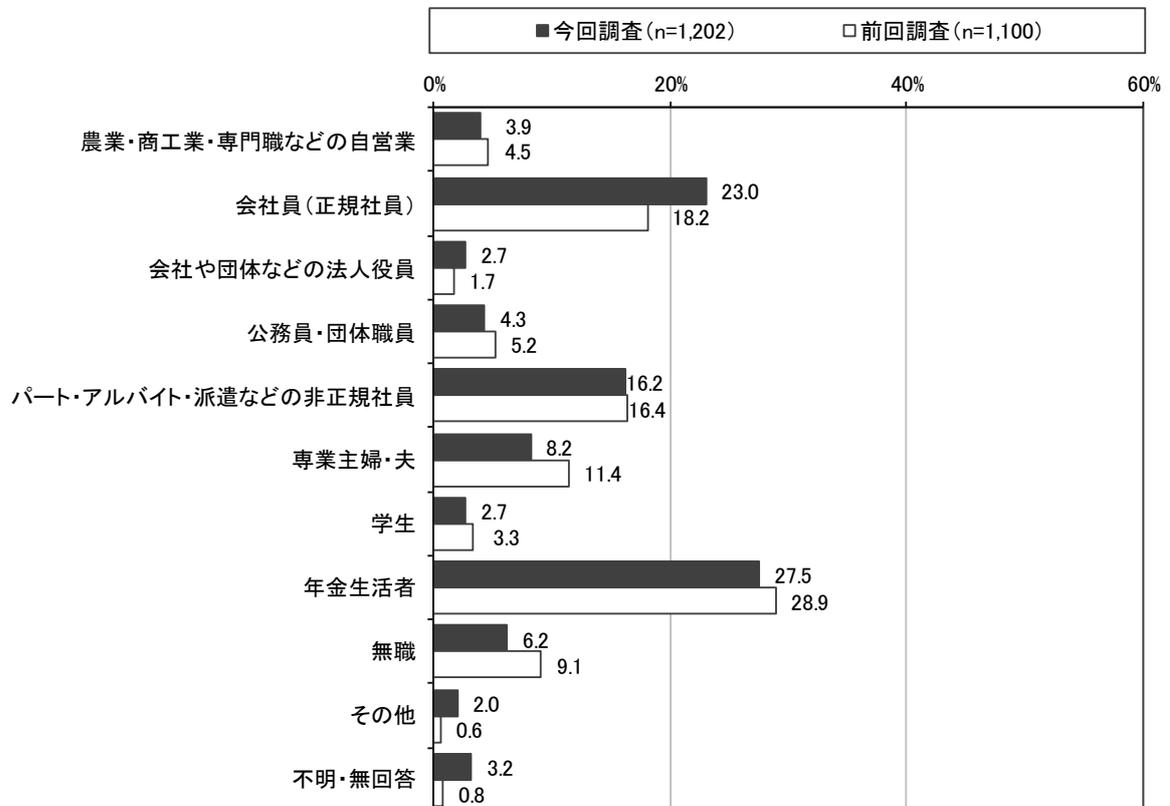
### 問 4 お住まいの地区はどこですか。(単数回答)

「四街道中学校地区」が22.8%と最も多く、次いで「北中学校地区」が16.1%などとなっています。  
 前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



## 問 5 あなたの主な職業は何ですか。(単数回答)

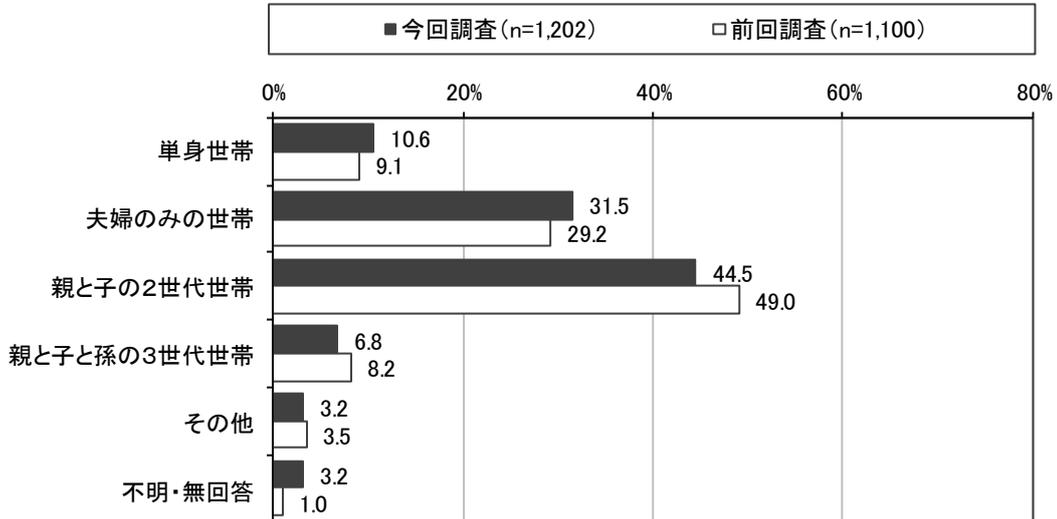
「年金生活者」が27.5%と最も多く、次いで「会社員（正規社員）」が23.0%となっています。前回調査と比較すると、「会社員（正規社員）」が4.8ポイント前回より多くなっています。



**問 6 あなたの家族（世帯）構成はどのようになっていますか。（単数回答）**

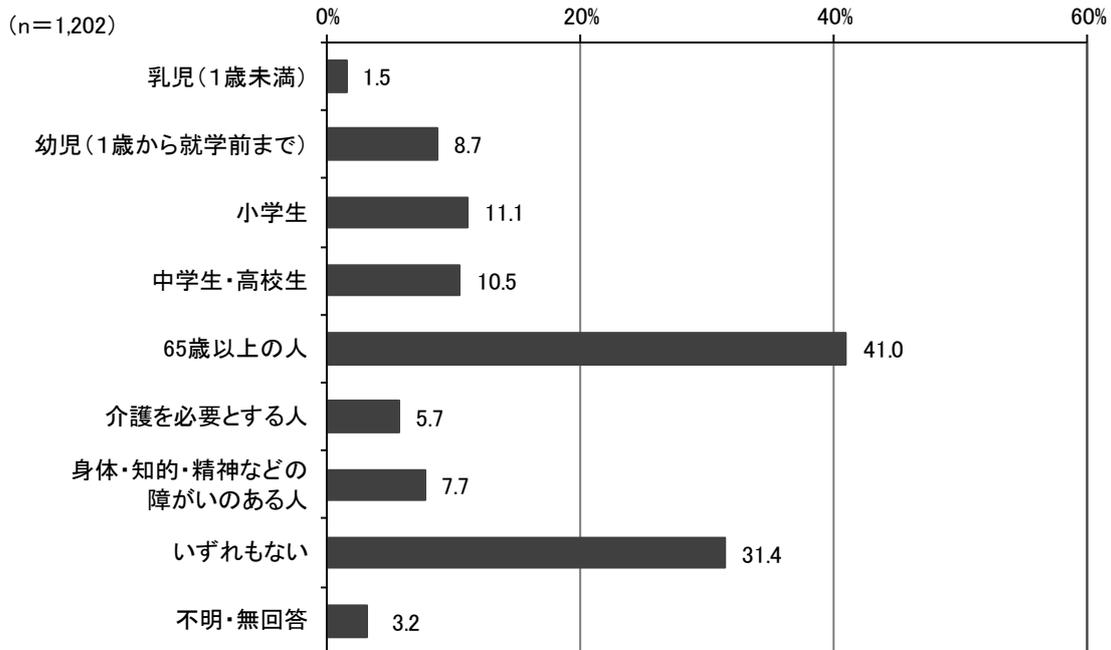
「親と子の2世代世帯」が44.5%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が31.5%となっています。

前回調査と比較すると、「親と子の2世代世帯」が4.5ポイント前回より少なくなっています。



**問 7 あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。（複数回答）**

「65歳以上の人」が41.0%と最も多く、次いで「いずれもない」が31.4%となっています。

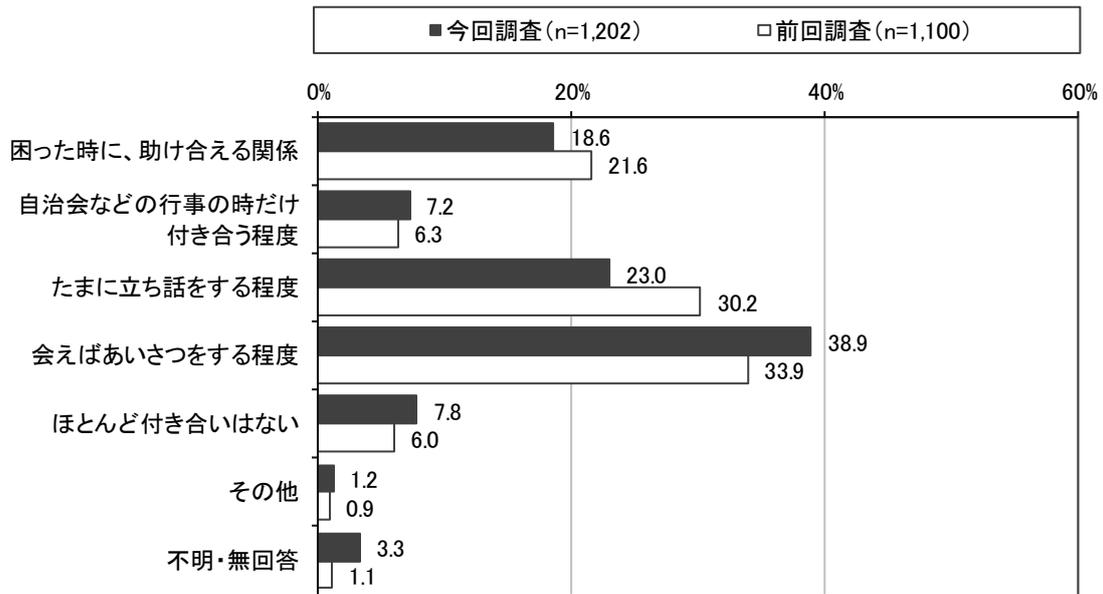


## 2 「地域との関わり」について

### 問 8 あなたは、現在、ご近所とどのようなお付き合いをされていますか。（単数回答）

「会えばあいさつをする程度」が38.9%と最も多く、次いで「たまに立ち話をする程度」が23.0%となっています。

前回調査と比較すると、「会えばあいさつをする程度」が5.0ポイント前回より多く、「たまに立ち話をする程度」が7.2ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、70代以上では「困った時に、助け合える関係」が、それ以外の年代では「会えばあいさつをする程度」が最も多く、特に「会えばあいさつをする程度」については、年代が下がる程「会えばあいさつをする程度」の割合が概ね多くなっており、10-20代では全体より22.4ポイント多くなっています。

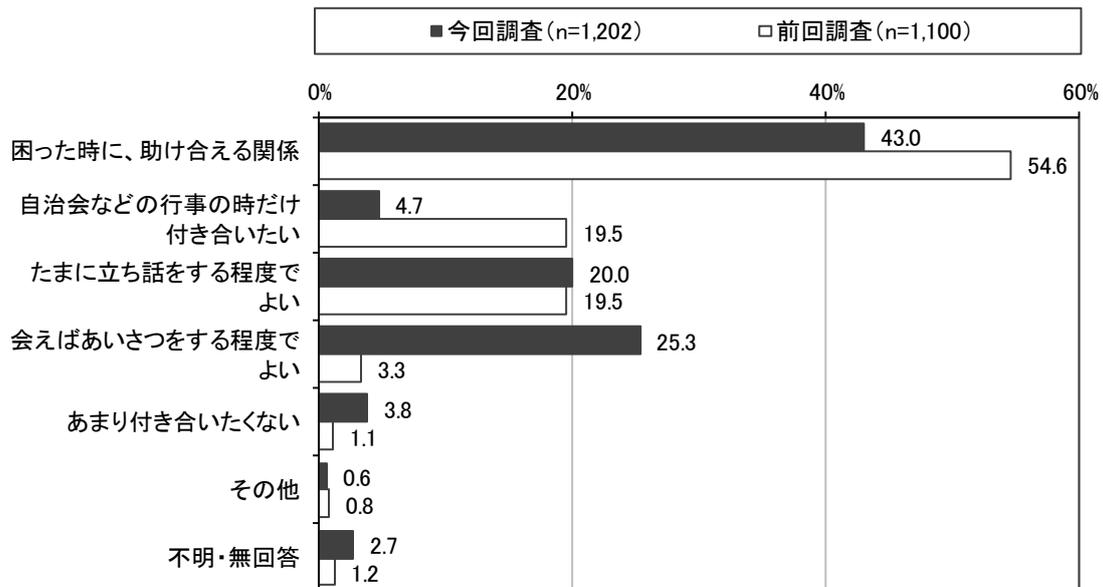
地区別をみると、いずれも「会えばあいさつをする程度」が最も多く、特に西中学校 A 地区と B 地区では、全体より5ポイント以上多くなっています。また、西中学校 A 地区では「ほとんど付き合いはない」が、旭中学校地区では「困った時に、助け合える関係」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

(単位:%)		困った時に、助け合える関係	自治会などの付き合い合う程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	ほとんど付き合いはない	その他	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	18.6	7.2	23.0	38.9	7.8	1.2	3.3	
年代別	10-20代	(n=106)	2.8	1.9	15.1	61.3	15.1	0.0	3.8
	30代	(n=116)	13.8	4.3	18.1	46.6	15.5	0.9	0.9
	40代	(n=188)	17.6	3.2	19.1	45.7	10.6	0.5	3.2
	50代	(n=178)	15.2	7.9	15.7	47.8	9.0	0.6	3.9
	60代	(n=201)	16.4	9.5	31.3	33.3	5.5	1.0	3.0
	70代以上	(n=383)	27.9	9.9	26.1	26.6	3.1	2.3	3.9
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	21.7	9.5	24.9	34.4	5.8	1.6	2.1
	北中学校地区	(n=194)	20.1	7.7	24.7	34.0	8.2	1.5	3.6
	西中学校A地区	(n=154)	13.6	7.1	13.6	48.1	13.0	0.0	4.5
	西中学校B地区	(n=159)	14.5	8.2	20.8	44.0	6.3	1.9	4.4
	四街道中学校地区	(n=274)	16.1	6.9	25.2	38.7	9.1	0.4	3.6
	旭中学校地区	(n=189)	25.9	3.2	22.8	39.2	5.3	2.1	1.6

**問 9 あなたは、今後、ご近所とどのようなお付き合いができるとうよいと思いますか。  
(単数回答)**

「困った時に、助け合える関係」が 43.0%と最も多く、次いで「会えばあいさつをする程度でよい」が 25.3%となっています。

前回調査と比較すると、「会えばあいさつをする程度でよい」が 22.0ポイント前回より多く、「自治会などの行事の時だけ付き合いたい」が 14.8ポイント、「困った時に、助け合える関係」が 11.6ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

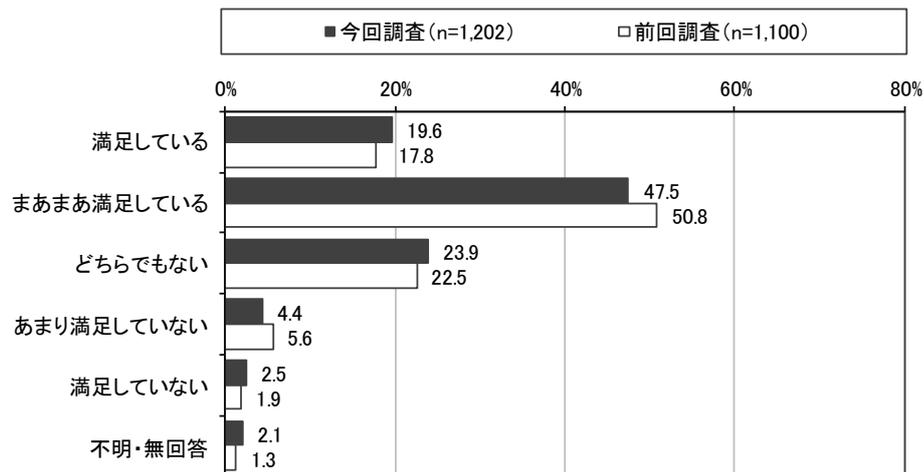
年代別をみると、10-20代では「困った時に、助け合える関係」と「会えばあいさつをする程度でよい」が、それ以外の年代では「困った時に、助け合える関係」が最も多く、特に10-20代の「会えばあいさつをする程度でよい」では、全体より11.5ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「困った時に、助け合える関係」が最も多く、特に千代田中学校地区では、全体より6.2ポイント多くなっています。

(単位:%)		困った時に、助け合える関係	自治会などの行事の時だけ付き合いたくない	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをする程度	あまり付き合いたくない	その他	不明・無回答
合計 (n=1,202)		43.0	4.7	20.0	25.3	3.8	0.6	2.7
年代別	10-20代 (n=106)	36.8	0.9	16.0	36.8	8.5	0.0	0.9
	30代 (n=116)	44.8	5.2	17.2	28.4	4.3	0.0	0.0
	40代 (n=188)	37.8	2.7	22.3	27.7	5.9	0.5	3.2
	50代 (n=178)	42.1	6.2	14.6	30.3	3.9	0.0	2.8
	60代 (n=201)	41.3	5.5	21.9	23.9	4.0	1.0	2.5
	70代以上 (n=383)	48.6	5.5	21.4	18.3	1.6	1.0	3.7
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	49.2	6.3	18.0	23.8	1.6	0.0	1.1
	北中学校地区 (n=194)	44.8	5.7	20.1	22.2	3.6	0.5	3.1
	西中学校A地区 (n=154)	36.4	7.8	17.5	29.9	4.5	0.0	3.9
	西中学校B地区 (n=159)	39.0	4.4	21.4	27.7	3.8	1.9	1.9
	四街道中学校地区 (n=274)	42.0	2.6	21.9	24.8	5.1	0.0	3.6
	旭中学校地区 (n=189)	46.0	2.6	18.5	25.4	4.2	1.6	1.6

**問 10 現在お住まいの地域との関わりについて、あなたは満足していますか。**  
**(単数回答)**

「まあまあ満足している」が47.5%と最も多く、「満足している」(19.6%)を合わせた“満足している”は67.1%となっています。また「どちらでもない」は23.9%で、「あまり満足していない」(4.4%)と「満足していない」(2.5%)を合わせた“満足していない”は6.9%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

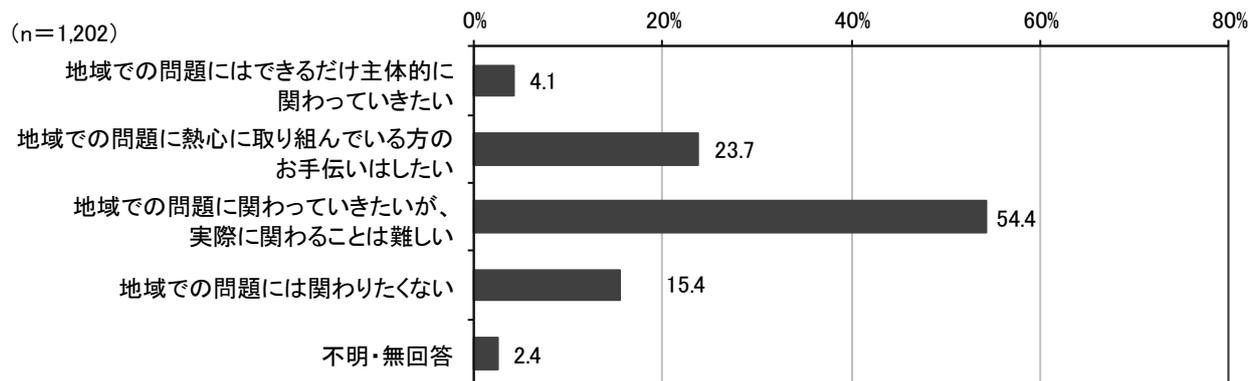
年代別をみると、いずれも「まあまあ満足している」が最も多くなっています。また、10-20代では「満足している」が、全体より12.5ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「まあまあ満足している」が最も多く、特に千代田中学校地区では、全体より7.5ポイント多くなっています。また、北中学校地区では「満足している」が、西中学校A地区では「どちらでもない」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

(単位:%)		満足している	まあまあ満足している	どちらでもない	あまり満足していない	満足していない	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	19.6	47.5	23.9	4.4	2.5	2.1	
年代別	10-20代	(n=106)	32.1	36.8	27.4	1.9	0.9	0.9
	30代	(n=116)	16.4	46.6	31.0	2.6	3.4	0.0
	40代	(n=188)	16.0	44.1	30.3	4.8	1.6	3.2
	50代	(n=178)	15.2	41.0	32.6	6.2	2.2	2.8
	60代	(n=201)	15.9	49.3	23.4	5.0	4.5	2.0
	70代以上	(n=383)	23.2	54.3	13.8	4.4	2.1	2.1
	地区別	千代田中学校地区	(n=189)	20.1	55.0	19.6	3.7	0.5
北中学校地区		(n=194)	26.8	44.3	22.7	2.6	2.1	1.5
西中学校A地区		(n=154)	14.9	41.6	29.2	4.5	6.5	3.2
西中学校B地区		(n=159)	15.1	52.2	25.2	4.4	1.9	1.3
四街道中学校地区		(n=274)	20.8	43.1	24.8	5.5	3.3	2.6
旭中学校地区		(n=189)	17.5	50.8	22.2	5.8	1.1	2.6

**問 11 地域での問題とあなたの関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(単数回答)**

「地域での問題に関わっていきたいが、実際に関わることは難しい」が 54.4%と最も多くなっています。また、次いで多い「地域での問題に熱心に取り組んでいる方のお手伝いはしたい」(23.7%)と「地域での問題にはできるだけ主体的に関わっていきたい」(4.1%)を合わせた“地域での問題に関わりたい”は 27.8%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

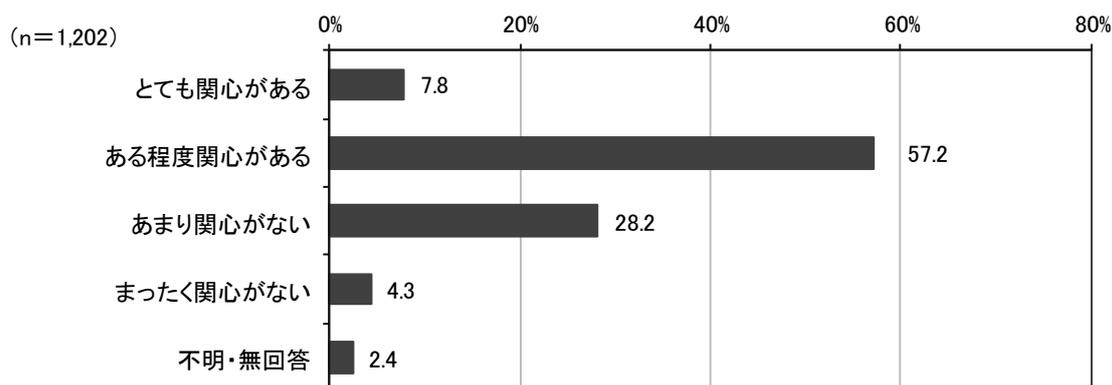
年代別をみると、いずれも「地域での問題に関わっていきたいが、実際に関わることは難しい」が最も多くなっています。また、30代では「地域での問題には関わりたくない」が、全体より10.5ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「地域での問題に関わっていきたいが、実際に関わることは難しい」が最も多く、特に西中学校B地区では、全体より5.3ポイント多くなっています。また、千代田中学校地区では「地域での問題に熱心に取り組んでいる方のお手伝いはしたい」が、全体より8.0ポイント多くなっています。

(単位:%)		主体的にこの問題についてはできただけ	は取り組んでいくのに熱心にお手伝い	こい地ときはたでの難しい問題、実際に関わって	ない地での問題には関わりたく	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	4.1	23.7	54.4	15.4	2.4	
年代別	10-20代	(n=106)	1.9	24.5	50.0	22.6	0.9
	30代	(n=116)	4.3	20.7	49.1	25.9	0.0
	40代	(n=188)	2.1	20.7	59.0	14.9	3.2
	50代	(n=178)	1.7	23.0	57.9	14.6	2.8
	60代	(n=201)	2.5	26.4	54.7	13.4	3.0
	70代以上	(n=383)	7.0	25.3	54.0	11.0	2.6
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	3.2	31.7	49.2	14.3	1.6
	北中学校地区	(n=194)	4.1	26.3	52.1	15.5	2.1
	西中学校A地区	(n=154)	3.2	16.9	59.1	17.5	3.2
	西中学校B地区	(n=159)	4.4	20.8	59.7	13.8	1.3
	四街道中学校地区	(n=274)	2.2	24.1	52.9	17.2	3.6
	旭中学校地区	(n=189)	6.3	22.8	57.1	11.6	2.1

**問 12 「地域福祉」とは、支援を必要としている人をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民が主役で進める取り組みの事です。あなたは「地域福祉」に関心をおもちですか。（単数回答）**

「ある程度関心がある」が57.2%と最も多く、「とても関心がある」(7.8%)を合わせた“関心がある”は65.0%となっています。反対に、「あまり関心がない」(28.2%)と「まったく関心がない」(4.3%)を合わせた“関心がない”は32.5%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「ある程度関心がある」が最も多くなっています。また、30代では「あまり関心がない」が、全体より10.6ポイント多くなっています。

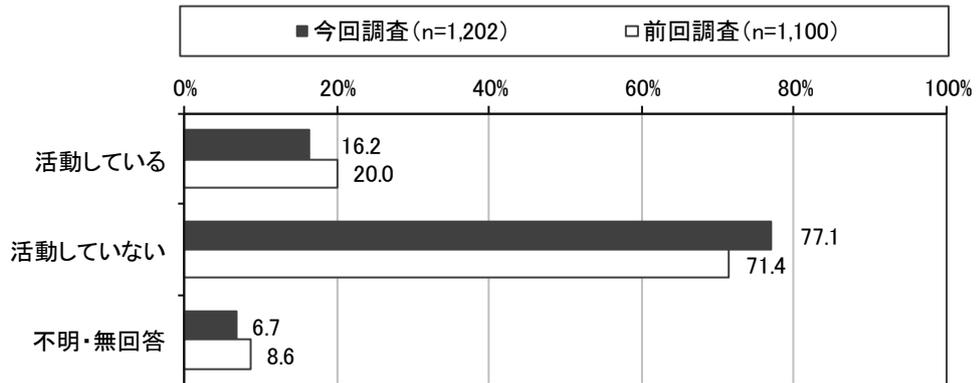
地区別をみると、いずれも「ある程度関心がある」が最も多く、特に千代田中学校地区では、全体より9.5ポイント多くなっています。また、西中学校A地区と四街道中学校地区では「あまり関心がない」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

(単位:%)		関と 心て がも ある	関あ る が程 あ度 る	関あ 心ま がり ない	関ま 心つ がた なく い	不明 ・ 無回 答
合計	(n=1,202)	7.8	57.2	28.2	4.3	2.4
年代別	10-20代 (n=106)	8.5	45.3	34.9	10.4	0.9
	30代 (n=116)	4.3	49.1	38.8	7.8	0.0
	40代 (n=188)	2.1	56.4	34.0	3.7	3.7
	50代 (n=178)	3.4	54.5	35.4	3.9	2.8
	60代 (n=201)	6.5	62.2	26.4	2.5	2.5
	70代以上 (n=383)	14.4	62.7	18.0	2.3	2.6
	地区別	千代田中学校地区 (n=189)	8.5	66.7	20.1	3.2
北中学校地区 (n=194)		9.3	56.7	30.4	2.1	1.5
西中学校A地区 (n=154)		5.8	50.0	34.4	6.5	3.2
西中学校B地区 (n=159)		8.8	61.6	23.9	3.8	1.9
四街道中学校地区 (n=274)		5.5	51.5	33.2	6.6	3.3
旭中学校地区 (n=189)		9.5	58.2	27.5	2.1	2.6

### 3 「地域での活動」について

#### 問 13-1 あなたは現在、地域で活動していますか。(単数回答)

「活動している」が16.2%、「活動していない」が77.1%となっています。  
 前回調査と比較すると、「活動していない」が5.7ポイント前回より多くなっています。



#### ●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「活動していない」が最も多く、特に10～30代では、全体より10ポイント以上多くなっています。また、70代以上では「活動している」が、全体より9.6ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「活動していない」が最も多くなっています。また、千代田中学校地区では「活動している」が、全体より8.7ポイント多くなっています。

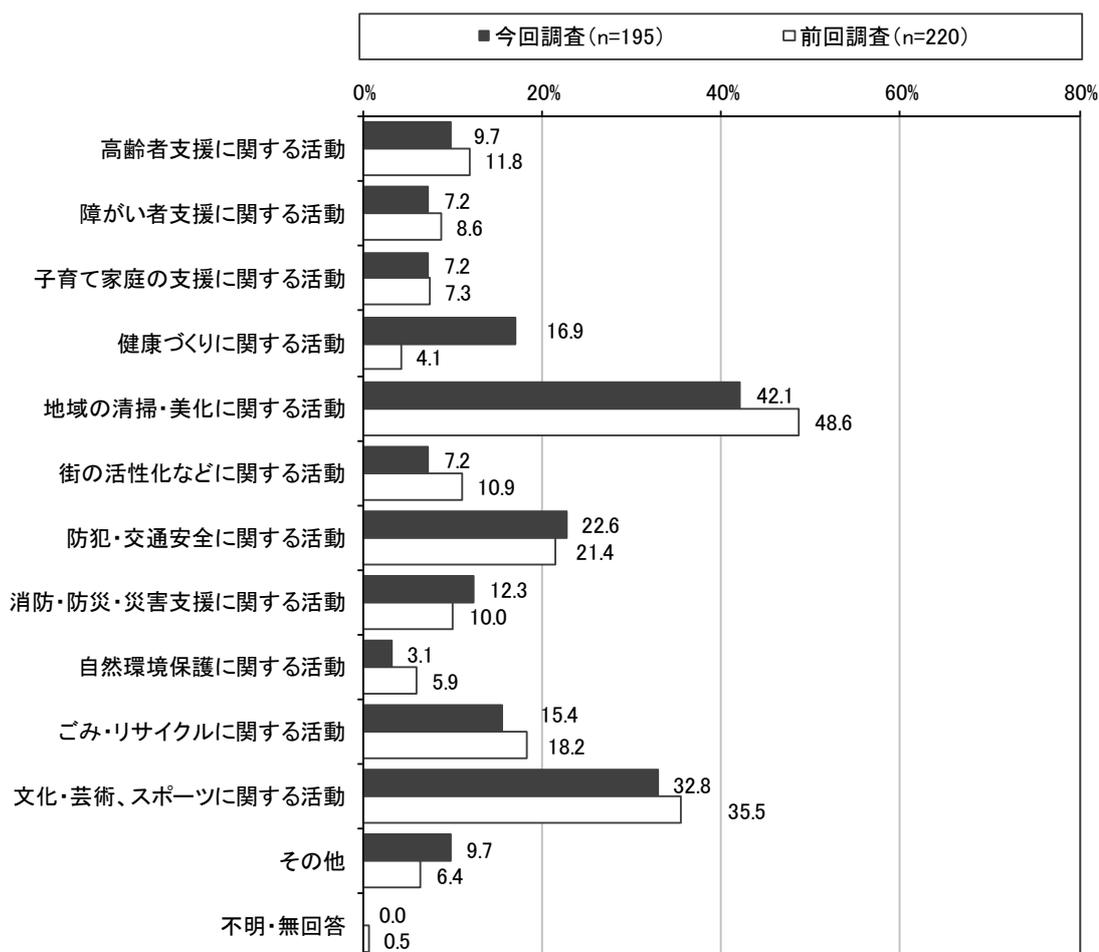
(単位:%)		活動している	活動していない	不明・無回答
合計 (n=1,202)		16.2	77.1	6.7
年代別	10-20代 (n=106)	6.6	90.6	2.8
	30代 (n=116)	8.6	89.7	1.7
	40代 (n=188)	10.6	86.7	2.7
	50代 (n=178)	11.2	80.9	7.9
	60代 (n=201)	15.9	74.1	10.0
	70代以上 (n=383)	25.8	65.0	9.1
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	24.9	68.8	6.3
	北中学校地区 (n=194)	19.6	74.2	6.2
	西中学校A地区 (n=154)	9.1	84.4	6.5
	西中学校B地区 (n=159)	15.1	80.5	4.4
	四街道中学校地区 (n=274)	12.8	80.3	6.9
	旭中学校地区 (n=189)	15.3	75.1	9.5

(問 13-1で「活動している」を選んだ方)

### 問 13-2 あなたは地域で、どのような活動をしていますか。(複数回答)

「地域の清掃・美化に関する活動」が 42.1%と最も多く、次いで「文化・芸術、スポーツに関する活動」が 32.8%となっています。

前回調査と比較すると、「健康づくりに関する活動」が 12.8 ポイント前回より多く、「地域の清掃・美化に関する活動」が 6.5 ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、40代では「文化・芸術、スポーツに関する活動」が、60代では「地域の清掃・美化に関する活動」と「防犯・交通安全に関する活動」が、それ以外の年代では「地域の清掃・美化に関する活動」が最も多くなっています。また、30代では「子育て家庭の支援に関する活動」が、40代では「子育て家庭の支援に関する活動」と「防犯・交通安全に関する活動」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、西中学校A地区では「文化・芸術、スポーツに関する活動」が、それ以外の地区では「地域の清掃・美化に関する活動」が最も多く、特に西中学校A地区の「文化・芸術、スポーツに関する活動」では、全体より10.1ポイント多くなっています。また、西中学校A地区では「防犯・交通安全に関する活動」と「ごみ・リサイクルに関する活動」が、旭中学校地区では「防犯・交通安全に関する活動」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

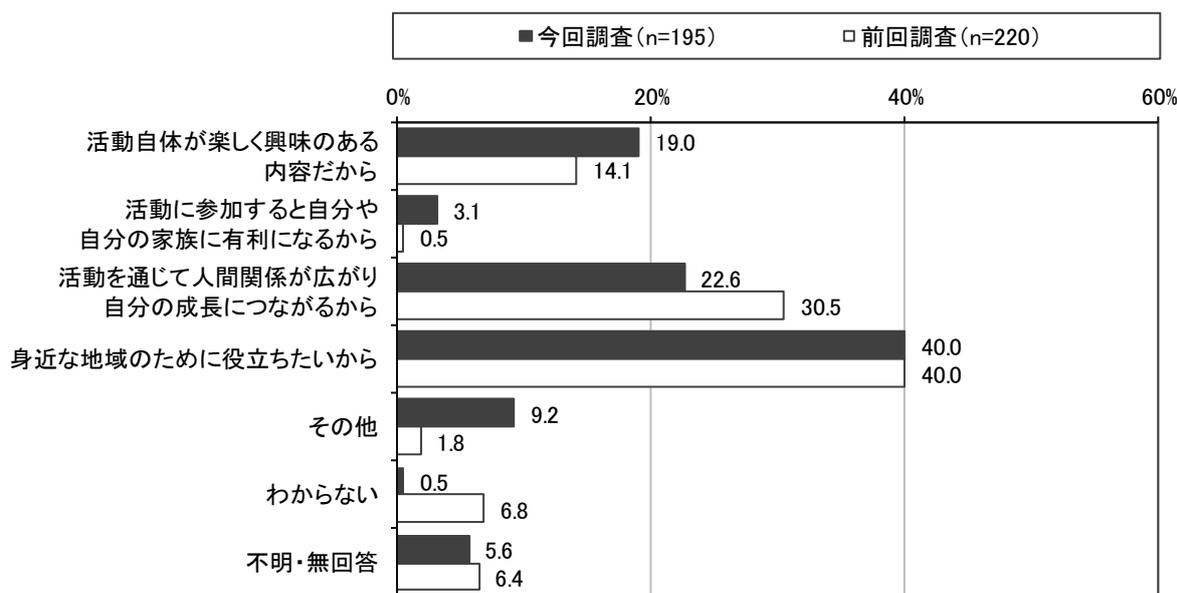
(単位:%)		高齢者支援に関する活動	障がい者支援に関する活動	子育て家庭の支援に関する活動	健康づくりに関する活動	地域の清掃・美化に関する活動	街の活性化などに関する活動	防犯・交通安全に関する活動	消防・防災・災害支援に関する活動	自然環境保護に関する活動	ごみ・リサイクルに関する活動	文化・芸術、スポーツに関する活動	その他	不明・無回答	
合計	(n=195)	9.7	7.2	7.2	16.9	42.1	7.2	22.6	12.3	3.1	15.4	32.8	9.7	0.0	
年代別	10-20代	(n=7)	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	30代	(n=10)	0.0	10.0	30.0	0.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	40代	(n=20)	0.0	0.0	20.0	0.0	30.0	5.0	35.0	10.0	0.0	10.0	40.0	10.0	0.0
	50代	(n=20)	0.0	5.0	5.0	10.0	50.0	0.0	15.0	0.0	0.0	15.0	40.0	10.0	0.0
	60代	(n=32)	18.8	6.3	6.3	18.8	28.1	0.0	28.1	15.6	3.1	9.4	21.9	6.3	0.0
	70代以上	(n=99)	12.1	8.1	3.0	21.2	47.5	11.1	25.3	13.1	4.0	16.2	37.4	11.1	0.0
地区別	千代田中学校地区	(n=47)	10.6	2.1	6.4	12.8	46.8	8.5	17.0	8.5	0.0	17.0	40.4	10.6	0.0
	北中学校地区	(n=38)	13.2	10.5	5.3	18.4	50.0	5.3	31.6	10.5	0.0	13.2	34.2	0.0	0.0
	西中学校A地区	(n=14)	14.3	7.1	0.0	14.3	35.7	0.0	35.7	14.3	0.0	35.7	42.9	0.0	0.0
	西中学校B地区	(n=24)	0.0	0.0	4.2	4.2	41.7	0.0	16.7	8.3	4.2	16.7	29.2	16.7	0.0
	四街道中学校地区	(n=35)	14.3	11.4	11.4	17.1	31.4	8.6	14.3	17.1	2.9	8.6	28.6	11.4	0.0
	旭中学校地区	(n=29)	3.4	10.3	10.3	24.1	41.4	13.8	34.5	13.8	10.3	6.9	17.2	17.2	0.0

(問 13-1で「活動している」を選んだ方)

### 問 13-3 活動に参加している理由として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。 (単数回答)

「身近な地域のために役立ちたいから」が 40.0%と最も多く、次いで「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」が 22.6%となっています。

前回調査と比較すると、「その他」が 7.4 ポイント前回より多く、「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」が 7.9 ポイント、「わからない」が 6.3 ポイント前回より少なくなっています。



#### 【「その他」の主な意見】

- 順番だから。／決めごとだから。
- 他にやる人がいないから。
- 地域の人達との交流を深める為。
- スポーツを通じて、青少年の健全育成のお手伝いをしたいと思っているから。
- 教育が大切と思っているから。
- 当然のことだから。

●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10-20代では「その他」が、それ以外の年代では「身近な地域のために役立ちたいから」が最も多く、特に10-20代の「その他」では、全体より33.7ポイント多くなっています。また、40代では「活動に参加すると自分や自分の家族に有利になるから」が、30代と50代では「その他」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、旭中学校地区では「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」が、その他の地区では「身近な地域のために役立ちたいから」が最も多く、特に旭中学校地区の「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」と、北中学校地区と西中学校B地区の「身近な地域のために役立ちたいから」では、全体より10ポイント以上多くなっています。

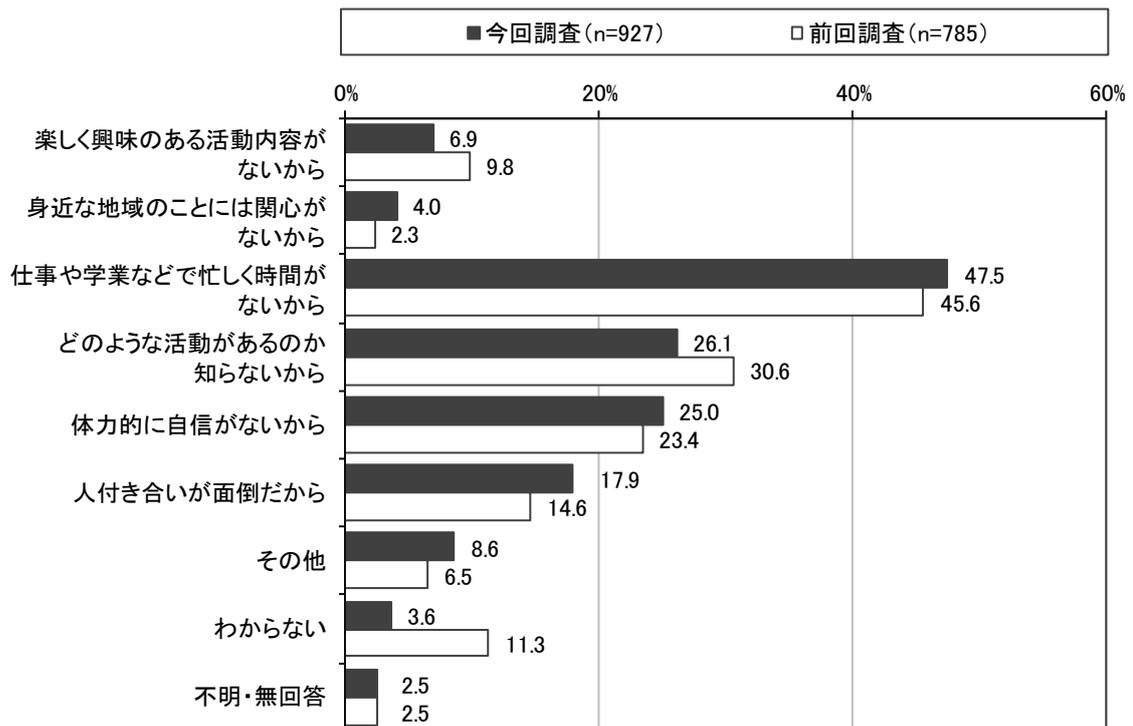
(単位:%)		活動内容だから	活動の参加に有利になるから	活動を通じて成長につながる	身近な地域のために	その他	わからない	不明・無回答
		合計 (n=195)	19.0	3.1	22.6	40.0	9.2	0.5
年代別	10-20代 (n=7)	28.6	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0
	30代 (n=10)	10.0	0.0	30.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	40代 (n=20)	25.0	15.0	10.0	35.0	5.0	0.0	10.0
	50代 (n=20)	15.0	5.0	10.0	40.0	20.0	0.0	10.0
	60代 (n=32)	12.5	6.3	21.9	43.8	9.4	3.1	3.1
	70代以上 (n=99)	21.2	0.0	29.3	39.4	4.0	0.0	6.1
地区別	千代田中学校地区 (n=47)	25.5	4.3	23.4	31.9	6.4	2.1	6.4
	北中学校地区 (n=38)	10.5	2.6	23.7	50.0	5.3	0.0	7.9
	西中学校A地区 (n=14)	7.1	7.1	28.6	35.7	7.1	0.0	14.3
	西中学校B地区 (n=24)	25.0	0.0	16.7	50.0	4.2	0.0	4.2
	四街道中学校地区 (n=35)	22.9	2.9	14.3	40.0	14.3	0.0	5.7
	旭中学校地区 (n=29)	13.8	3.4	34.5	31.0	17.2	0.0	0.0

(問 13-1で「活動していない」を選んだ方)

**問 13-4 あなたが現在活動に参加していない主な理由として、あてはまるものはどれですか。(複数回答/主なもの2つまで)**

「仕事や学業などで忙しく時間がないから」が47.5%と最も多く、次いで「どのような活動があるのか知らないから」が26.1%、「体力的に自信がないから」が25.0%となっています。

前回調査と比較すると、「わからない」が7.7ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、70代以上では「体力的に自信がないから」が、それ以外の年代では「仕事や学業などで忙しく時間がないから」が最も多く、特に10～50代の「仕事や学業などで忙しく時間がないから」と70代以上の「体力的に自信がないから」では、全体より10ポイント以上多くなっています。

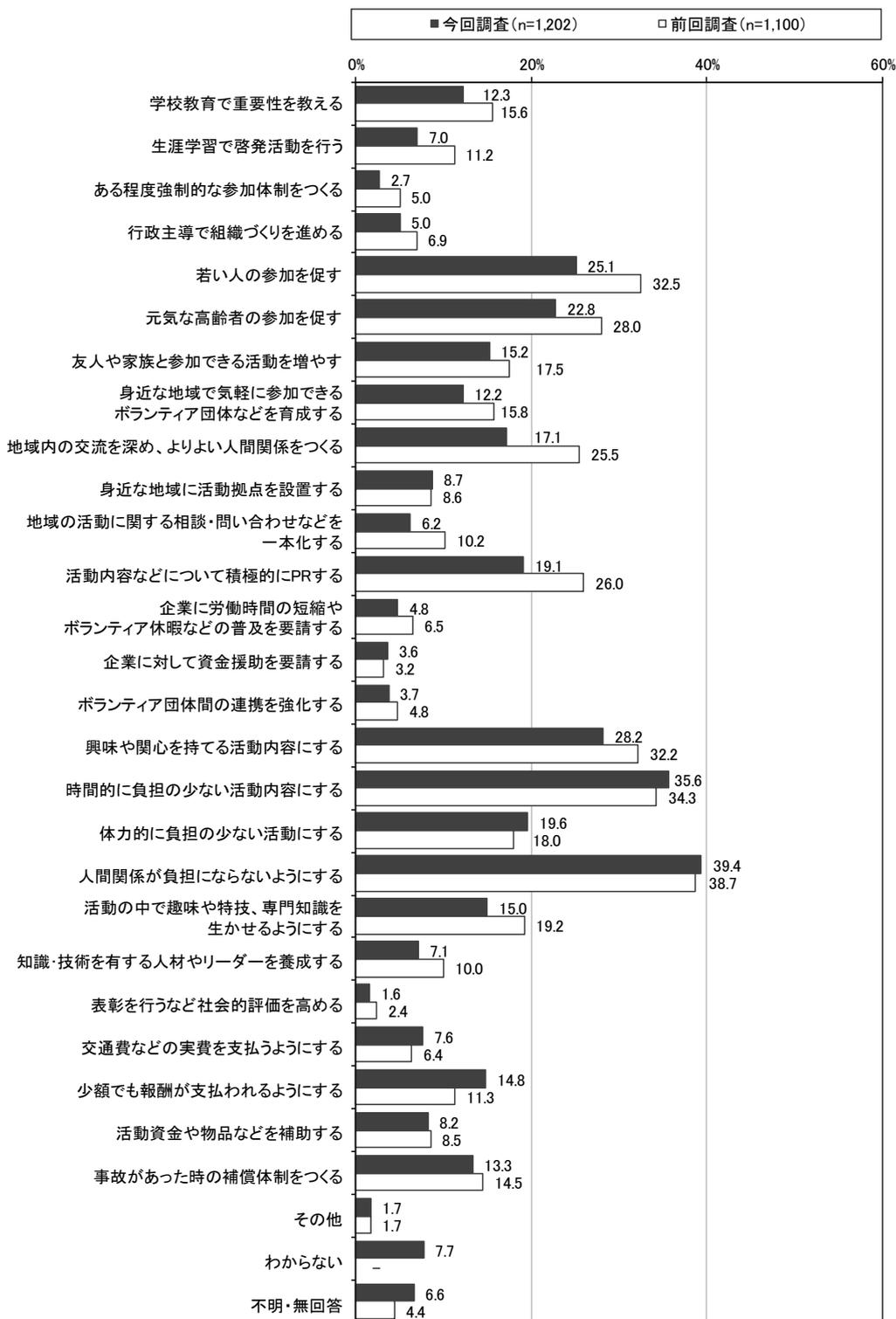
地区別をみると、いずれも「仕事や学業などで忙しく時間がないから」が最も多くなっています。

(単位：%)		楽しくから興味のある活動内容がないから	身近な地域のことには関心がないから	仕事や学業などで忙しく時間がないから	どのような活動があるのかわからないから	体力的に自信がないから	人付き合いが面倒だから	その他	わからない	不明・無回答
合計	(n=927)	6.9	4.0	47.5	26.1	25.0	17.9	8.6	3.6	2.5
年代別	10-20代	(n=96)	4.2	5.2	71.9	33.3	2.1	14.6	4.2	2.1
	30代	(n=104)	1.9	5.8	66.3	35.6	6.7	15.4	11.5	3.8
	40代	(n=163)	3.7	3.7	68.1	28.8	13.5	15.3	5.5	3.1
	50代	(n=144)	6.3	2.1	63.9	23.6	9.0	19.4	9.7	2.1
	60代	(n=149)	10.7	3.4	45.6	29.5	24.2	22.8	9.4	3.4
	70代以上	(n=249)	10.8	2.8	9.2	17.3	58.2	18.9	10.0	4.8
地区別	千代田中学校地区	(n=130)	10.0	3.8	46.2	24.6	26.2	17.7	9.2	3.8
	北中学校地区	(n=144)	5.6	2.1	52.1	29.2	23.6	17.4	6.9	0.0
	西中学校A地区	(n=130)	6.2	3.8	41.5	20.0	28.5	20.8	6.2	4.6
	西中学校B地区	(n=128)	5.5	2.3	51.6	25.0	28.9	14.8	13.3	3.1
	四街道中学校地区	(n=220)	8.2	6.4	48.2	29.1	19.1	20.0	5.9	5.0
	旭中学校地区	(n=142)	6.3	1.4	46.5	26.1	27.5	17.6	12.0	2.8

**問 14 今後、地域での活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。**  
**(複数回答／主なもの5つまで)**

「人間関係が負担にならないようにする」が39.4%と最も多く、次いで「時間的に負担の少ない活動内容にする」が35.6%となっています。

前回調査と比較すると、「地域内の交流を深め、よりよい人間関係をつくる」や「若い人の参加を促す」など多くの項目が前回より少なくなっています。



※「わからない」は、今回調査で追加した選択肢。

●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10～40代では「時間的に負担の少ない活動内容にする」が、それ以外の年代では「人間関係が負担にならないようにする」が最も多く、特に30代の「時間的に負担の少ない活動内容にする」では、全体より11.8ポイント多くなっています。また、10-20代では「少額でも報酬が支払われるようにする」と「友人や家族と参加できる活動を増やす」が、10～30代では「友人や家族と参加できる活動を増やす」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

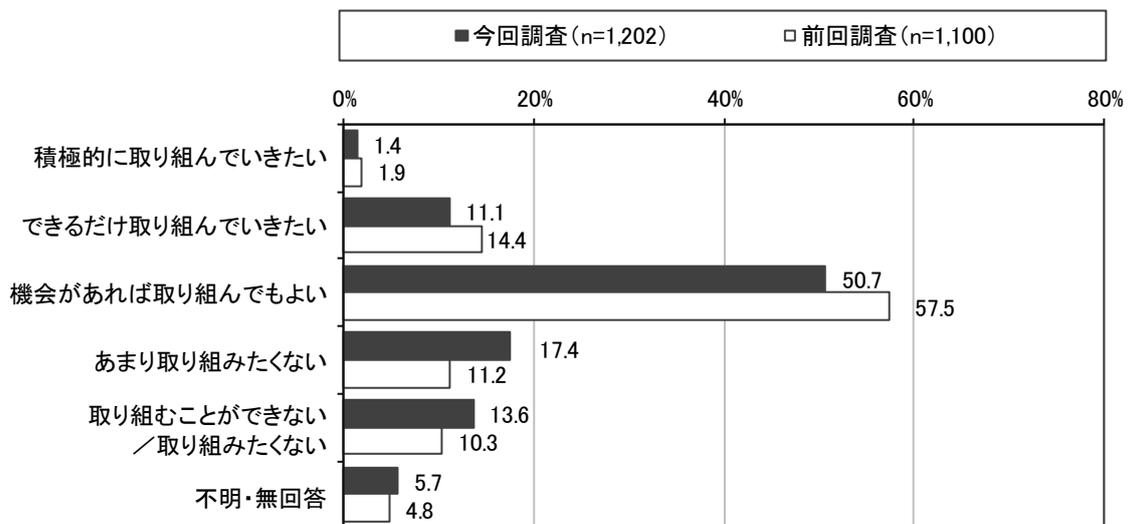
地区別をみると、いずれも「人間関係が負担にならないようにする」が最も多くなっています。

(単位:%)	学校教育で重要性を教える	生涯学習で啓発活動を行う	ある程度強制的な参加体制をつくる	進める程度	若人の参加を促す	元気な高齢者の参加を促す	友人や家族と参加できる活動を増やす	身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体を育成する	地域内の交流を深め、よりよい人間関係をつくる	身近な地域に活動拠点を設置する	地域の活動に関する相談・問い合わせなどを一本化する	積極的なPRについて	活動内容などについて	ボランティア休暇などの普及を要請する	企業に労働時間の短縮やボランティアを要請する	企業に対して資金援助を要請する	強化する	ボランティア団体間の連携を	
																			合計 (n=1,202)
合計 (n=1,202)	12.3	7.0	2.7	5.0	25.1	22.8	15.2	12.2	17.1	8.7	6.2	19.1	4.8	3.6	3.7				
年代別	13.2	2.8	1.9	0.9	23.6	7.5	29.2	13.2	17.0	7.5	1.9	23.6	2.8	4.7	1.9				
10-20代 (n=106)	10.3	3.4	6.0	5.2	28.4	12.9	28.4	7.8	16.4	6.0	7.8	19.0	7.8	2.6	3.4				
30代 (n=116)	12.8	5.9	4.8	5.9	21.3	16.5	18.6	12.8	10.6	10.6	8.0	22.9	11.2	5.9	4.8				
40代 (n=188)	9.6	7.3	1.7	6.7	21.3	23.6	7.9	14.6	10.7	7.3	5.6	20.2	5.1	4.5	2.8				
50代 (n=178)	12.4	8.5	3.0	4.5	26.4	24.4	13.9	16.9	18.9	6.5	7.5	19.9	4.0	3.5	3.5				
60代 (n=201)	13.8	9.1	1.6	5.2	28.7	32.1	10.7	10.2	23.2	10.4	5.7	14.9	1.6	2.1	4.4				
70代以上 (n=383)	12.7	7.4	2.6	6.9	30.2	23.8	17.5	10.6	22.8	10.6	4.2	20.6	4.2	2.1	4.8				
地区別	12.4	7.2	2.6	5.7	27.3	26.3	16.5	11.3	17.0	8.2	7.2	17.5	6.7	3.1	5.2				
千代田中学校地区 (n=189)	12.3	5.8	3.9	4.5	27.3	20.8	14.9	7.1	11.0	5.2	7.1	20.1	6.5	4.5	1.9				
北中学校地区 (n=194)	13.8	6.9	3.1	3.8	25.8	23.3	10.7	13.8	18.2	6.9	7.5	16.4	1.3	1.9	1.9				
西中学校A地区 (n=154)	12.8	6.9	2.9	5.5	20.1	20.1	16.1	13.1	17.5	9.1	5.1	19.7	5.5	4.0	3.3				
西中学校B地区 (n=159)	11.1	8.5	2.1	3.7	25.4	23.8	15.9	16.9	15.9	10.6	7.4	18.5	3.2	5.8	5.3				
四街道中学校地区 (n=274)																			
旭中学校地区 (n=189)																			
(単位:%)	に興する味や関心を	内容に	時間的	内容的	負担の	少ない	活動	に	活動	内容	に	活動	内容	に	活動	内容	に	活動	内容
合計 (n=1,202)	28.2	35.6	19.6	39.4	15.0	7.1	1.6	7.6	14.8	8.2	13.3	1.7	7.7	6.6					
年代別	31.1	35.8	14.2	26.4	15.1	4.7	7.5	14.2	26.4	15.1	11.3	2.8	7.5	5.7					
10-20代 (n=106)	35.3	47.4	13.8	39.7	17.2	6.9	2.6	8.6	23.3	7.8	10.3	3.4	6.0	3.4					
30代 (n=116)	29.3	44.1	14.4	43.1	14.4	6.4	0.0	8.5	23.9	9.6	11.7	2.7	3.7	3.2					
40代 (n=188)	27.0	34.8	12.4	43.8	13.5	6.7	0.6	9.6	12.4	12.9	18.0	1.7	7.3	5.6					
50代 (n=178)	26.4	38.8	18.4	39.8	15.9	11.4	1.0	5.5	11.4	6.0	14.9	0.0	5.5	8.0					
60代 (n=201)	25.8	26.6	29.0	38.4	14.4	6.0	1.0	5.0	8.1	4.7	12.0	1.3	11.0	9.1					
70代以上 (n=383)	29.1	26.5	19.6	41.3	13.8	7.4	1.1	6.3	13.8	7.9	11.1	3.2	5.3	5.8					
地区別	30.4	32.5	20.6	33.0	18.0	9.3	1.5	6.2	14.9	7.2	13.4	1.5	5.7	5.2					
千代田中学校地区 (n=189)	20.8	38.3	16.9	39.6	11.7	6.5	1.3	7.1	14.3	8.4	16.9	1.3	14.9	3.9					
北中学校地区 (n=194)	26.4	42.8	17.0	44.7	13.8	8.2	1.3	5.0	12.6	7.5	13.8	1.3	8.2	9.4					
西中学校A地区 (n=154)	29.9	35.8	18.6	37.2	16.1	6.6	2.2	7.7	18.2	9.9	10.9	1.1	8.8	7.3					
西中学校B地区 (n=159)	29.1	39.2	22.8	42.3	14.3	4.8	1.6	11.6	14.8	7.9	14.3	1.1	3.7	7.4					
四街道中学校地区 (n=274)																			
旭中学校地区 (n=189)																			

**問 15 あなたは、今後、地域での活動やボランティア活動に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(単数回答)**

「機会があれば、取り組んでもよい」が 50.7%と最も多くなっています。また、次いで「あまり取り組みたくない」が 17.4%と多く、「取り組むことができない／取り組みたくない」(13.6%)を合わせた“取り組みたくない”は 31.0%となっています。反対に、「積極的に取り組んでいきたい」(1.4%)と「できるだけ取り組んでいきたい」(11.1%)を合わせた“取り組んでいきたい”は 12.5%となっています。

前回調査と比較すると、「あまり取り組みたくない」が 6.2 ポイント前回より多く、反対に、「機会があれば、取り組んでもよい」が 6.8 ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「機会があれば取り組んでもよい」が最も多く、特に60代では、全体より11.0ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「機会があれば取り組んでもよい」が最も多くなっています。また、西中学校A地区では「取り組むことができない／取り組みたくない」が、全体より7.2ポイント多くなっています。

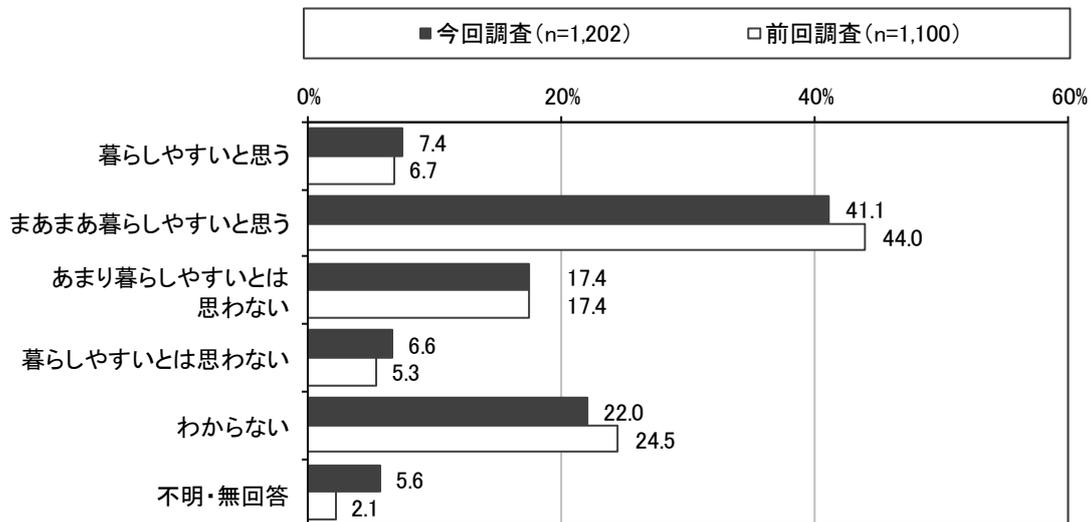
(単位：%)		積極的に取り組んで	できるだけだけ取り組んで	機会があれば取り組んでも	あまり取り組みたくない	取り組みたくない／	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	1.4	11.1	50.7	17.4	13.6	5.7	
年代別	10-20代	(n=106)	3.8	11.3	52.8	20.8	11.3	0.0
	30代	(n=116)	0.9	9.5	56.9	20.7	9.5	2.6
	40代	(n=188)	1.1	6.4	57.4	18.6	12.8	3.7
	50代	(n=178)	0.6	8.4	52.8	18.0	13.5	6.7
	60代	(n=201)	0.0	10.9	61.7	13.4	9.5	4.5
	70代以上	(n=383)	2.1	14.6	39.7	16.7	17.8	9.1
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	2.6	11.1	54.5	19.6	9.5	2.6
	北中学校地区	(n=194)	2.1	13.9	51.5	17.0	11.9	3.6
	西中学校A地区	(n=154)	0.0	11.0	47.4	16.9	20.8	3.9
	西中学校B地区	(n=159)	1.3	13.2	46.5	16.4	13.2	9.4
	四街道中学校地区	(n=274)	0.7	8.4	50.4	20.1	14.6	5.8
	旭中学校地区	(n=189)	1.6	9.5	55.0	13.2	12.7	7.9

## 4 「福祉の考え方」について

### 問 16-1 四街道市は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(単数回答)

「まあまあ暮らしやすいと思う」が41.1%と最も多く、「暮らしやすいと思う」(7.4%)を合わせた“暮らしやすいと思う”は48.5%となっています。反対に、「あまり暮らしやすいとは思わない」(17.4%)と「暮らしやすいとは思わない」(6.6%)を合わせた“暮らしやすいとは思わない”は24.0%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「まあまあ暮らしやすいと思う」が最も多く、特に60代では、全体より5.2ポイント多くなっています。また、50代では「わからない」が、全体より6.1ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「まあまあ暮らしやすいと思う」が最も多くなっています。また、旭中学校地区では「あまり暮らしやすいとは思わない」と「暮らしやすいとは思わない」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

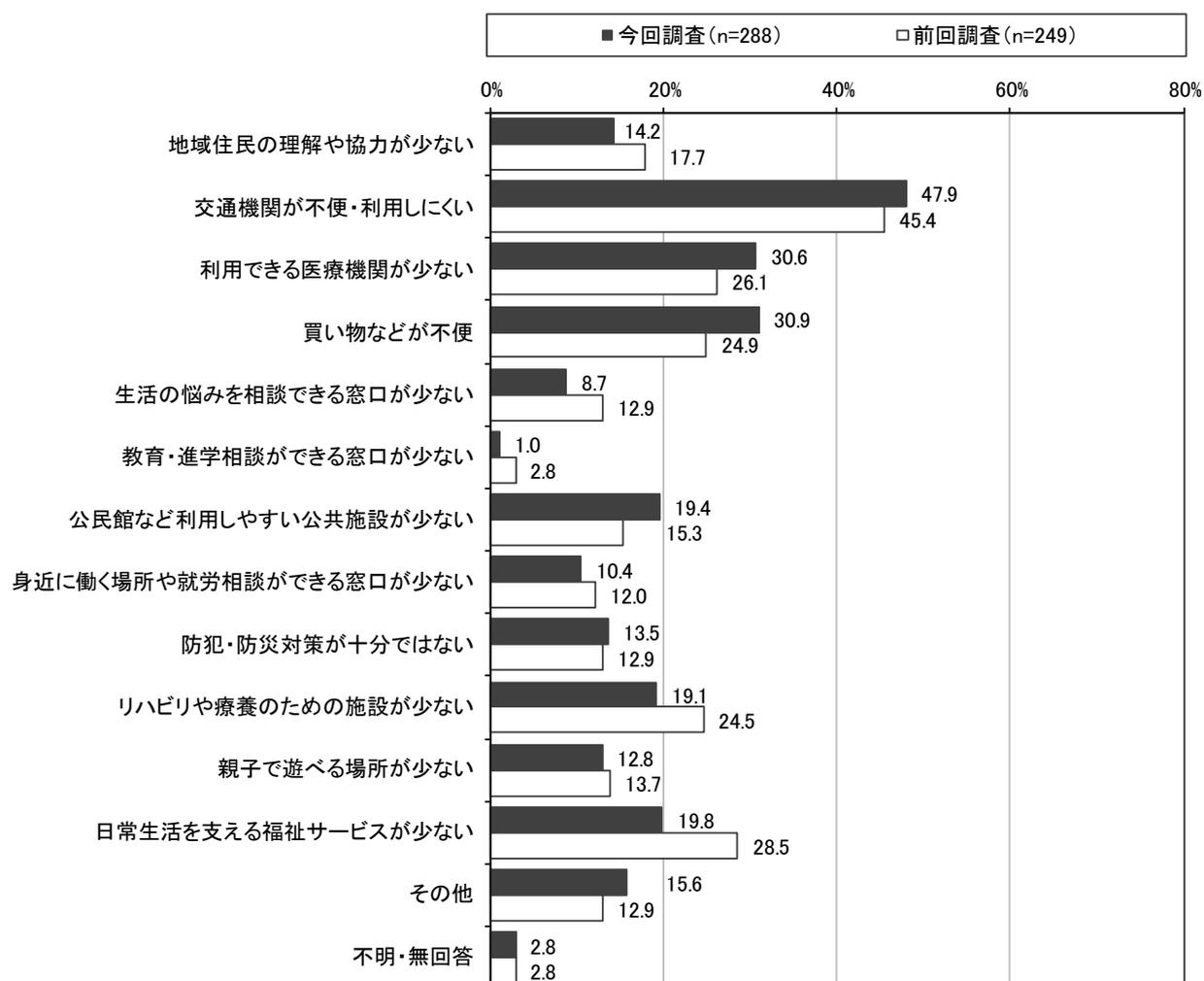
(単位:%)		暮らしやすいと思う	まあまあ暮らしやすいと思う	あまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	わからない	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	7.4	41.1	17.4	6.6	22.0	5.6	
年代別	10-20代	(n=106)	10.4	40.6	17.9	4.7	24.5	1.9
	30代	(n=116)	8.6	45.7	16.4	3.4	24.1	1.7
	40代	(n=188)	8.0	40.4	14.9	8.5	25.0	3.2
	50代	(n=178)	7.9	34.8	15.7	7.9	28.1	5.6
	60代	(n=201)	4.0	46.3	17.9	5.5	19.9	6.5
	70代以上	(n=383)	7.6	40.7	18.5	7.3	17.5	8.4
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	5.8	43.4	16.4	5.3	24.3	4.8
	北中学校地区	(n=194)	5.7	44.3	17.5	6.7	19.1	6.7
	西中学校A地区	(n=154)	10.4	36.4	18.8	5.8	24.7	3.9
	西中学校B地区	(n=159)	8.8	38.4	16.4	6.9	25.2	4.4
	四街道中学校地区	(n=274)	8.0	44.5	13.5	4.4	24.1	5.5
	旭中学校地区	(n=189)	6.3	37.6	22.8	11.6	14.8	6.9

(問 16-1 で「あまり暮らしやすいとは思わない」または「暮らしやすいとは思わない」を選んだ方)

### 問 16-2 暮らしにくいと思う理由は何ですか。(複数回答/主なもの3つまで)

「交通機関が不便・利用しにくい」が 47.9%と最も多く、次いで「買い物などが不便」が 30.9%、「利用できる医療機関が少ない」が 30.6%となっています。

前回調査と比較すると、「買い物などが不便」が 6.0 ポイント前回より多く、「日常生活を支える福祉サービスが少ない」が 8.7 ポイント、「リハビリや療養のための施設が少ない」が 5.4 ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、30代では「利用できる医療機関が少ない」が、それ以外の年代では「交通機関が不便・利用しにくい」が最も多くなっています。また、10-20代では「公民館など利用しやすい公共施設が少ない」と「親子で遊べる場所が少ない」が、30代では「親子で遊べる場所が少ない」が、50代では「買い物などが不便」が、60代では「生活の悩みを相談できる窓口が少ない」と「身近に働く場所や就労相談ができる窓口が少ない」が、70代以上では「リハビリや療養のための施設が少ない」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

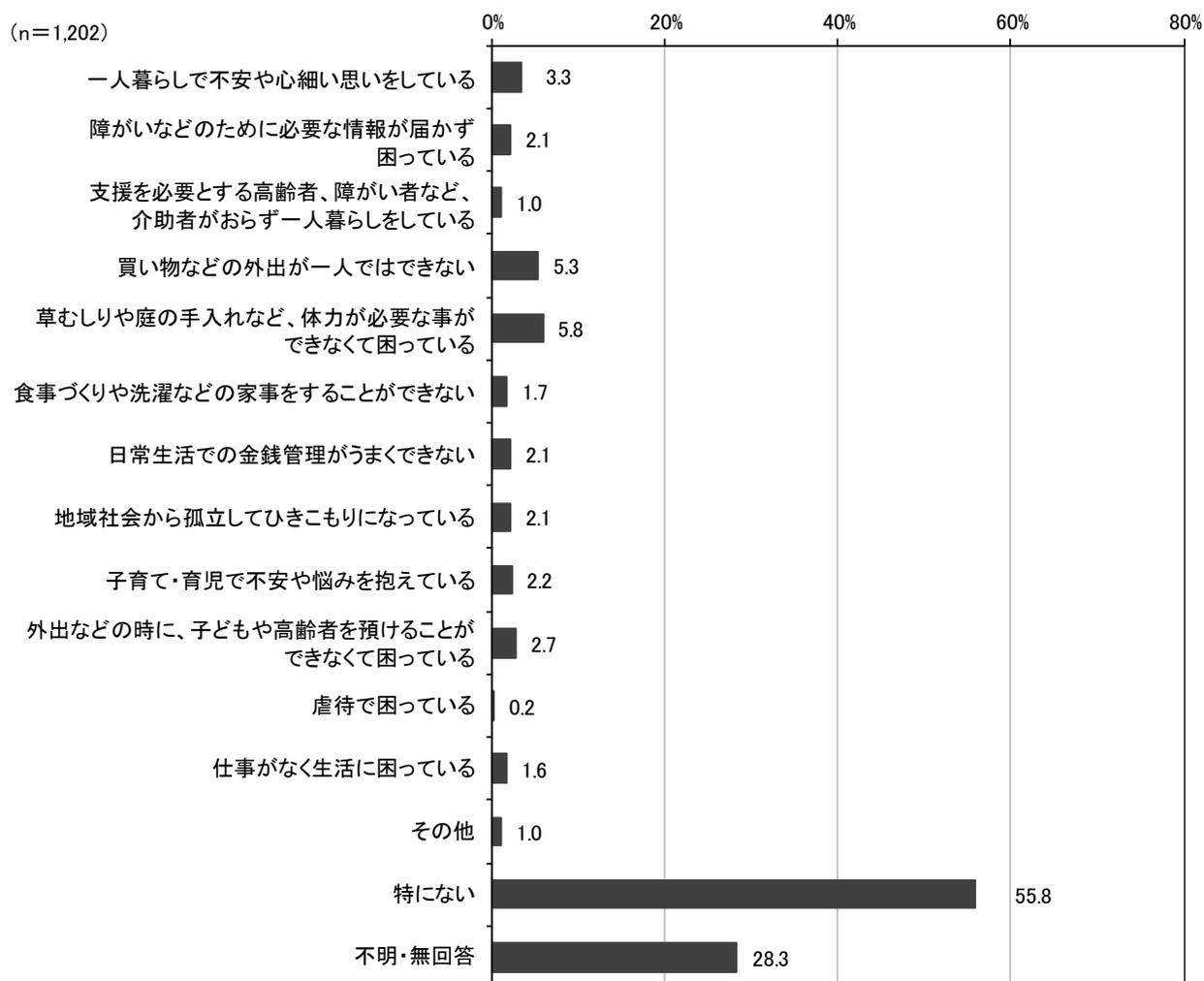
地区別をみると、西中学校A地区では「交通機関が不便・利用しにくい」と「利用できる医療機関が少ない」が、西中学校B地区では「利用できる医療機関が少ない」が、それ以外の地区では「交通機関が不便・利用しにくい」が最も多く、特に旭中学校地区の「交通機関が不便・利用しにくい」と西中学校B地区の「利用できる医療機関が少ない」では、全体より10ポイント以上多くなっています。また、北中学校地区では「親子で遊べる場所が少ない」が、西中学校B地区では「日常生活を支える福祉サービスが少ない」と「身近に働く場所や就労相談ができる窓口が少ない」が、四街道中学校地区では「地域住民の理解や協力が少ない」が、旭中学校地区では「利用できる医療機関が少ない」と「買い物などが不便」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

(単位:%)		少ない	地域住民の理解や協力が	利用しにくい	交通機関が不便・	利用できる医療機関が少ない	買い物などが不便	生活の悩みを相談できる	窓口が少ない	教育・進学相談ができる	公民館など利用しやすい	公民館など利用しやすい	できる窓口が少ない	身近に働く場所や就労相談が	ない	防犯・防災対策が十分では	施設が少ない	リハビリや療養のための	親子で遊べる場所が少ない	福祉サービスが少ない	日常生活を支える	その他	不明・無回答
合計	(n=288)	14.2	47.9	30.6	30.9	8.7	1.0	19.4	10.4	13.5	19.1	12.8	19.8	15.6	2.8								
年代別	10-20代 (n=24)	12.5	50.0	33.3	25.0	4.2	0.0	33.3	12.5	4.2	8.3	25.0	20.8	16.7	0.0								
	30代 (n=23)	17.4	30.4	39.1	17.4	8.7	8.7	13.0	8.7	17.4	13.0	26.1	21.7	30.4	0.0								
	40代 (n=44)	15.9	45.5	29.5	25.0	2.3	0.0	20.5	9.1	18.2	6.8	9.1	29.5	18.2	4.5								
	50代 (n=42)	14.3	47.6	31.0	42.9	14.3	2.4	11.9	16.7	16.7	9.5	7.1	14.3	16.7	0.0								
	60代 (n=47)	8.5	40.4	31.9	23.4	21.3	0.0	10.6	21.3	14.9	21.3	21.3	17.0	14.9	4.3								
	70代以上 (n=99)	15.2	56.6	28.3	36.4	5.1	0.0	22.2	4.0	10.1	32.3	5.1	18.2	11.1	4.0								
地区別	千代田中学校地区 (n=41)	12.2	46.3	24.4	24.4	4.9	0.0	24.4	7.3	4.9	22.0	14.6	22.0	17.1	7.3								
	北中学校地区 (n=47)	10.6	46.8	25.5	27.7	8.5	0.0	12.8	10.6	21.3	27.7	23.4	10.6	19.1	0.0								
	西中学校A地区 (n=38)	10.5	31.6	31.6	28.9	13.2	2.6	5.3	13.2	5.3	15.8	21.1	21.1	26.3	5.3								
	西中学校B地区 (n=37)	16.2	45.9	48.6	16.2	2.7	0.0	18.9	21.6	18.9	27.0	13.5	32.4	8.1	2.7								
	旭中学校地区 (n=65)	7.7	70.8	41.5	58.5	6.2	0.0	21.5	4.6	13.8	13.8	0.0	12.3	10.8	1.5								

**問 17 現在、あなた自身や同居する家族の方で困っていることはありますか。また、お住まいの地域で、困っている人がいますか。**

**①回答者自身や同居する家族の方で、困っていることの有無（複数回答）**

「特にない」が 55.8%と最も多く、次いで「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている」が 5.8%、「買い物などの外出が一人ではできない」が 5.3%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「特にない」が最も多く、特に10-20代では、全体より13.1ポイント多くなっています。また、30代では「外出などの時に、子どもや高齢者を預けることができなくて困っている」が、全体より10.2ポイント多くなっています。

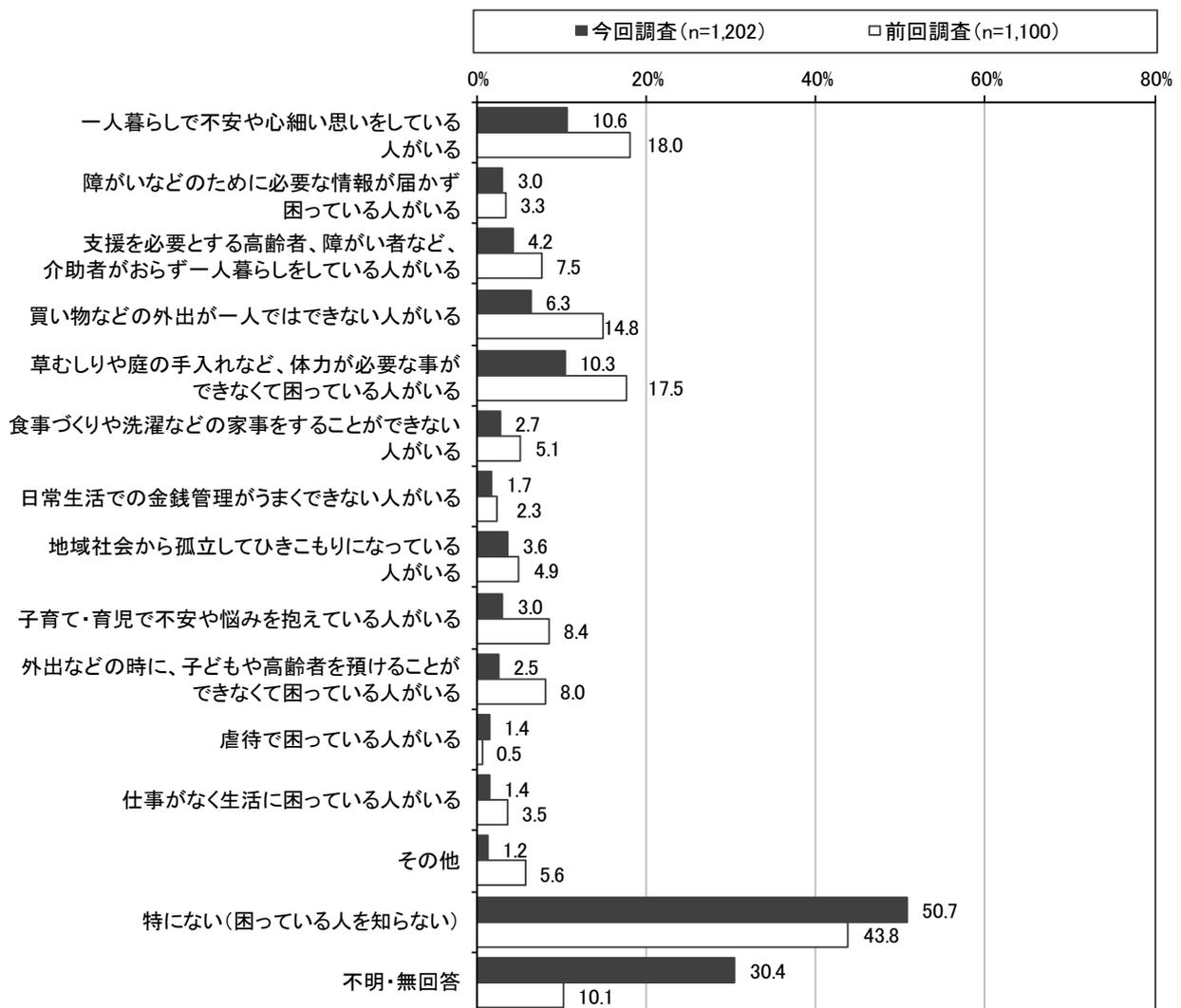
地区別をみると、いずれも「特にない」が最も多くなっています。

(単位:%)		一人暮らしで不安や心細い思いをしている	困っている	介護が必要とする高齢者、障がい者など、障がいなどのために必要な情報が届かず	支援を必要とする高齢者、障がい者など、介護者がおらず一人暮らしをしている	買い物などの外出が一人ではできない	草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている	食事づくりや洗濯などの家事をすることができない	日常生活での金銭管理がうまくできない	地域社会から孤立してひきこもりになっている	子育て・育児で不安や悩みを抱えている	預けることができない子どもや高齢者を預けるなどの時に、子どもや高齢者を	虐待で困っている	仕事がなく生活に困っている	その他	特にない	不明・無回答
合計	(n=1,202)	3.3	2.1	1.0	5.3	5.8	1.7	2.1	2.1	2.2	2.7	0.2	1.6	1.0	55.8	28.3	
年代別	10-20代	(n=106)	2.8	0.9	0.9	5.7	2.8	0.9	2.8	0.9	1.9	1.9	0.0	3.8	1.9	68.9	16.0
	30代	(n=116)	1.7	1.7	0.0	3.4	5.2	1.7	2.6	3.4	7.8	12.9	0.9	5.2	0.9	57.8	15.5
	40代	(n=188)	2.7	3.2	1.1	5.3	5.3	1.6	3.2	3.2	5.3	4.8	0.5	1.6	0.5	62.8	18.6
	50代	(n=178)	3.9	2.2	1.1	7.3	5.1	2.2	1.7	2.2	1.7	1.1	0.0	1.7	1.7	63.5	19.1
	60代	(n=201)	2.5	2.0	1.5	4.0	5.0	2.0	2.0	2.5	0.0	1.0	0.5	1.0	1.0	56.2	33.3
	70代以上	(n=383)	4.4	2.1	1.0	5.5	8.4	1.6	1.3	1.0	0.5	0.5	0.0	0.3	0.8	44.4	41.5
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	3.7	2.6	1.1	4.2	6.3	1.6	3.2	3.2	2.6	3.2	0.5	2.1	0.5	52.9	29.6
	北中学校地区	(n=194)	2.1	0.0	0.5	5.7	5.2	1.5	1.5	0.5	1.5	2.1	0.0	1.0	0.0	57.2	31.4
	西中学校A地区	(n=154)	3.2	1.9	0.6	7.1	6.5	3.9	3.9	1.9	1.9	3.2	0.6	1.3	0.6	54.5	28.6
	西中学校B地区	(n=159)	3.1	3.8	1.3	3.1	3.8	1.3	0.6	1.9	2.5	1.9	0.0	1.9	1.9	54.1	30.8
	四街道中学校地区	(n=274)	4.7	2.2	1.8	5.5	5.5	1.1	1.8	1.8	2.2	2.6	0.0	1.8	1.1	60.9	21.9
	旭中学校地区	(n=189)	2.6	2.1	0.5	6.3	9.0	1.6	1.6	3.2	2.6	2.6	0.5	1.6	2.1	52.4	29.6

## ②お住まいの地域で、困っている人の有無（複数回答）

「特にない（困っている人を知らない）」が50.7%と最も多く、次いで「一人暮らしで不安や心細い思いをしている人がいる」が10.6%、「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる」が10.3%となっています。

前回調査と比較すると、「特にない（困っている人を知らない）」が6.9ポイント前回より多く、「買い物などの外出が一人ではできない人がいる」が8.5ポイント、「一人暮らしで不安や心細い思いをしている人がいる」が7.4ポイント、「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる」が7.2ポイント、「外出などの時に、子どもや高齢者を預けることができなくて困っている人がいる」が5.5ポイント、「子育て・育児で不安や悩みを抱えている人がいる」が5.4ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

「不明・無回答」を除く年代別をみると、いずれも「特にない」が最も多く、特に10-20代では、全体より11.6ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「特にない」が最も多く、特に北中学校地区では、全体より7.0ポイント多くなっています。また、旭中学校地区では「買い物などの外出が一人ではできない人がいる」と「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

		(単位:%)															
		一人暮らしで不安や心細い思いをしている人がいる	障がいなどのために必要な情報が届かず困っている人がいる	介護者がおらず一人暮らしをしている人がいる	支援を必要とする高齢者、障がい者など、介助者が必要な人がいる	買い物などの外出が一人ではできない人がいる	草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる	食事づくりや洗濯などの家事をすることができない人がいる	日常生活での金銭管理がうまくできない人がいる	地域社会から孤立してひきこもりになっている人がいる	子育て・育児で不安や悩みを抱えている人がいる	外出などの時に、子どもや高齢者を預けることができないで困っている人がいる	虐待で困っている人がいる	仕事がなく生活に困っている人がいる	その他	特にない	不明・無回答
合計 (n=1,202)		10.6	3.0	4.2	6.3	10.3	2.7	1.7	3.6	3.0	2.5	1.4	1.4	1.2	50.7	30.4	
年代別	10-20代 (n=106)	9.4	3.8	1.9	7.5	9.4	0.9	0.9	0.9	4.7	1.9	0.0	1.9	0.9	62.3	19.8	
	30代 (n=116)	6.9	4.3	5.2	4.3	12.1	4.3	0.9	2.6	5.2	4.3	1.7	0.9	0.9	58.6	21.6	
	40代 (n=188)	9.6	4.3	5.3	5.3	9.0	2.7	2.7	4.3	4.8	4.3	2.7	2.1	1.1	55.3	23.4	
	50代 (n=178)	9.6	1.7	3.9	6.7	10.7	2.2	0.6	2.2	1.1	1.7	0.6	0.6	1.7	60.1	22.5	
	60代 (n=201)	12.9	3.0	4.0	8.0	11.9	3.0	2.5	4.5	3.5	2.5	1.5	1.0	2.0	52.7	27.4	
	70代以上 (n=383)	12.5	2.3	4.7	5.5	9.9	2.9	2.1	4.7	1.6	1.8	1.6	1.8	0.8	38.9	43.6	
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	12.7	3.2	6.3	7.9	11.1	2.6	1.6	3.7	3.2	5.3	2.1	2.1	2.1	48.7	28.6	
	北中学校地区 (n=194)	14.4	5.2	4.6	7.7	13.4	2.6	2.1	5.7	4.6	3.6	2.1	1.5	0.5	57.7	22.7	
	西中学校A地区 (n=154)	9.1	3.9	3.9	3.2	7.1	1.9	1.3	2.6	0.6	2.6	1.3	1.3	0.6	51.9	35.1	
	西中学校B地区 (n=159)	9.4	2.5	3.8	4.4	9.4	1.9	0.6	1.9	1.3	1.3	0.6	0.0	1.3	46.5	35.8	
	四街道中学校地区 (n=274)	5.5	2.2	2.2	2.6	6.6	2.6	1.5	3.3	3.6	0.7	0.4	0.7	1.8	53.3	32.5	
	旭中学校地区 (n=189)	14.8	1.6	5.8	11.6	15.9	4.2	3.2	4.2	3.2	2.6	2.1	2.6	0.5	47.1	26.5	

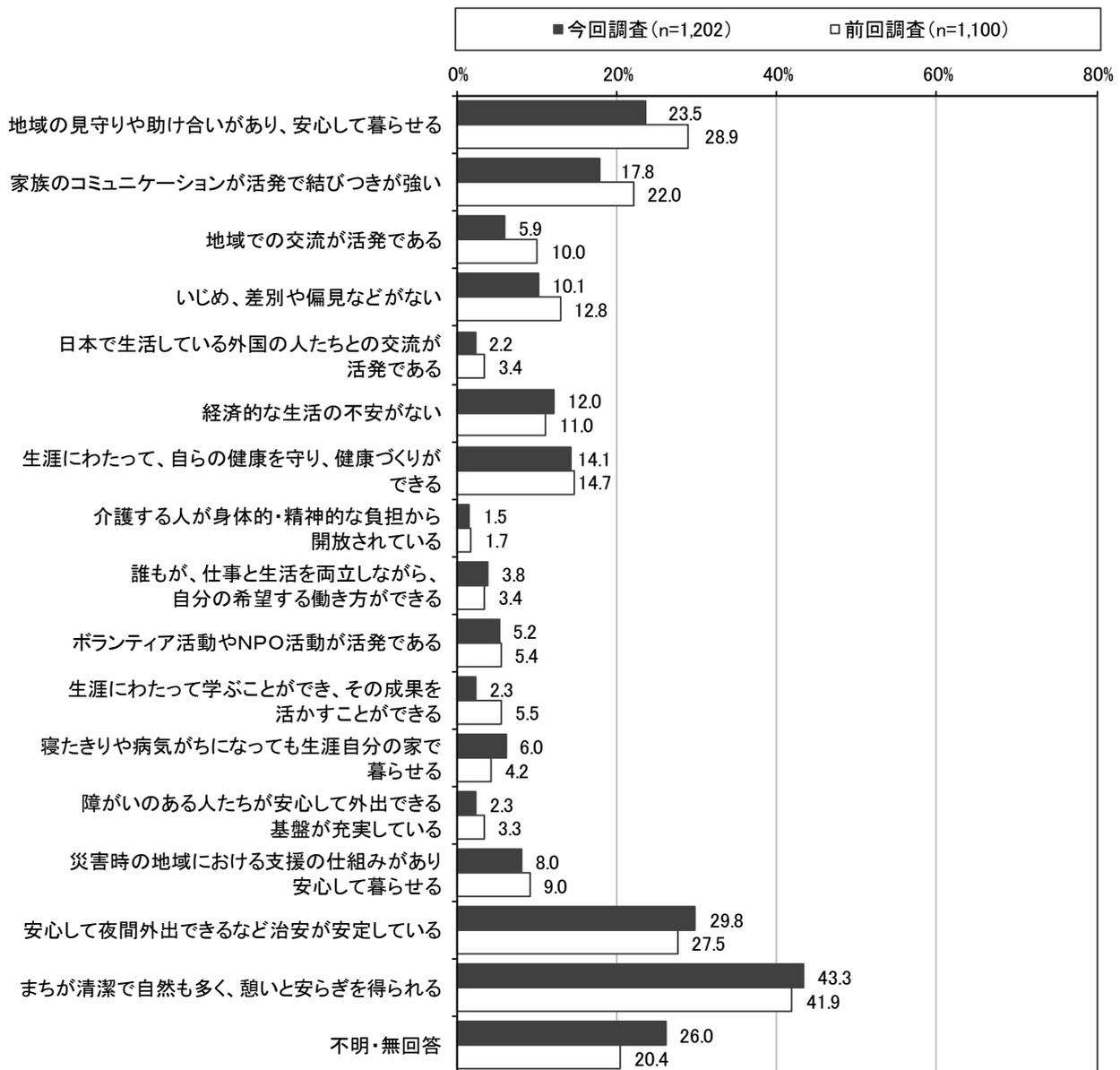
## 5 「地域の変化」について

**問 18 現在、地域で暮らす中で、良いと思っていること、変わると良いと思っていることは何ですか。**

**①良いと思っていること（複数回答／主なもの3つまで）**

「まちが清潔で自然も多く、憩いと安らぎを得られる」が 43.3%と最も多く、次いで「安心して夜間外出できるなど治安が安定している」が 29.8%、「地域の見守りや助け合いがあり、安心して暮らせる」が 23.5%となっています。

前回調査と比較すると、「地域の見守りや助け合いがあり、安心して暮らせる」が 5.4 ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「まちが清潔で自然も多く、憩いと安らぎを得られる」が最も多く、特に30代では、全体より12.7ポイント多くなっています。また、30代では「地域の見守りや助け合いがあり、安心して暮らせる」が、全体より11.8ポイント多くなっています。

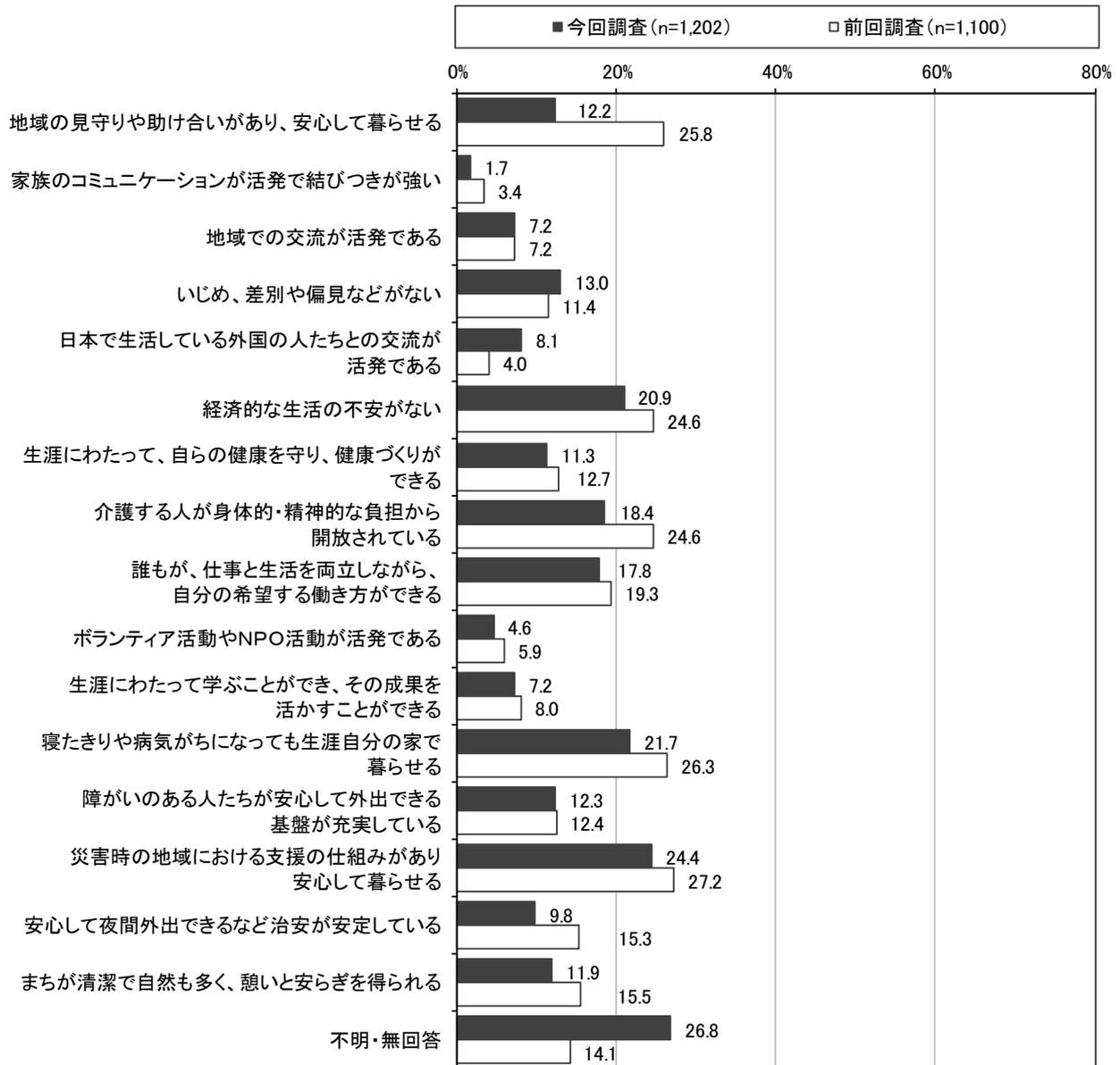
地区別をみると、いずれも「まちが清潔で自然も多く、憩いと安らぎを得られる」が最も多くなっています。

(単位：%)		安心して暮らせる	地域の見守りや助け合いがあり、結びつきが強い	家族のコミュニケーションが活発で	地域での交流が活発である	いじめ、差別や偏見がない	日本が生活している外国人の人たちとの交流が活発である	経済的な生活の不安がない	健康づくりができる	生涯にわたって、自らの健康を守り、	負担から開放されている	介護する人が身体的・精神的な	自分の希望する働き方ができる	誰もが、仕事と生活を両立しながら、	活発である	ボランティア活動やNPO活動が	その成果を活かすことができる	生涯にわたって学ぶことができ、	寝たきりや病気がちになっても生涯	障がいのある人たちが安心して	あり安心して暮らせる	災害時の地域における支援の仕組みが	安定している	安心して夜間外出できるなど治安が	安らぎを得られる	まちが清潔で自然も多く、憩いと	不明・無回答		
合計	(n=1,202)	23.5	17.8	5.9	10.1	2.2	12.0	14.1	1.5	3.8	3.8	5.2	2.3	6.0	2.3	8.0	2.3	8.0	2.3	8.0	29.8	43.3	26.0						
年代別	10-20代	(n=106)	20.8	22.6	7.5	6.6	4.7	13.2	7.5	2.8	3.8	3.8	3.8	3.8	0.9	7.5	8.5	30.2	42.5	34.0									
	30代	(n=116)	35.3	21.6	11.2	5.2	2.6	6.9	7.8	0.9	6.9	4.3	0.9	3.4	2.6	8.6	31.0	56.0	21.6										
	40代	(n=188)	27.1	19.1	3.2	6.9	3.2	9.0	9.0	0.0	3.7	6.9	1.6	3.2	2.7	11.2	38.8	48.9	20.7										
	50代	(n=178)	20.2	16.3	3.9	7.9	1.7	9.0	14.6	1.1	2.8	9.0	3.4	3.9	0.6	6.7	38.8	50.6	23.0										
	60代	(n=201)	19.4	16.4	5.0	10.4	2.0	12.9	17.4	2.5	4.0	3.5	2.5	6.0	1.0	8.5	27.4	34.3	29.4										
	70代以上	(n=383)	22.2	15.7	6.3	14.6	1.6	15.4	18.8	1.8	3.4	4.4	2.3	10.7	1.8	6.8	23.5	37.6	27.2										
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	28.0	18.5	5.3	7.9	3.7	8.5	14.3	2.1	3.7	3.2	3.7	5.8	1.6	9.0	30.7	46.0	22.8										
	北中学校地区	(n=194)	25.3	17.0	7.2	13.4	1.5	14.4	14.9	1.5	4.6	6.2	1.5	5.7	4.1	9.3	28.4	42.8	24.2										
	西中学校A地区	(n=154)	21.4	17.5	5.8	8.4	1.3	11.7	15.6	1.3	4.5	3.2	3.2	6.5	0.0	9.1	31.2	39.6	28.6										
	西中学校B地区	(n=159)	17.6	17.0	5.7	11.9	3.8	13.2	14.5	3.1	1.9	6.9	1.9	5.7	3.8	8.8	30.2	34.6	26.4										
	四街道中学校地区	(n=274)	20.4	16.8	5.1	8.8	1.5	11.7	16.1	1.1	4.7	5.1	2.6	6.2	2.6	8.4	28.8	44.9	27.0										
	旭中学校地区	(n=189)	27.5	19.0	5.8	10.6	2.6	12.7	9.5	0.5	3.2	6.9	1.6	6.9	0.5	4.8	33.3	47.6	26.5										

## ②変わるとよいと思っていること（複数回答／主なもの3つまで）

「災害時の地域における支援の仕組みがあり安心して暮らせる」が24.4%と最も多く、次いで「寝たきりや病気がちになっても生涯自分の家で暮らせる」が21.7%、「経済的な生活の不安がない」が20.9%となっています。

前回調査と比較すると、「地域の見守りや助け合いがあり、安心して暮らせる」が13.6ポイント、「介護する人が身体的・精神的な負担から開放されている」が6.2ポイント、「安心して夜間外出できるなど治安が安定している」が5.5ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

「不明・無回答」を除く年代別をみると、10-20代では「いじめ、差別や偏見などが無い」が、30~40代では「経済的な生活の不安が無い」が、70代以上では「寝たきりや病気がちになっても生涯自分の家で暮らせる」が、それ以外の年代では「災害時の地域における支援の仕組みがあり安心して暮らせる」が最も多く、特に10-20代の「いじめ、差別や偏見などが無い」では、全体より15.3ポイント多くなっています。また、30代では「誰もが、仕事と生活を両立しながら、自分の希望する働き方ができる」が、50代では「経済的な生活の不安が無い」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

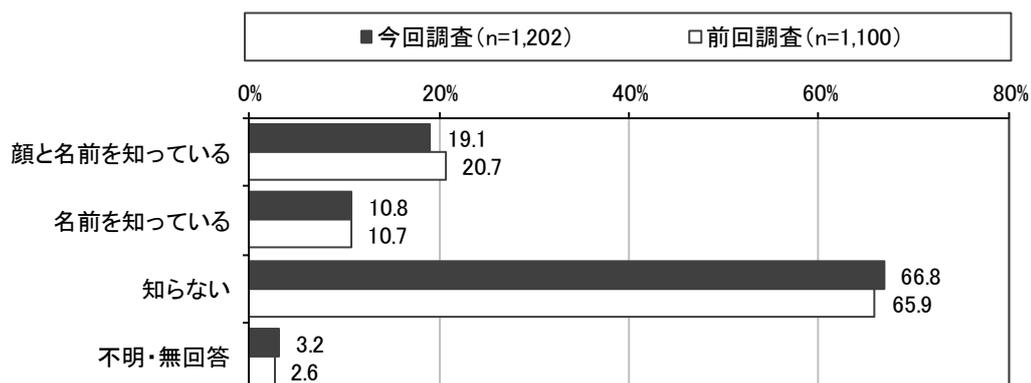
地区別をみると、千代田中学校地区では「経済的な生活の不安が無い」と「寝たきりや病気がちになっても生涯自分の家で暮らせる」が、西中学校B地区では「経済的な生活の不安が無い」が、それ以外の地区では「災害時の地域における支援の仕組みがあり安心して暮らせる」が最も多くなっています。また、西中学校A地区では「まちが清潔で自然も多く、憩いと安らぎを得られる」が、全体より6.3ポイント多くなっています。

(単位:%)		安心して暮らせる	地域の見守りや助け合いがあり、結びつきが強い	家族のコミュニケーションが活発で地域での交流が活発である	いじめ、差別や偏見などが無い	日本で生活している外国人の人たちとの交流が活発である	経済的な生活の不安が無い	健康づくりにわたって、自らの健康を守り、生涯にわたって、自らの健康を守り、負担から開放されている	介護する人が身体的・精神的な負担から開放されている	自分の希望する働き方ができる	誰もが、仕事と生活を両立しながら、自分の希望する働き方ができる	ボランティア活動やNPO活動が活発である	生涯にわたって学ぶことができ、その成果を活かすことができる	寝たきりや病気がちになっても生涯自分の家で暮らせる	障がいのある人たちが安心して外出できる基盤が充実している	災害時の地域における支援の仕組みがあり安心して暮らせる	安定している	安心して夜間外出できるなど治安が安定している	まちが清潔で自然も多く、憩いと安らぎを得られる	不明・無回答
合計	(n=1,202)	12.2	1.7	7.2	13.0	8.1	20.9	11.3	18.4	17.8	4.6	7.2	21.7	12.3	24.4	9.8	11.9	11.9	26.8	
年代別	10-20代	(n=106)	11.3	1.9	5.7	28.3	14.2	22.6	8.5	14.2	19.8	6.6	5.7	15.1	7.5	19.8	17.9	14.2	28.3	
	30代	(n=116)	5.2	2.6	6.9	13.8	12.1	29.3	8.6	22.4	28.4	1.7	6.0	25.0	19.8	22.4	12.9	6.9	20.7	
	40代	(n=188)	10.6	2.7	3.2	19.7	9.6	29.3	8.0	23.4	24.5	2.1	6.4	14.9	14.9	27.1	10.1	8.0	20.2	
	50代	(n=178)	14.6	1.1	4.5	16.3	7.3	32.0	10.7	24.7	19.1	2.2	6.7	20.2	11.8	34.3	9.0	13.5	18.5	
	60代	(n=201)	14.9	2.0	7.5	9.0	5.0	14.4	13.9	15.4	16.9	5.0	9.5	24.9	8.0	27.9	7.5	13.9	29.9	
	70代以上	(n=383)	13.1	1.3	11.0	6.8	6.3	12.5	13.3	15.1	10.7	6.8	7.3	24.5	12.3	18.5	7.8	13.1	33.2	
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	12.7	2.1	10.1	12.2	7.9	23.8	12.7	14.3	17.5	4.2	10.6	23.8	11.6	21.7	9.0	11.1	23.8	
	北中学校地区	(n=194)	13.9	3.1	9.3	11.3	9.8	14.4	13.4	21.1	21.1	5.2	8.2	17.5	11.9	22.2	12.9	14.9	23.7	
	西中学校A地区	(n=154)	14.3	1.3	5.2	11.7	7.8	23.4	9.1	19.5	16.2	3.2	6.5	21.4	11.0	26.6	12.3	18.2	25.3	
	西中学校B地区	(n=159)	11.9	1.3	5.7	12.6	10.7	24.5	10.1	22.6	20.8	3.1	5.0	21.4	11.3	23.9	10.7	11.3	27.0	
	四街道中学校地区	(n=274)	13.5	2.2	7.3	16.4	7.3	20.4	11.7	16.4	19.0	5.5	6.6	20.4	11.7	23.4	7.3	8.4	28.1	
	旭中学校地区	(n=189)	7.9	0.5	5.3	13.2	5.8	21.7	10.1	19.0	12.7	5.3	5.3	26.5	14.3	29.1	8.5	10.6	30.2	

## 6 「地域における支え合い」について

### 問 19 あなたはお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。(単数回答)

「知らない」が66.8%と最も多く、次いで「顔と名前を知っている」が19.1%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「知らない」が最も多く、特に10～30代では、全体より20ポイント以上多くなっています。また、70代以上では「顔と名前を知っている」が、全体より11.7ポイント多くなっています。

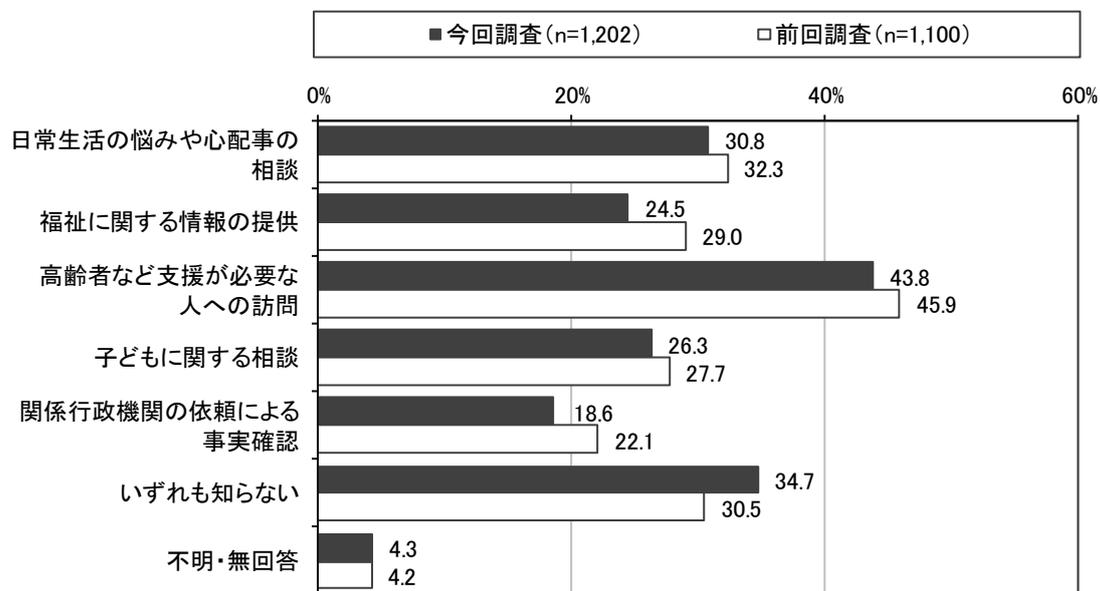
地区別をみると、いずれも「知らない」が最も多く、特に四街道中学校地区では、全体より5.1ポイント多くなっています。

(単位:%)		顔と名前を知っている	名前を知っている	知らない	不明・無回答
合計 (n=1,202)		19.1	10.8	66.8	3.2
年代別	10-20代 (n=106)	1.9	6.6	90.6	0.9
	30代 (n=116)	5.2	3.4	89.7	1.7
	40代 (n=188)	13.8	8.0	75.5	2.7
	50代 (n=178)	11.2	12.4	72.5	3.9
	60代 (n=201)	24.4	12.9	59.7	3.0
	70代以上 (n=383)	30.8	14.6	49.9	4.7
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	23.3	14.3	59.8	2.6
	北中学校地区 (n=194)	22.2	11.9	63.9	2.1
	西中学校A地区 (n=154)	18.2	9.7	68.8	3.2
	西中学校B地区 (n=159)	19.5	11.9	66.7	1.9
	四街道中学校地区 (n=274)	15.7	6.9	71.9	5.5
	旭中学校地区 (n=189)	16.4	14.3	66.1	3.2

## 問 20 民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知のものはどれですか。(複数回答)

「高齢者など支援が必要な人への訪問」が 43.8%と最も多く、次いで「いずれも知らない」が 34.7%、「日常生活の悩みや心配事の相談」が 30.8%となっています。

前回調査と比較すると、「いずれも知らない」が 4.2 ポイント前回より多く、反対に、「福祉に関する情報の提供」が 4.5 ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10～40代では「いずれも知らない」が、それ以外の年代では「高齢者など支援が必要な人への訪問」が最も多く、特に10～30代の「いずれも知らない」と、60代以上の「高齢者など支援が必要な人への訪問」では、全体より10ポイント以上多くなっています。

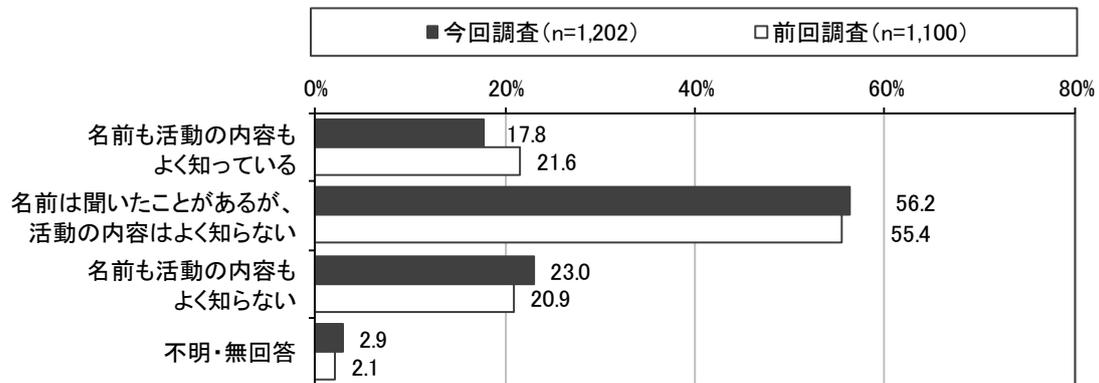
地区別をみると、四街道中学校地区では「いずれも知らない」が、それ以外の地区では「高齢者など支援が必要な人への訪問」が最も多く、特に四街道中学校地区の「いずれも知らない」と、北中学校地区の「高齢者など支援が必要な人への訪問」では、全体より5ポイント以上多くなっています。また、北中学校地区では「福祉に関する情報の提供」が、全体より6.9ポイント多くなっています。

(単位:%)		談 日 常 生 活 の 悩 み や 心 配 事 の 相	福 祉 に 関 す る 情 報 の 提 供	の 高 訪 問 訪 問 者 等 支 援 が 必 要 な 人 へ	子 ど も に 関 す る 相 談	実 関 確 係 認 行 政 機 関 の 依 頼 に よ る 事	い ず れ も 知 ら 不 明 ・ 無 回 答		
合計	(n=1,202)	30.8	24.5	43.8	26.3	18.6	34.7	4.3	
年 代 別	10-20代	(n=106)	9.4	5.7	12.3	20.8	5.7	67.0	2.8
	30代	(n=116)	16.4	16.4	22.4	24.1	14.7	65.5	2.6
	40代	(n=188)	26.6	19.7	33.0	29.3	13.3	37.8	3.2
	50代	(n=178)	30.9	23.0	47.8	30.3	16.9	29.8	3.9
	60代	(n=201)	35.3	28.9	55.2	28.9	21.4	27.4	4.5
	70代以上	(n=383)	39.7	32.4	56.1	23.5	25.1	21.4	6.3
	地 区 別	千代田中学校地区	(n=189)	31.2	20.6	43.4	27.0	20.6	33.3
北中学校地区		(n=194)	32.5	31.4	49.5	26.8	19.1	32.0	3.6
西中学校A地区		(n=154)	33.1	18.8	43.5	27.3	18.8	34.4	5.2
西中学校B地区		(n=159)	32.1	25.2	42.1	30.2	17.6	32.1	4.4
四街道中学校地区		(n=274)	26.3	23.7	40.5	23.4	18.6	41.6	3.6
旭中学校地区		(n=189)	30.2	24.3	45.5	24.9	16.4	32.3	6.3

## 問 21 あなたは社会福祉協議会をご存じですか。(単数回答)

「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が 56.2%と最も多く、次いで「名前も活動の内容もよく知らない」が 23.0%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10-20代では「名前も活動の内容もよく知らない」が、それ以外の年代では「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が最も多く、特に10-20代の「名前も活動の内容もよく知らない」では、全体より32.7ポイント多くなっています。また、30代では「名前も活動の内容もよく知らない」が、全体より14.1ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が最も多く、特に西中学校B地区では、全体より6.7ポイント多くなっています。また、旭中学校地区では「名前も活動の内容もよく知っている」が、四街道中学校地区では「名前も活動の内容もよく知らない」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

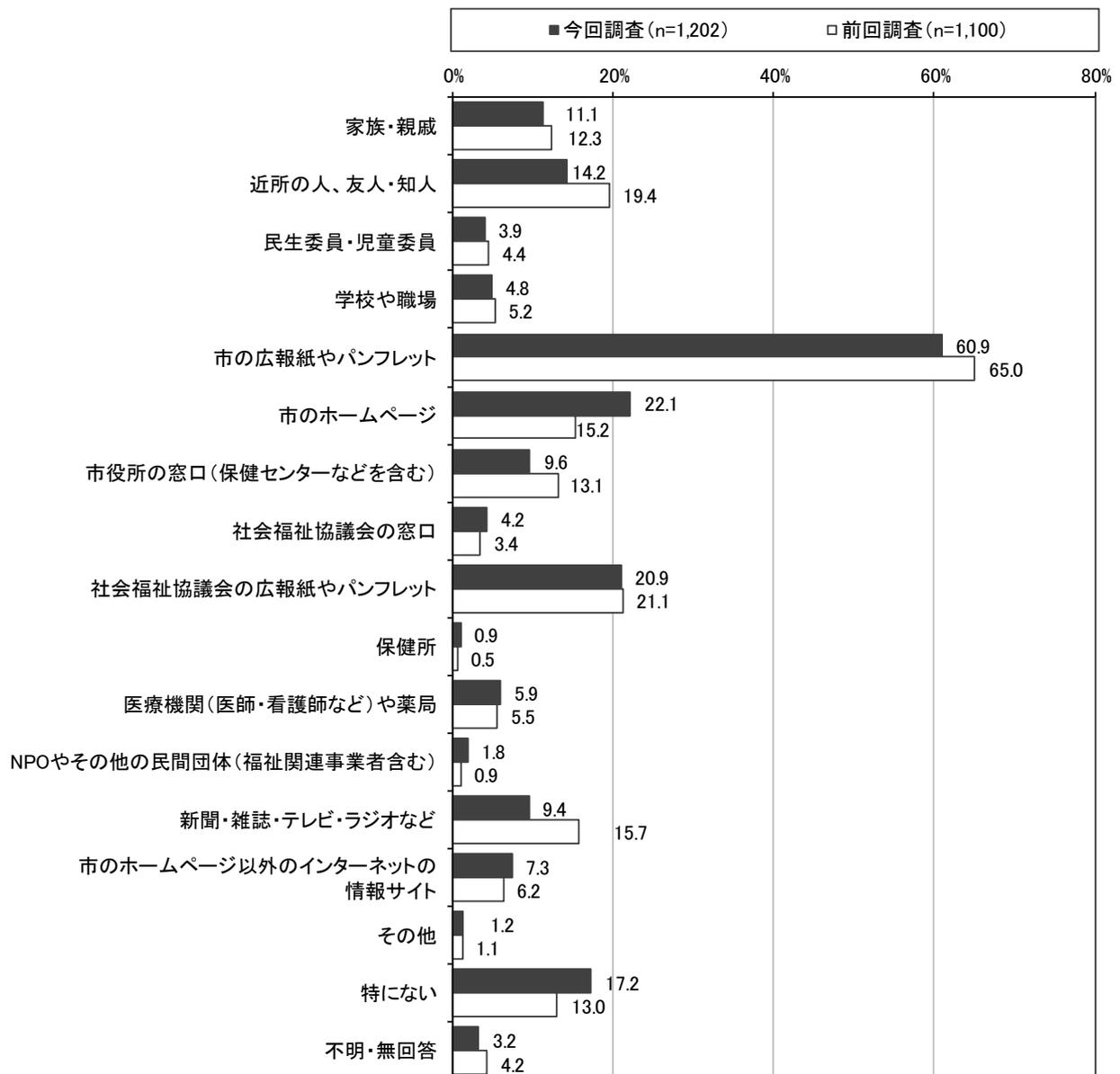
(単位:%)		名前も活動の内容もよく知っている	名前も活動の内容はよく知らないが、活動の内容は聞いたことがある	名前も活動の内容もよく知らない	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	17.8	56.2	23.0	2.9	
年代別	10-20代	(n=106)	6.6	36.8	55.7	0.9
	30代	(n=116)	11.2	50.0	37.1	1.7
	40代	(n=188)	10.6	63.3	23.4	2.7
	50代	(n=178)	15.7	58.4	20.8	5.1
	60代	(n=201)	21.4	60.7	14.9	3.0
	70代以上	(n=383)	25.3	56.1	15.4	3.1
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	20.1	58.7	19.0	2.1
	北中学校地区	(n=194)	21.1	56.2	20.1	2.6
	西中学校A地区	(n=154)	13.0	58.4	25.3	3.2
	西中学校B地区	(n=159)	15.7	62.9	20.8	0.6
	四街道中学校地区	(n=274)	14.6	52.9	28.1	4.4
	旭中学校地区	(n=189)	23.3	49.2	23.3	4.2

## 7 「福祉に関する情報・相談など」について

### 問 22 福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか。(複数回答)

「市の広報紙やパンフレット」が60.9%と最も多く、次いで「市のホームページ」が22.1%、「社会福祉協議会の広報紙やパンフレット」が20.9%となっています。

前回調査と比較すると、「市のホームページ」が6.9ポイント前回より多く、反対に、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど」が6.3ポイント、「近所の人、友人・知人」が5.2ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10-20代では「特にない」が、それ以外の年代では「市の広報紙やパンフレット」が最も多く、特に10-20代の「特にない」と30~40代の「市のホームページ」では、全体より10ポイント以上多くなっています。また、10-20代では「家族・親戚」が、70代以上では「社会福祉協議会の広報紙やパンフレット」が全体より10ポイント以上多くなっています。

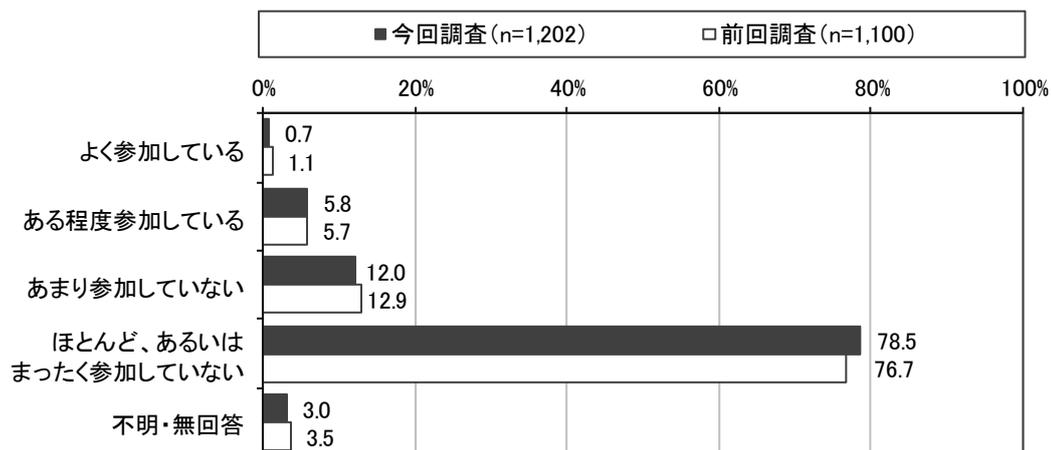
地区別をみると、いずれも「市の広報紙やパンフレット」が最も多くなっています。また、千代田中学校地区では「社会福祉協議会の広報紙やパンフレット」が、全体より5.6ポイント多くなっています。

(単位:%)		家族・親戚	近所の人、友人・知人	民生委員・児童委員	学校や職場	市の広報紙やパンフレット	市のホームページ	市役所の窓口 (保健センターなどを含む)	社会福祉協議会の窓口	社会福祉協議会の広報紙やパンフレット
合計 (n=1,202)		11.1	14.2	3.9	4.8	60.9	22.1	9.6	4.2	20.9
年代別	10-20代 (n=106)	24.5	7.5	0.0	7.5	33.0	13.2	3.8	0.9	1.9
	30代 (n=116)	11.2	17.2	2.6	9.5	48.3	36.2	7.8	1.7	7.8
	40代 (n=188)	12.8	9.6	2.1	10.6	60.6	32.4	9.0	1.6	11.2
	50代 (n=178)	7.9	7.9	0.0	5.1	64.0	28.7	12.4	5.1	14.6
	60代 (n=201)	9.5	17.9	6.5	3.5	66.2	23.4	12.4	5.5	26.4
	70代以上 (n=383)	9.4	18.8	6.5	0.5	66.8	11.7	9.1	5.7	35.2
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	11.1	15.3	3.7	4.2	62.4	23.8	4.8	2.6	26.5
	北中学校地区 (n=194)	10.8	14.4	5.2	4.6	63.9	25.3	12.4	3.1	24.7
	西中学校A地区 (n=154)	12.3	14.9	2.6	4.5	57.1	14.9	7.8	3.9	19.5
	西中学校B地区 (n=159)	10.1	8.2	3.8	3.8	60.4	20.8	12.6	4.4	18.2
	四街道中学校地区 (n=274)	11.3	15.7	5.5	6.9	59.1	25.5	10.2	4.4	16.8
	旭中学校地区 (n=189)	11.6	15.3	1.6	4.2	59.3	19.0	9.5	6.3	21.2
(単位:%)		保健所	ど医療機関 (医師・看護師など)	（NPOやその他の民間団体）	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	市のホームページ以外のサイト	その他	特にない	不明・無回答	
合計 (n=1,202)		0.9	5.9	1.8	9.4	7.3	1.2	17.2	3.2	
年代別	10-20代 (n=106)	0.9	2.8	2.8	9.4	11.3	0.9	35.8	0.9	
	30代 (n=116)	1.7	6.9	1.7	1.7	11.2	0.0	22.4	1.7	
	40代 (n=188)	1.6	4.3	2.1	5.3	10.6	2.1	17.6	3.2	
	50代 (n=178)	0.0	9.6	0.6	9.0	9.0	0.0	19.1	3.9	
	60代 (n=201)	2.0	5.0	1.5	11.9	9.0	2.0	13.9	3.0	
	70歳以上 (n=383)	0.3	5.7	2.3	12.3	2.3	1.3	11.7	4.4	
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	0.5	4.8	1.1	11.1	7.4	1.1	15.9	3.2	
	北中学校地区 (n=194)	1.0	6.7	3.1	10.3	7.2	0.0	18.0	3.6	
	西中学校A地区 (n=154)	1.9	5.8	1.9	8.4	5.2	1.9	18.2	3.2	
	西中学校B地区 (n=159)	1.3	8.2	1.3	6.9	9.4	1.9	18.9	2.5	
	四街道中学校地区 (n=274)	0.4	5.5	2.2	10.2	8.4	0.4	17.9	4.0	
	旭中学校地区 (n=189)	1.1	4.8	1.6	7.9	6.9	2.1	16.4	3.2	

### 問 23 福祉に関する行事や講座などにどの程度参加していますか。(単数回答)

「ほとんど、あるいはまったく参加していない」が 78.5%と最も多く、「あまり参加していない」(12.0%) を合わせた“参加していない”は 90.5%となっています。反対に、「よく参加している」(0.7%) と「ある程度参加している」(5.8%) を合わせた“参加している”は 6.5%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

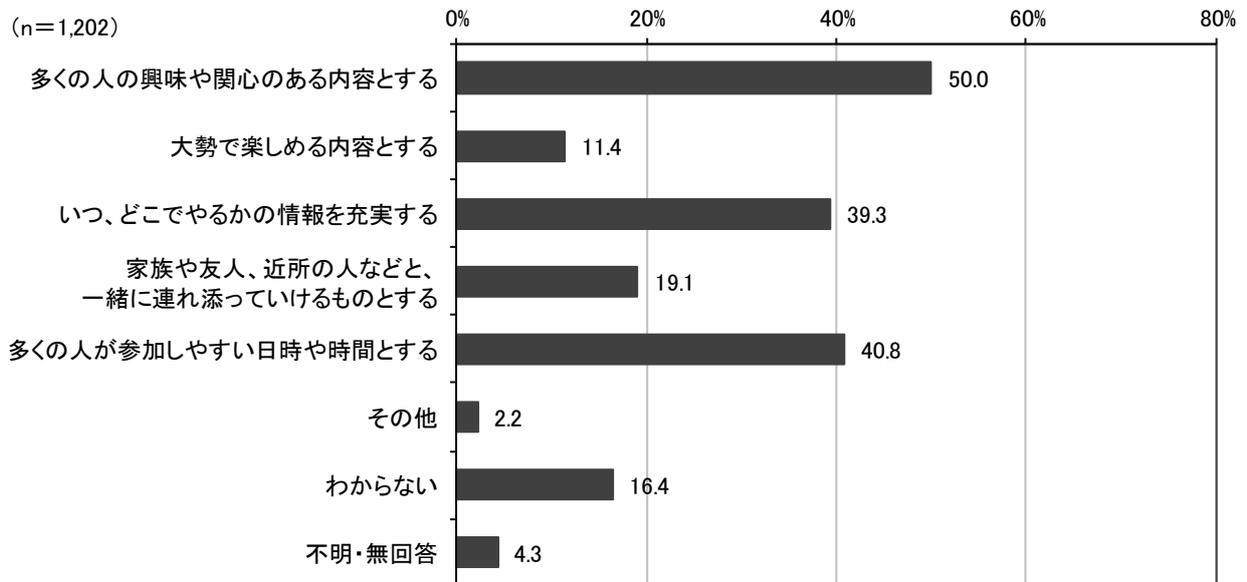
年代別をみると、いずれも「ほとんど、あるいはまったく参加していない」が最も多く、特に10～50代では、全体より5ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、いずれも「ほとんど、あるいはまったく参加していない」が最も多くなっています。

(単位：%)		よく参加している	ある程度参加している	あまり参加していない	ほとんど、あるいはまったく参加していない	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	0.7	5.8	12.0	78.5	3.0	
年代別	10-20代	(n=106)	0.0	3.8	6.6	88.7	0.9
	30代	(n=116)	0.0	4.3	6.9	87.1	1.7
	40代	(n=188)	0.0	5.3	8.0	83.5	3.2
	50代	(n=178)	0.0	1.7	10.1	84.8	3.4
	60代	(n=201)	1.5	4.0	14.9	76.6	3.0
	70代以上	(n=383)	1.3	9.9	16.7	68.1	3.9
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	0.5	5.3	15.9	75.1	3.2
	北中学校地区	(n=194)	0.5	9.3	11.3	77.3	1.5
	西中学校A地区	(n=154)	0.0	4.5	9.1	83.1	3.2
	西中学校B地区	(n=159)	1.3	6.9	14.5	76.1	1.3
	四街道中学校地区	(n=274)	1.1	5.8	9.9	78.8	4.4
	旭中学校地区	(n=189)	0.5	3.2	13.8	78.8	3.7

**問 24 福祉に関する行事や講座などに、より多くの人が参加するためには、どのような条件が整えば良いと思いますか。(複数回答)**

「多くの人の興味や関心のある内容とする」が 50.0%と最も多く、次いで「多くの人が参加しやすい日時や時間とする」が 40.8%、「いつ、どこでやるかの情報を充実する」が 39.3%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10-20代では「多くの人の興味や関心のある内容とする」と「いつ、どこでやるかの情報を充実する」が、50代では「多くの人が参加しやすい日時や時間とする」が、それ以外の年代では「多くの人の興味や関心のある内容とする」が最も多く、特に10-20代の「いつ、どこでやるかの情報を充実する」と50代の「多くの人が参加しやすい日時や時間とする」では、全体より5ポイント以上多くなっています。また、30代では「家族や友人、近所の人などと、一緒に連れ添っていけるものとする」が、全体より8.5ポイント多くなっています。

地区別をみると、いずれも「多くの人の興味や関心のある内容とする」が最も多く、特に西中学校B地区と北中学校地区では、全体より5ポイント以上多くなっています。また、千代田中学校地区では「家族や友人、近所の人などと、一緒に連れ添っていけるものとする」が、全体より5.2ポイント多くなっています。

(単位:%)		多くの人の興味や関心のある内容とする	大勢で楽しめる内容とする	いつ、どこでやるかの情報を充実する	家族や友人、近所の人などと一緒に行きたい	多くの人が参加しやすい日時や時間とする	その他	わからない	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	50.0	11.4	39.3	19.1	40.8	2.2	16.4	4.3	
年代別	10-20代	(n=106)	49.1	6.6	49.1	22.6	44.3	1.9	14.2	0.9
	30代	(n=116)	46.6	12.1	37.1	27.6	39.7	4.3	14.7	1.7
	40代	(n=188)	52.7	11.2	37.8	23.4	42.6	1.6	18.6	3.2
	50代	(n=178)	48.3	8.4	35.4	15.2	48.9	1.7	15.7	3.9
	60代	(n=201)	53.7	9.5	43.8	20.9	43.8	0.5	16.9	3.5
	70代以上	(n=383)	48.8	15.1	37.3	14.6	33.7	3.1	17.2	7.6
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	46.0	14.8	40.2	24.3	36.0	2.1	14.8	4.2
	北中学校地区	(n=194)	56.7	11.3	39.2	21.1	40.7	1.5	14.4	4.6
	西中学校A地区	(n=154)	42.9	5.8	34.4	13.0	40.3	4.5	25.3	3.9
	西中学校B地区	(n=159)	58.5	12.6	37.7	18.2	45.3	2.5	13.8	3.1
	四街道中学校地区	(n=274)	48.9	10.2	41.2	19.7	45.3	1.8	14.6	4.7
	旭中学校地区	(n=189)	46.6	13.8	42.3	18.0	35.4	1.1	20.1	5.3

## 問 25 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(単数回答)

「名前は知っているが、制度の内容は知らない」が 35.5%と最も多く、次いで「名前も、制度の内容も知っている」が 32.8%、「名前も、制度の内容も知らない」が 28.5%となっています。



### ●クロス集計（グレー部分は最多項目）

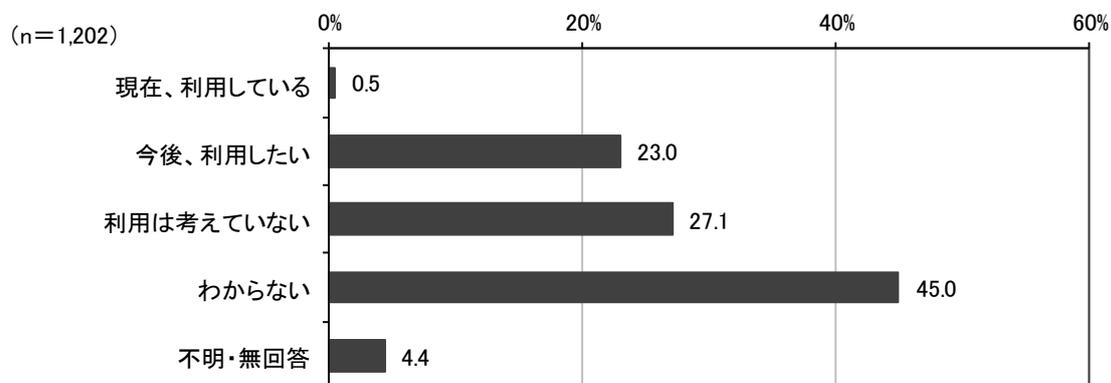
年代別をみると、10～30代では「名前も、制度の内容も知らない」が、それ以外の年代では「名前は知っているが、制度の内容は知らない」が最も多く、特に10～30代の「名前も、制度の内容も知らない」では、全体より10ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、千代田中学校地区では「名前も、制度の内容も知っている」が、四街道中学校地区では「名前も、制度の内容も知らない」が、それ以外の地区では「名前は知っているが、制度の内容は知らない」が最も多く、特に北中学校地区の「名前は知っているが、制度の内容は知らない」では、全体より5.2ポイント多くなっています。

(単位:%)		名 前 も 知 っ て い る が 、 制 度 の 内 容 も 知 ら な い	名 前 も 知 ら な い 、 制 度 の 内 容 も 知 ら な い	名 前 も 知 ら な い 、 制 度 の 内 容 も 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
合計	(n=1,202)	32.8	35.5	28.5	3.2	
年 代 別	10-20代	(n=106)	26.4	11.3	60.4	1.9
	30代	(n=116)	31.9	28.4	38.8	0.9
	40代	(n=188)	26.6	39.9	30.9	2.7
	50代	(n=178)	34.8	38.2	23.0	3.9
	60代	(n=201)	34.8	37.3	22.9	5.0
	70代以上	(n=383)	35.0	40.7	20.6	3.7
	地 区 別	千代田中学校地区	(n=189)	34.9	34.4	27.0
北中学校地区		(n=194)	33.5	40.7	23.7	2.1
西中学校A地区		(n=154)	33.1	36.4	27.9	2.6
西中学校B地区		(n=159)	29.6	37.7	30.8	1.9
四街道中学校地区		(n=274)	31.8	30.7	32.8	4.7
旭中学校地区		(n=189)	32.8	37.6	25.4	4.2

**問 26-1 あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(単数回答)**

「わからない」が45.0%と最も多く、次いで「利用は考えていない」が27.1%、「今後、利用したい」が23.0%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、70代以上では「利用は考えていない」が、それ以外の年代では「わからない」が最も多く、特に70代以上の「利用は考えていない」と、10～40代の「わからない」では、全体より10ポイント以上多くなっています。

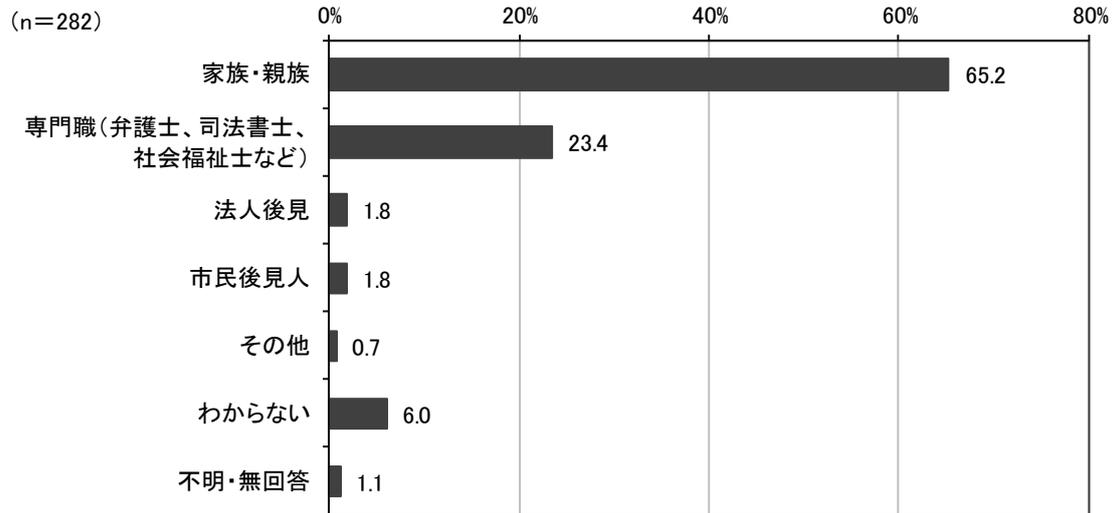
地区別をみると、いずれも「わからない」が最も多くなっています。また、北中学校地区では「利用は考えていない」が、全体より6.4ポイント多くなっています。

(単位:%)		現在、 利用 している	今後、 利用 したい	利用 は考 えて いな い	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
合計	(n=1,202)	0.5	23.0	27.1	45.0	4.4
年代別	10-20代 (n=106)	0.0	26.4	15.1	56.6	1.9
	30代 (n=116)	0.9	30.2	10.3	55.2	3.4
	40代 (n=188)	0.0	23.9	17.6	55.3	3.2
	50代 (n=178)	0.6	23.0	18.5	53.4	4.5
	60代 (n=201)	0.0	24.4	32.3	37.8	5.5
	70代以上 (n=383)	1.0	18.5	41.5	33.2	5.7
	地区別	千代田中学校地区 (n=189)	0.0	26.5	27.0	43.9
北中学校地区 (n=194)		1.0	20.1	33.5	40.7	4.6
西中学校A地区 (n=154)		0.0	20.8	27.3	48.7	3.2
西中学校B地区 (n=159)		0.6	22.0	28.9	45.9	2.5
四街道中学校地区 (n=274)		0.4	23.7	21.2	47.8	6.9
旭中学校地区 (n=189)		1.1	23.3	28.6	41.3	5.8

(問 26-1 で「現在、利用している」または「今後、利用したい」を選んだ方)

**問 26-2 成年後見制度の利用に際し、後見人は誰になってもらっていますか。また、誰になってもらいたいですか。(単数回答)**

「家族・親族」が 65.2%と最も多く、次いで「専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)」が 23.4%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

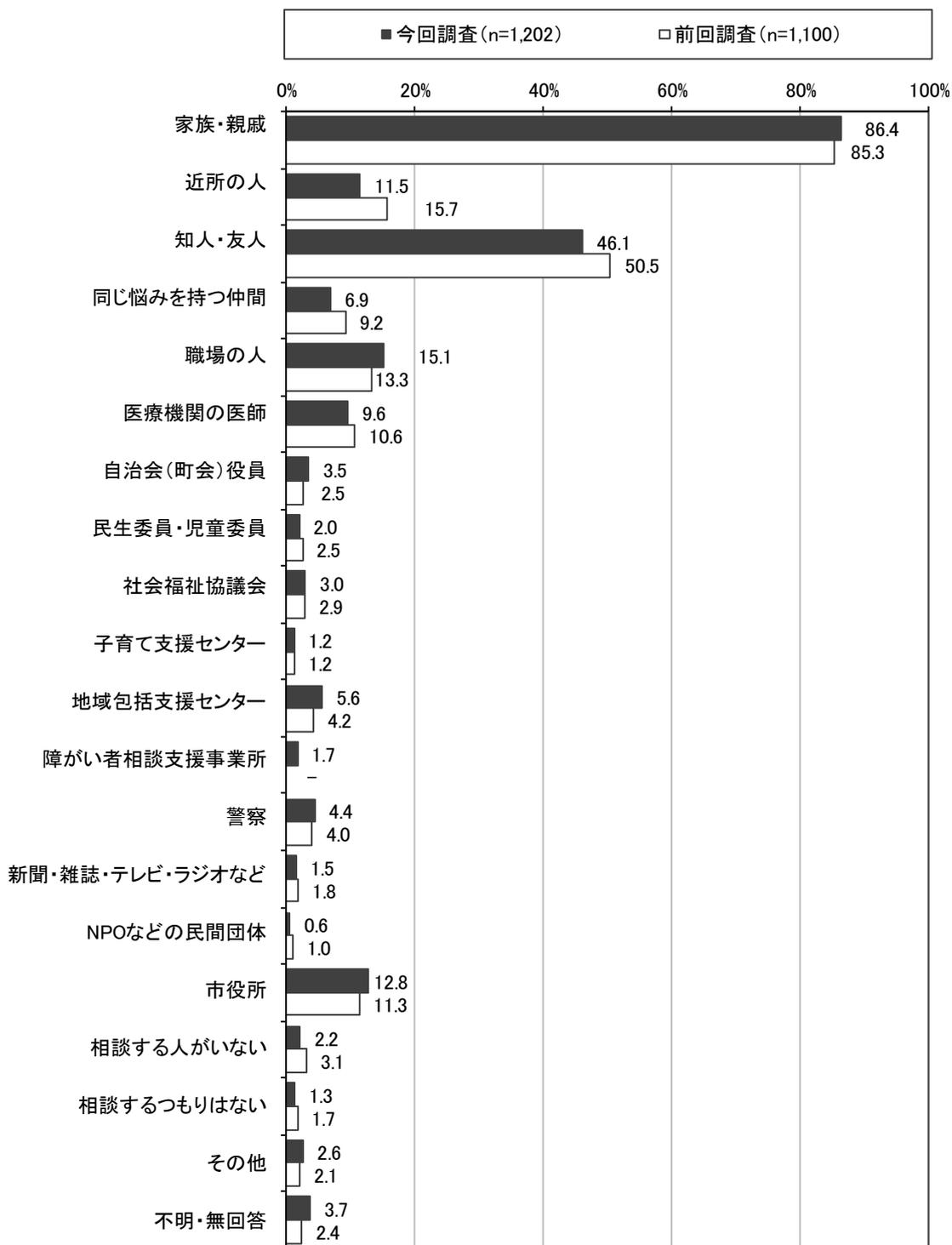
年代別をみると、いずれも「家族・親族」が最も多く、特に60代では、全体より10.3ポイント多くなっています。また、30代と50代では「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、いずれも「家族・親族」が最も多く、特に千代田中学校地区では、全体より8.8ポイント多くなっています。また、四街道中学校地区では「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）」と「わからない」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

(単位:%)		家族・親族	社会専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）	法人後見	市民後見人	その他	わからない	不明・無回答
合計	(n=282)	65.2	23.4	1.8	1.8	0.7	6.0	1.1
年代別	10-20代	(n=28)	60.7	17.9	3.6	0.0	14.3	3.6
	30代	(n=36)	52.8	36.1	2.8	2.8	2.8	2.8
	40代	(n=45)	64.4	24.4	2.2	0.0	8.9	0.0
	50代	(n=42)	47.6	42.9	0.0	0.0	4.8	2.4
	60代	(n=49)	75.5	16.3	2.0	2.0	4.1	0.0
	70代以上	(n=75)	74.7	13.3	1.3	4.0	5.3	0.0
地区別	千代田中学校地区	(n=50)	74.0	16.0	2.0	2.0	4.0	2.0
	北中学校地区	(n=41)	65.9	19.5	2.4	4.9	7.3	0.0
	西中学校A地区	(n=32)	62.5	21.9	0.0	3.1	6.3	6.3
	西中学校B地区	(n=36)	63.9	27.8	0.0	0.0	8.3	0.0
	四街道中学校地区	(n=66)	57.6	28.8	1.5	0.0	12.1	0.0
	旭中学校地区	(n=46)	65.2	26.1	4.3	2.2	0.0	2.2

**問 27 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に相談していますか。  
(複数回答)**

「家族・親戚」が86.4%と最も多く、次いで「知人・友人」が46.1%となっています。  
 前回調査と比較すると、「知人・友人」が4.4ポイント、「近所の人」が4.2ポイント前回より少なくなっています。



※「障がい者相談支援事業所」は、今回調査で追加した選択肢。

●クロス集計（グレー部分は最多項目）

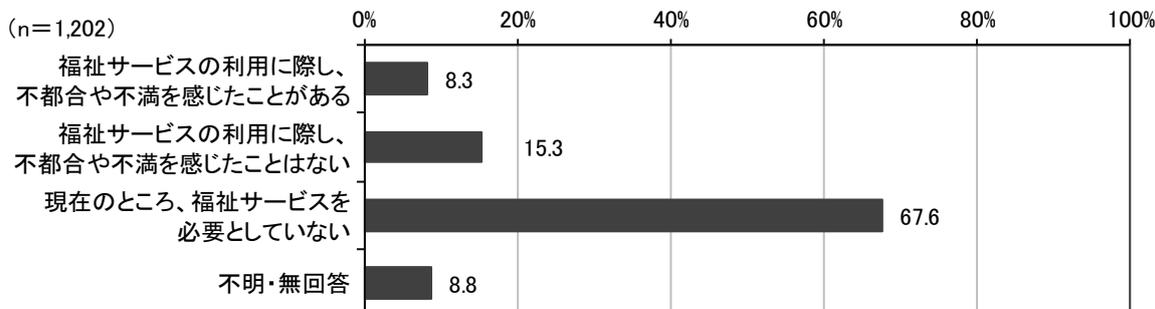
年代別をみると、いずれも「家族・親戚」が最も多くなっています。また、10～40代では「知人・友人」が、30～40代では「職場の人」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、いずれも「家族・親戚」が最も多くなっています。

(単位：%)		家族・親戚	近所の人	知人・友人	同じ悩みを持つ仲間	職場の人	医療機関の医師	自治会（町会）役員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	子育て支援センター
合計 (n=1,202)		86.4	11.5	46.1	6.9	15.1	9.6	3.5	2.0	3.0	1.2
年代別	10-20代 (n=106)	89.6	1.9	65.1	9.4	22.6	0.9	0.0	0.0	0.0	2.8
	30代 (n=116)	89.7	12.1	61.2	12.1	26.7	8.6	1.7	0.0	0.0	4.3
	40代 (n=188)	89.9	6.4	62.8	5.9	31.9	3.2	0.0	1.1	0.5	2.7
	50代 (n=178)	85.4	9.6	50.0	7.9	21.3	11.2	1.7	0.6	4.5	0.6
	60代 (n=201)	85.6	15.4	41.8	7.0	12.9	11.9	4.0	2.0	3.0	0.0
	70代以上 (n=383)	84.3	14.4	28.7	5.2	0.0	13.8	7.3	4.2	5.2	0.0
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	89.9	12.7	46.0	7.4	16.4	6.3	3.2	3.2	1.6	1.6
	北中学校地区 (n=194)	84.5	10.8	41.8	3.1	14.4	11.9	4.1	2.1	2.6	0.0
	西中学校A地区 (n=154)	83.8	10.4	46.8	8.4	13.6	7.1	1.9	1.9	5.2	1.9
	西中学校B地区 (n=159)	87.4	6.3	48.4	6.3	15.1	11.3	4.4	1.3	4.4	1.9
	四街道中学校地区 (n=274)	86.1	10.2	44.5	8.4	16.1	8.8	2.6	2.2	2.2	1.5
	旭中学校地区 (n=189)	87.8	14.8	50.3	7.9	14.8	12.7	4.8	1.1	3.2	0.5
(単位：%)		地域包括支援センター	障がい者相談支援事業所	警察	ラ新 ジ聞 オ など	N P O などの民間団体	市役所	相談する人がいない	相談するつもりはない	その他	不明・無回答
合計 (n=1,202)		5.6	1.7	4.4	1.5	0.6	12.8	2.2	1.3	2.6	3.7
年代別	10-20代 (n=106)	0.0	1.9	2.8	0.0	0.0	3.8	1.9	0.9	3.8	0.9
	30代 (n=116)	1.7	2.6	0.9	0.9	0.9	7.8	0.9	0.0	2.6	0.0
	40代 (n=188)	1.1	1.1	2.7	0.5	1.1	8.5	2.1	1.6	3.2	1.6
	50代 (n=178)	5.6	1.1	5.6	2.8	0.6	15.7	4.5	1.7	2.2	3.4
	60代 (n=201)	7.5	1.0	5.0	1.0	0.5	17.4	1.5	1.0	2.0	4.5
	70代以上 (n=383)	9.4	2.6	6.3	2.3	0.3	15.7	2.1	1.0	2.6	6.5
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	3.2	1.6	4.2	1.1	1.1	10.6	1.6	1.1	3.2	2.1
	北中学校地区 (n=194)	4.1	0.5	2.6	0.5	0.5	13.4	3.1	1.0	3.6	6.7
	西中学校A地区 (n=154)	7.1	1.3	5.2	2.6	0.0	14.9	3.9	2.6	1.3	3.2
	西中学校B地区 (n=159)	5.7	1.9	5.7	1.3	0.0	12.6	1.3	0.0	2.5	2.5
	四街道中学校地区 (n=274)	6.6	1.5	5.5	2.6	0.7	13.1	1.8	0.7	2.2	4.7
	旭中学校地区 (n=189)	6.3	4.2	3.7	1.1	0.5	12.7	2.1	1.6	3.2	2.6

**問 28-1 あなたやご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり、不満に思ったことはありませんか。（単数回答）**

「現在のところ、福祉サービスを必要としていない」が67.6%と最も多く、次いで「福祉サービスの利用に際し、不都合や不満を感じたことはない」が15.3%、「福祉サービスの利用に際し、不都合や不満を感じたことがある」が8.3%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「現在のところ、福祉サービスを必要としていない」が最も多く、特に10-20代では、全体より9.8ポイント多くなっています。

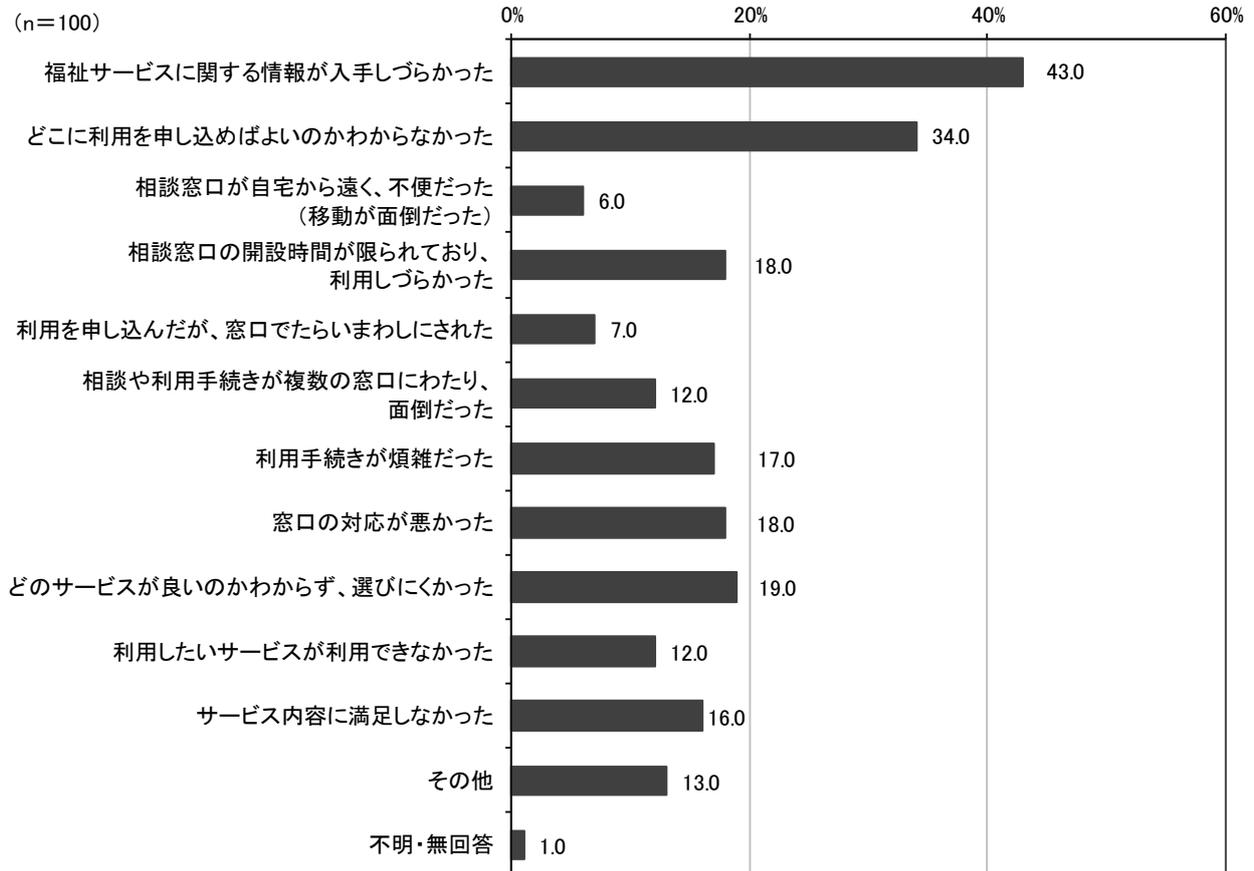
地区別をみると、いずれも「現在のところ、福祉サービスを必要としていない」が最も多くなっています。

(単位:%)		ある	不都合や不満を感じたことがある	ない	不都合や不満を感じたことはない	を現在のところ、福祉サービスを必要としていない	不明・無回答
		8.3	15.3	67.6	8.8		
合計	(n=1,202)	8.3	15.3	67.6	8.8		
年代別	10-20代	(n=106)	5.7	13.2	77.4	3.8	
	30代	(n=116)	12.9	17.2	62.9	6.9	
	40代	(n=188)	9.0	14.9	69.1	6.9	
	50代	(n=178)	10.7	18.0	64.6	6.7	
	60代	(n=201)	8.0	11.9	71.6	8.5	
	70代以上	(n=383)	6.5	16.7	64.8	12.0	
	地区別	千代田中学校地区	(n=189)	8.5	15.3	69.8	6.3
北中学校地区		(n=194)	8.2	14.9	66.5	10.3	
西中学校A地区		(n=154)	9.1	16.9	65.6	8.4	
西中学校B地区		(n=159)	8.8	18.9	66.0	6.3	
四街道中学校地区		(n=274)	8.4	15.0	67.2	9.5	
旭中学校地区		(n=189)	6.9	13.2	70.4	9.5	

(問 28-1 で「福祉サービスの利用に際し、不都合や不満を感じたことがある」を選んだ方)

## 問 28-2 不都合を感じたり、不満に思ったことは、どのようなことですか。 (複数回答)

「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が 43.0%と最も多く、次いで「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が 34.0%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10-20代では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」と「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」、「サービス内容に満足しなかった」が、50代では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」と「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が、60代では「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が、それ以外の年代では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が最も多くなっています。

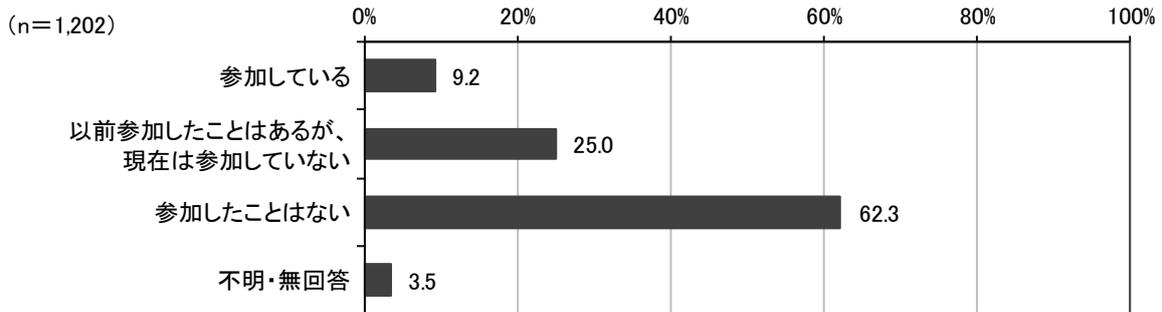
地区別をみると、西中学校A地区では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」と「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が、四街道中学校地区では「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」が、旭中学校地区では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」と「利用手続きが煩雑だった」が、それ以外の地区では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が最も多くなっています。

(単位:%)		入 手 し づ ら か っ た	ど こ に 利 用 を 申 し 込 め ば よ い の か わ ら な か っ た	だ っ た （ 移 動 が 面 倒 だ っ た ）	相 談 窓 口 が 自 宅 か ら 遠 く た ）	相 談 窓 口 の 開 設 時 間 が 限 ら れ て お り 、 利 用 し づ ら か っ た	利 用 を 申 し 込 ん だ が 、 窓 口 で た ら い ま わ し に さ れ た	窓 口 に わ た り 、 面 倒 だ っ た	相 談 や 利 用 手 続 き が 複 数 の 窓 口 に わ た り 、 面 倒 だ っ た	利 用 手 続 き が 煩 雑 だ っ た	窓 口 の 対 応 が 悪 か っ た	ど の サ ー ビ ス が 良 い の か っ た	ど の サ ー ビ ス が 良 い の か っ た	ど の サ ー ビ ス が 良 い の か っ た	利 用 し た い サ ー ビ ス が 利 用 し な か っ た	サ ー ビ ス 内 容 に 満 足	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
合計	(n=100)	43.0	34.0	6.0	18.0	7.0	12.0	17.0	18.0	19.0	12.0	16.0	13.0	1.0				
年代別	10-20代	(n=6)	50.0	50.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0				
	30代	(n=15)	40.0	20.0	13.3	33.3	6.7	20.0	26.7	13.3	26.7	13.3	6.7	0.0				
	40代	(n=17)	41.2	29.4	5.9	29.4	5.9	17.6	23.5	17.6	23.5	5.9	5.9	17.6	0.0			
	50代	(n=19)	57.9	57.9	0.0	15.8	10.5	21.1	21.1	10.5	21.1	10.5	15.8	0.0	0.0			
	60代	(n=16)	31.3	50.0	6.3	12.5	6.3	0.0	6.3	43.8	18.8	12.5	18.8	12.5	0.0			
	70代以上	(n=25)	40.0	16.0	8.0	8.0	0.0	0.0	8.0	12.0	12.0	4.0	16.0	28.0	4.0			
地区別	千代田中学校地区	(n=16)	37.5	12.5	0.0	31.3	0.0	6.3	6.3	25.0	18.8	6.3	12.5	25.0	0.0			
	北中学校地区	(n=16)	50.0	37.5	6.3	12.5	6.3	18.8	12.5	6.3	25.0	25.0	25.0	0.0				
	西中学校A地区	(n=14)	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	7.1	21.4	28.6	14.3	14.3	21.4	7.1	0.0			
	西中学校B地区	(n=14)	42.9	35.7	0.0	7.1	14.3	7.1	14.3	35.7	7.1	0.0	14.3	0.0	7.1			
	四街道中学校地区	(n=23)	47.8	52.2	8.7	26.1	4.3	4.3	13.0	0.0	21.7	13.0	13.0	4.3	0.0			
	旭中学校地区	(n=13)	38.5	23.1	7.7	15.4	7.7	23.1	38.5	30.8	23.1	15.4	15.4	15.4	0.0			

## 8 「防災」について

### 問 29 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(単数回答)

「参加したことはない」が 62.3%と最も多く、次いで「以前参加したことはあるが、現在は参加していない」が 25.0%、「参加している」が 9.2%となっています。



#### ●クロス集計 (グレー部分は最多項目)

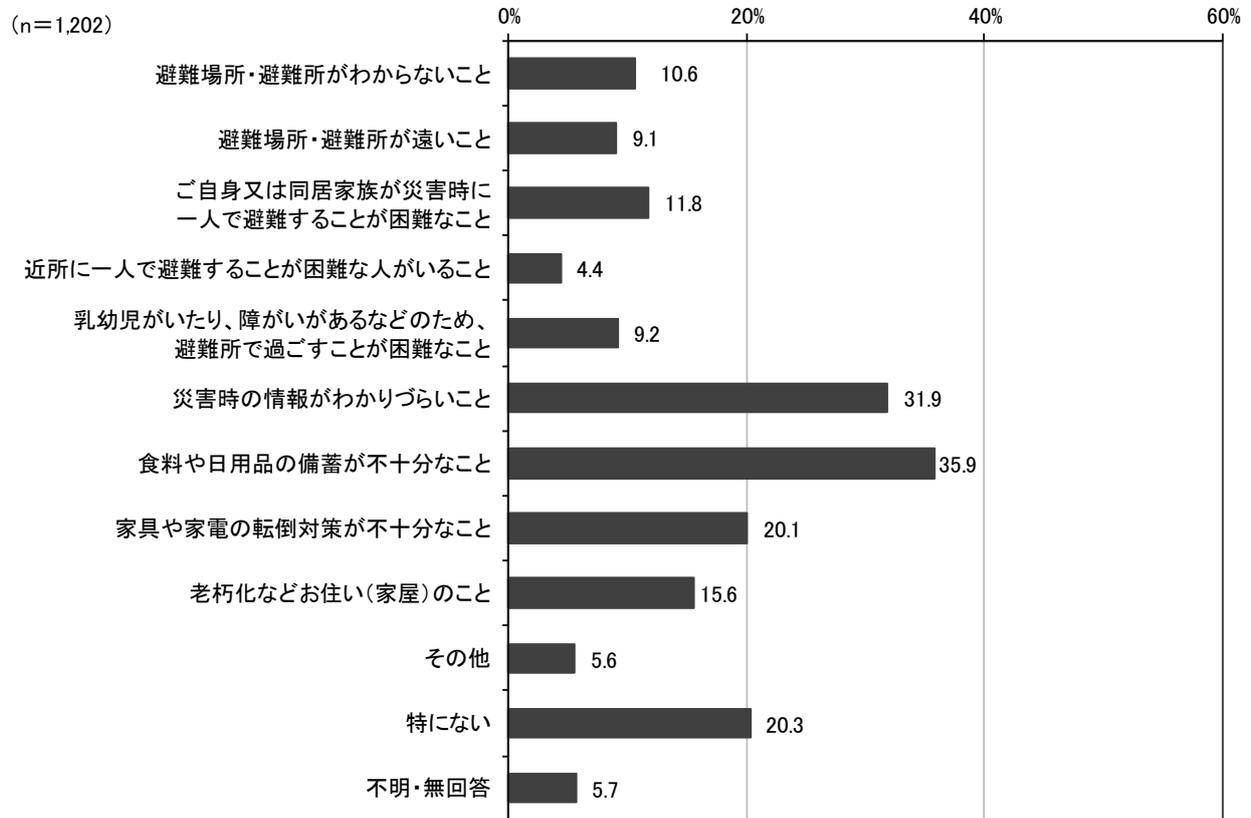
年代別をみると、いずれも「参加したことはない」が最も多く、特に 30~50 代では、全体より 10 ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、いずれも「参加したことはない」が最も多く、特に西中学校 A 地区では、全体より 6.5 ポイント多くなっています。また、北中学校地区では「参加している」が、全体より 5.2 ポイント多くなっています。

(単位: %)		参加している	以前参加したことはあるが、現在は参加していない	参加したことはない	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	9.2	25.0	62.3	3.5	
年代別	10-20代	(n=106)	2.8	23.6	71.7	1.9
	30代	(n=116)	6.0	9.5	83.6	0.9
	40代	(n=188)	5.3	16.0	77.1	1.6
	50代	(n=178)	6.2	18.5	72.5	2.8
	60代	(n=201)	9.5	31.8	54.2	4.5
	70代以上	(n=383)	14.1	33.2	47.3	5.5
	地区別	千代田中学校地区	(n=189)	11.6	24.3	61.4
北中学校地区		(n=194)	14.4	24.2	58.2	3.1
西中学校A地区		(n=154)	1.3	26.6	68.8	3.2
西中学校B地区		(n=159)	6.3	27.7	64.2	1.9
四街道中学校地区		(n=274)	9.9	23.0	61.7	5.5
旭中学校地区		(n=189)	7.9	23.8	64.6	3.7

### 問 30 災害時についての不安や心配事がありますか。(複数回答)

「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」が 35.9%と最も多く、次いで「災害時の情報がわかりづらいこと」が 31.9%、「特にない」が 20.3%となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、60代以上では「災害時の情報がわかりづらいこと」が、それ以外の年代では「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」が最も多く、特に30代の「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」では、全体より13.2ポイント多くなっています。また、30代では「避難場所・避難所がわからないこと」と「乳幼児がいたり、障がいがあるなどのため、避難所で過ごすことが困難なこと」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、北中学校地区では「災害時の情報がわかりづらいこと」が、それ以外の地区では「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」が最も多くなっています。また、千代田中学校地区では「乳幼児がいたり、障がいがあるなどのため、避難所で過ごすことが困難なこと」が、北中学校地区では「特にない」が、西中学校B地区では「避難場所・避難所がわからないこと」と「避難場所・避難所が遠いこと」が、旭中学校地区では「老朽化などお住い（家屋）のこと」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

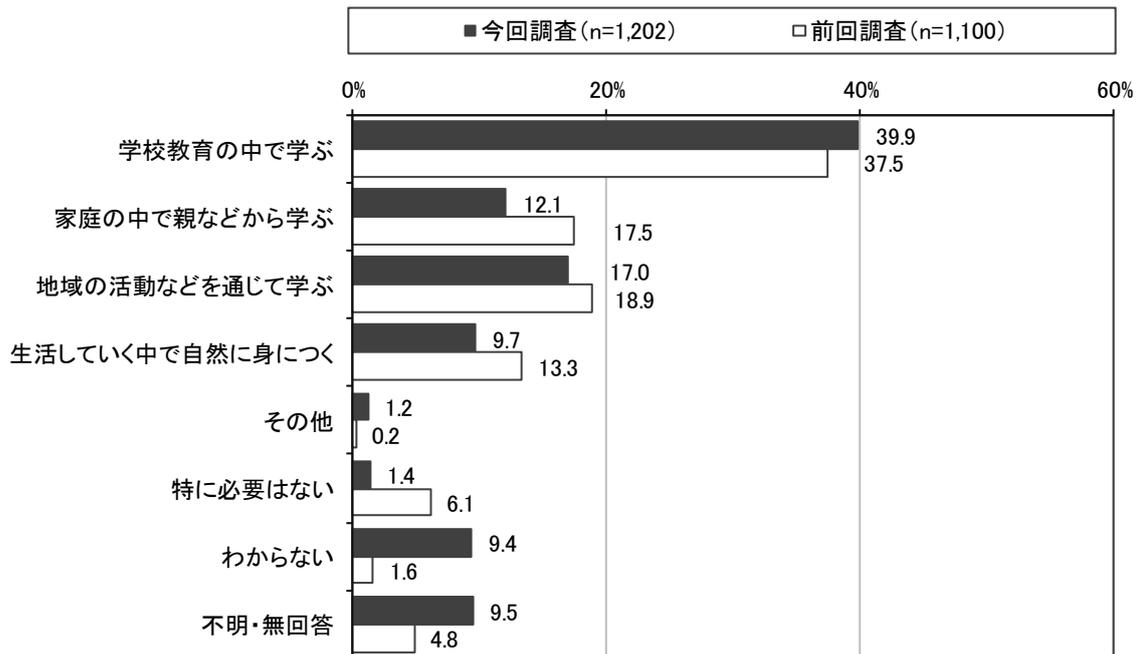
(単位:%)		避難場所・避難所がわからないこと	避難場所・避難所が遠いこと	災害時に一人暮らし家族が避難すること	近所に一人が避難すること	過るなどのため、避難所が困難なこと	乳幼児がいたり、障がいがあること	災害時の情報がわかりづらいこと	食料や日用品の備蓄が不十分なこと	家具や家電の転倒対策が不十分なこと	老朽化などお住い（家屋）のこと	その他	特にない	不明・無回答
合計	(n=1,202)	10.6	9.1	11.8	4.4	9.2	31.9	35.9	20.1	15.6	5.6	20.3	5.7	
年代別	10-20代	(n=106)	10.4	2.8	10.4	1.9	11.3	30.2	39.6	23.6	17.9	8.5	22.6	3.8
	30代	(n=116)	20.7	5.2	16.4	3.4	35.3	26.7	49.1	26.7	8.6	6.9	8.6	2.6
	40代	(n=188)	9.6	4.8	10.1	2.7	13.8	31.9	44.1	19.1	12.8	8.0	19.1	2.7
	50代	(n=178)	10.1	11.8	14.6	3.4	3.4	36.5	39.9	25.8	19.7	4.5	19.1	2.8
	60代	(n=201)	11.9	8.0	8.0	8.0	3.5	37.3	32.8	20.4	16.9	4.0	18.4	7.0
	70代以上	(n=383)	7.3	13.6	12.5	5.2	4.4	29.0	25.8	15.4	15.7	4.7	24.8	9.7
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	7.9	4.8	11.1	4.8	15.3	36.0	38.1	23.3	13.8	4.2	15.3	5.3
	北中学校地区	(n=194)	8.2	9.3	14.4	7.2	7.7	28.9	25.3	14.9	12.9	4.1	26.3	6.2
	西中学校A地区	(n=154)	14.9	7.8	12.3	4.5	6.5	36.4	39.6	24.7	15.6	7.1	20.1	4.5
	西中学校B地区	(n=159)	16.4	18.9	13.8	5.0	8.2	33.3	36.5	17.0	19.5	7.5	16.4	3.1
	四街道中学校地区	(n=274)	10.6	9.5	12.0	2.9	11.3	28.8	38.3	20.4	10.6	5.8	22.3	6.9
	旭中学校地区	(n=189)	6.9	5.8	8.5	3.7	5.3	30.7	34.9	22.2	23.8	5.3	19.6	6.9

## 9 「福祉教育・学習」について

### 問 31 福祉教育・学習（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育・学習）について、どのように行うべきだと思いますか。（単数回答）

「学校教育の中で学ぶ」が 39.9%と最も多く、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」が 17.0%となっています。

前回調査と比較すると、「わからない」が 7.8 ポイント前回より多くなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「学校教育の中で学ぶ」が最も多く、特に 10-20 代では全体より 12.0 ポイント多くなっています。

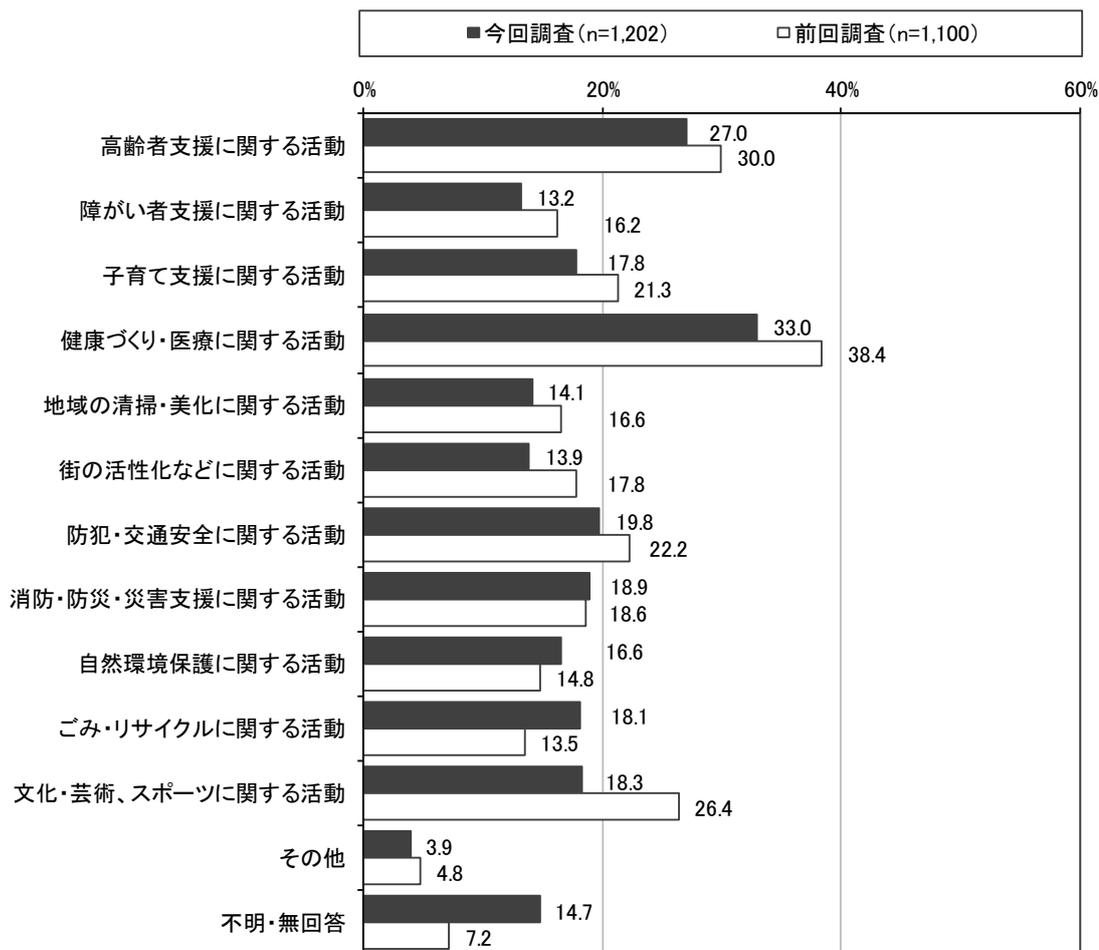
地区別をみると、いずれも「学校教育の中で学ぶ」が最も多くなっています。また、西中学校 A 地区では「わからない」が、全体より 5.5 ポイント多くなっています。

(単位:%)		学校教育の中で学ぶ	家庭の中で親などから学ぶ	地域の活動などを通じて学ぶ	生活していく中で自然に	その他	特に必要はない	わからない	不明・無回答
合計 (n=1,202)		39.9	12.1	17.0	9.7	1.2	1.4	9.4	9.5
年代別	10-20代 (n=106)	51.9	5.7	14.2	12.3	1.9	1.9	5.7	6.6
	30代 (n=116)	44.8	12.1	13.8	12.1	1.7	0.9	7.8	6.9
	40代 (n=188)	45.7	14.9	12.8	10.1	0.5	1.1	7.4	7.4
	50代 (n=178)	43.8	12.9	18.5	5.1	1.7	0.0	10.1	7.9
	60代 (n=201)	37.3	12.9	21.4	7.0	1.0	2.5	10.0	8.0
	70代以上 (n=383)	30.8	12.0	18.5	11.5	1.0	1.6	11.0	13.6
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	36.5	14.8	18.5	10.1	1.1	1.6	7.4	10.1
	北中学校地区 (n=194)	39.2	11.3	18.6	9.3	0.5	1.5	8.2	11.3
	西中学校A地区 (n=154)	39.6	11.7	18.8	3.9	1.9	1.3	14.9	7.8
	西中学校B地区 (n=159)	42.8	14.5	14.5	13.2	1.3	1.3	5.7	6.9
	四街道中学校地区 (n=274)	39.8	12.4	13.5	10.9	1.5	1.1	10.2	10.6
	旭中学校地区 (n=189)	39.7	8.5	21.7	9.5	0.5	1.6	10.1	8.5

**問 32 より暮らしやすい地域社会の実現に向けては、福祉はもちろん、より幅広い分野について、関心を持つ方や活動する方が増えることも重要なことといえます。今後、学びたい・活動したいと思うものはどれですか。（複数回答）**

「健康づくり・医療に関する活動」が 33.0%と最も多く、次いで「高齢者支援に関する活動」が 27.0%となっています。

前回調査と比較すると、「文化・芸術、スポーツに関する活動」が 8.1 ポイント、「健康づくり・医療に関する活動」が 5.4 ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10～30代では「子育て支援に関する活動」が、それ以外の年代では「健康づくり・医療に関する活動」が最も多く、特に10～30代の「子育て支援に関する活動」では、全体より10ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、いずれも「健康づくり・医療に関する活動」が最も多く、特に千代田中学校地区では全体より5.6ポイント多くなっています。また、千代田中学校地区では「子育て支援に関する活動」が、北中学校地区では「地域の清掃・美化に関する活動」と「防犯・交通安全に関する活動」、消防・防災・災害支援に関する活動、旭中学校地区では「高齢者支援に関する活動」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

(単位：%)		高齢者支援に関する活動	障がい者支援に関する活動	子育て支援に関する活動	健康づくり・医療に関する活動	地域の清掃・美化に関する活動	街の活性化などに関する活動	防犯・交通安全に関する活動	消防・防災・災害支援に関する活動	自然環境保護に関する活動	活動	ごみ・リサイクルに関する活動	文化・芸術、スポーツに関する活動	その他	不明・無回答
合計	(n=1,202)	27.0	13.2	17.8	33.0	14.1	13.9	19.8	18.9	16.6	18.1	18.3	3.9	14.7	
年代別	10-20代	(n=106)	29.2	22.6	45.3	24.5	12.3	17.9	24.5	24.5	12.3	20.8	25.5	2.8	6.6
	30代	(n=116)	19.0	10.3	43.1	23.3	6.9	15.5	16.4	12.9	13.8	19.0	18.1	0.9	12.1
	40代	(n=188)	20.7	13.8	27.1	28.2	9.6	13.3	18.1	23.4	12.2	17.6	21.8	2.1	8.0
	50代	(n=178)	25.8	16.9	9.6	33.1	13.5	13.5	20.8	24.7	15.2	19.1	21.3	2.8	11.2
	60代	(n=201)	23.9	10.9	9.5	40.8	16.4	12.4	22.9	17.9	22.4	20.9	17.9	4.0	14.9
	70代以上	(n=383)	33.7	11.2	7.0	37.6	18.3	14.4	19.3	16.2	19.6	16.4	13.6	6.3	21.1
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	28.6	11.6	24.3	38.6	13.8	15.9	19.0	21.7	20.1	18.0	20.1	4.2	10.1
	北中学校地区	(n=194)	27.8	15.5	17.0	34.5	20.6	12.9	25.3	24.2	21.1	25.8	20.6	1.5	14.9
	西中学校A地区	(n=154)	24.0	11.7	13.6	30.5	9.7	11.0	19.5	18.8	14.3	20.1	14.3	6.5	15.6
	西中学校B地区	(n=159)	26.4	15.1	15.1	33.3	14.5	13.8	17.6	16.4	15.1	18.9	19.5	4.4	13.2
	四街道中学校地区	(n=274)	23.4	14.2	22.6	28.8	11.7	17.2	20.4	18.2	16.4	17.5	17.9	3.3	15.3
	旭中学校地区	(n=189)	32.3	11.1	12.7	36.5	15.3	12.2	18.0	17.5	14.3	12.2	16.9	4.2	15.9

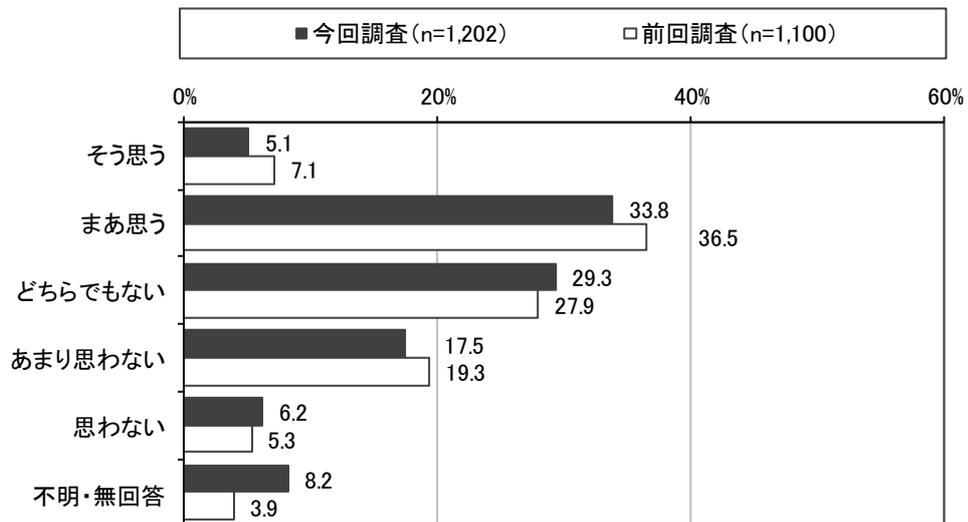
## 10 「福祉全般」について

問 33 四街道市の地域での支え合いの現状についてどう思われますか。(単数回答)

### ア 住民同士のつながり・支え合いがある

「まあ思う」が33.8%と最も多く、「そう思う」(5.1%)を合わせた“つながり・支え合いがあると思う”は38.9%となっています。また、「どちらでもない」は29.3%で、「あまり思わない」(17.5%)と「思わない」(6.2%)を合わせた“つながり・支え合いがあると思わない”は23.7%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、60代では「どちらでもない」が、それ以外の年代では「まあ思う」が最も多くなっています。また、30代では「どちらでもない」が、全体より6.0ポイント多くなっています。

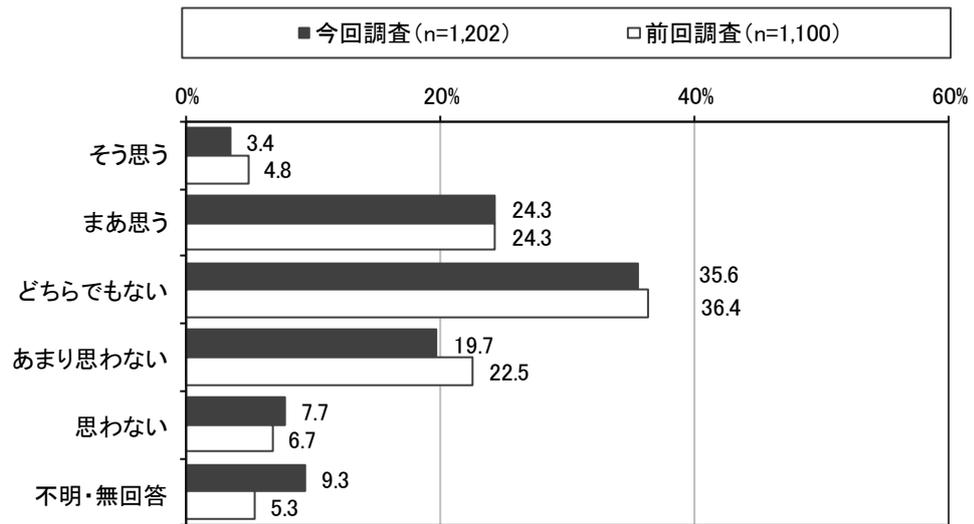
地区別をみると、西中学校B地区と四街道中学校地区では「どちらでもない」が、それ以外の地区では「まあ思う」が最も多くなっています。

(単位:%)		そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	不明・無回答	
合計	(n=1,202)	5.1	33.8	29.3	17.5	6.2	8.2	
年代別	10-20代	(n=106)	8.5	38.7	28.3	18.9	3.8	1.9
	30代	(n=116)	2.6	36.2	35.3	12.1	7.8	6.0
	40代	(n=188)	2.7	36.2	31.9	17.6	6.4	5.3
	50代	(n=178)	3.4	35.4	31.5	20.2	4.5	5.1
	60代	(n=201)	5.5	27.9	30.8	18.9	8.0	9.0
	70代以上	(n=383)	7.0	32.6	24.3	17.5	6.5	12.0
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	6.3	38.1	26.5	15.9	5.8	7.4
	北中学校地区	(n=194)	6.2	35.6	24.2	19.6	7.7	6.7
	西中学校A地区	(n=154)	5.8	32.5	29.2	16.2	9.1	7.1
	西中学校B地区	(n=159)	2.5	31.4	32.7	18.2	6.3	8.8
	四街道中学校地区	(n=274)	3.6	29.6	33.9	17.9	6.6	8.4
	旭中学校地区	(n=189)	6.9	36.5	28.0	17.5	2.6	8.5

## イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い

「どちらでもない」が35.6%と最も多くなっています。また、「まあ思う」(24.3%)と「そう思う」(3.4%)を合わせた“取り組んでいる人が多いと思う”は27.7%で、反対に、「あまり思わない」(19.7%)と「思わない」(7.7%)を合わせた“取り組んでいる人が多いと思わない”は27.4%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「どちらでもない」が最も多く、特に50代では、全体より8.8ポイント多くなっています。

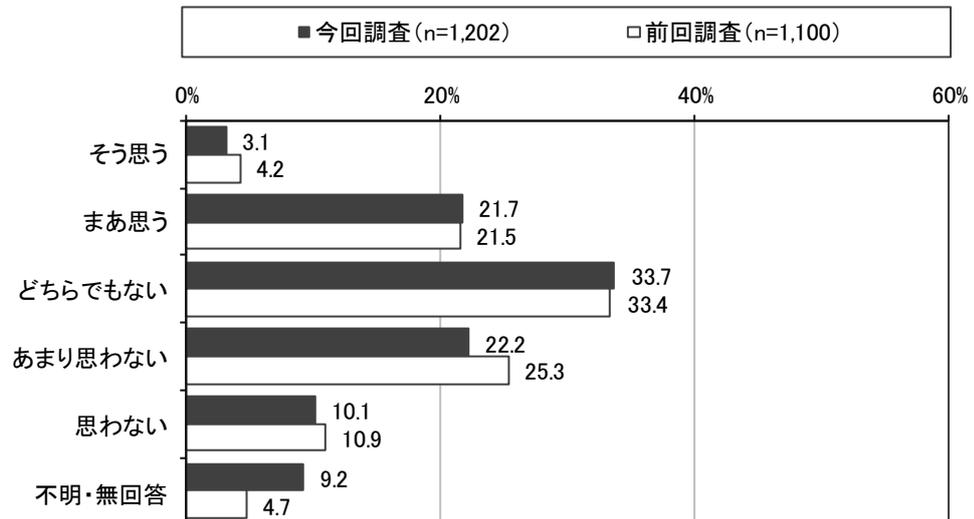
地区別をみると、いずれも「どちらでもない」が最も多くなっています。

(単位:%)		そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	不明・無回答
合計 (n=1,202)		3.4	24.3	35.6	19.7	7.7	9.3
年代別	10-20代 (n=106)	5.7	28.3	33.0	21.7	8.5	2.8
	30代 (n=116)	1.7	27.6	40.5	17.2	7.8	5.2
	40代 (n=188)	2.1	25.5	39.9	18.6	7.4	6.4
	50代 (n=178)	1.7	25.3	44.4	18.0	4.5	6.2
	60代 (n=201)	4.0	20.9	37.8	19.4	8.5	9.5
	70代以上 (n=383)	4.4	22.2	28.5	21.4	9.1	14.4
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	4.2	27.0	36.5	19.0	5.8	7.4
	北中学校地区 (n=194)	4.1	27.3	35.6	16.5	8.8	7.7
	西中学校A地区 (n=154)	1.9	17.5	36.4	22.1	13.0	9.1
	西中学校B地区 (n=159)	0.6	23.9	37.7	17.6	7.5	12.6
	四街道中学校地区 (n=274)	3.6	19.0	37.6	23.4	7.3	9.1
	旭中学校地区 (n=189)	4.8	30.2	31.7	19.0	5.3	9.0

## ウ 困ったときには、解決できるよう相談できる／助けてもらえる安心感がある

「どちらでもない」が33.7%と最も多くなっています。また、「まあ思う」(21.7%)と「そう思う」(3.1%)を合わせた“安心感があると思う”は24.8%で、反対に、「あまり思わない」(22.2%)と「思わない」(10.1%)を合わせた“安心感があると思わない”は32.3%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「どちらでもない」が最も多く、特に50代では、全体より6.2ポイント多くなっています。また、30代では「あまり思わない」が、全体より7.1ポイント多くなっています。

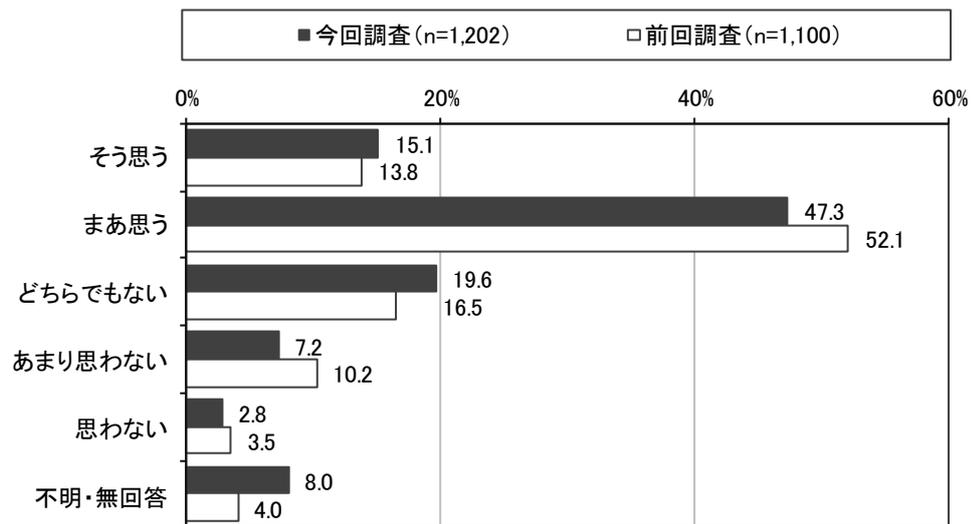
地区別をみると、いずれも「どちらでもない」が最も多く、特に西中学校B地区では、全体より5.3ポイント多くなっています。また、千代田中学校地区では「まあ思う」が、西中学校A地区では「思わない」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

(単位:%)		そう 思う	まあ 思う	ど ち ら で も な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答	
合計	(n=1,202)	3.1	21.7	33.7	22.2	10.1	9.2	
年代別	10-20代	(n=106)	6.6	23.6	36.8	18.9	11.3	2.8
	30代	(n=116)	0.9	22.4	32.8	29.3	9.5	5.2
	40代	(n=188)	1.6	25.0	37.2	22.3	8.0	5.9
	50代	(n=178)	2.8	20.2	39.9	24.7	7.3	5.1
	60代	(n=201)	2.5	17.9	32.3	22.9	14.4	10.0
	70代以上	(n=383)	4.2	22.7	28.2	20.1	10.4	14.4
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	1.1	28.0	34.9	19.0	9.0	7.9
	北中学校地区	(n=194)	4.6	22.2	34.5	20.6	10.3	7.7
	西中学校A地区	(n=154)	2.6	24.7	28.6	18.2	17.5	8.4
	西中学校B地区	(n=159)	1.9	15.7	39.0	23.3	8.2	11.9
	四街道中学校地区	(n=274)	3.6	17.5	34.7	25.9	9.5	8.8
	旭中学校地区	(n=189)	4.2	24.3	28.6	26.5	7.4	9.0

## エ 暮らしている地域は安心・安全であると感じる

「まあ思う」が47.3%と最も多く、「そう思う」(15.1%)を合わせた“安心・安全であると思う”は62.4%となっています。また、「どちらでもない」は19.6%で、「あまり思わない」(7.2%)と「思わない」(2.8%)を合わせた“安心・安全であると思わない”は10.0%となっています。

前回調査と比較すると、「まあ思う」が4.8ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、いずれも「まあ思う」が最も多く、特に50代では、全体より8.9ポイント多くなっています。また、30代では「どちらでもない」が、全体より5.4ポイント多くなっています。

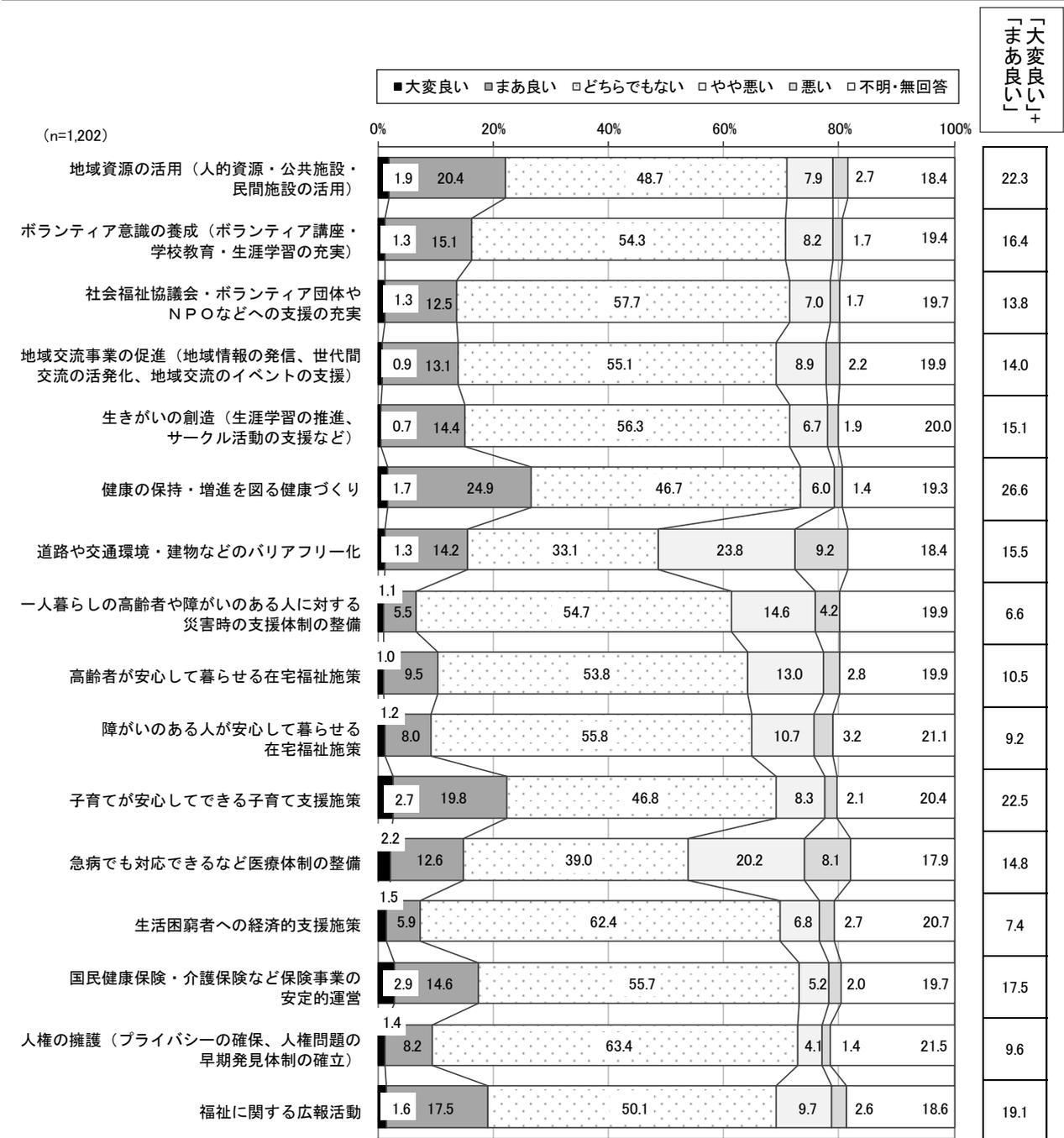
地区別をみると、いずれも「まあ思う」が最も多く、特に旭中学校地区では、全体より6.7ポイント多くなっています。

(単位:%)		そう 思う	ま あ 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
合計 (n=1,202)		15.1	47.3	19.6	7.2	2.8	8.0
年代別	10-20代 (n=106)	17.0	47.2	23.6	7.5	2.8	1.9
	30代 (n=116)	13.8	46.6	25.0	4.3	5.2	5.2
	40代 (n=188)	12.8	51.6	22.3	5.3	2.7	5.3
	50代 (n=178)	12.4	56.2	17.4	8.4	1.1	4.5
	60代 (n=201)	12.4	50.2	17.9	6.5	4.0	9.0
	70代以上 (n=383)	18.5	41.8	16.2	8.9	2.6	12.0
地区別	千代田中学校地区 (n=189)	14.8	51.3	19.6	4.8	2.1	7.4
	北中学校地区 (n=194)	19.6	42.3	20.6	8.2	3.1	6.2
	西中学校A地区 (n=154)	13.6	44.2	18.2	10.4	7.1	6.5
	西中学校B地区 (n=159)	9.4	45.9	23.3	6.3	5.0	10.1
	四街道中学校地区 (n=274)	17.9	48.2	19.0	6.6	0.7	7.7
	旭中学校地区 (n=189)	12.2	54.0	15.3	7.9	1.6	9.0

**問 34 四街道市の、福祉関連の分野の施策について、①下記項目の現状についてどう思われますか。②また、今後どの分野に力を入れるべきと思いますか。**

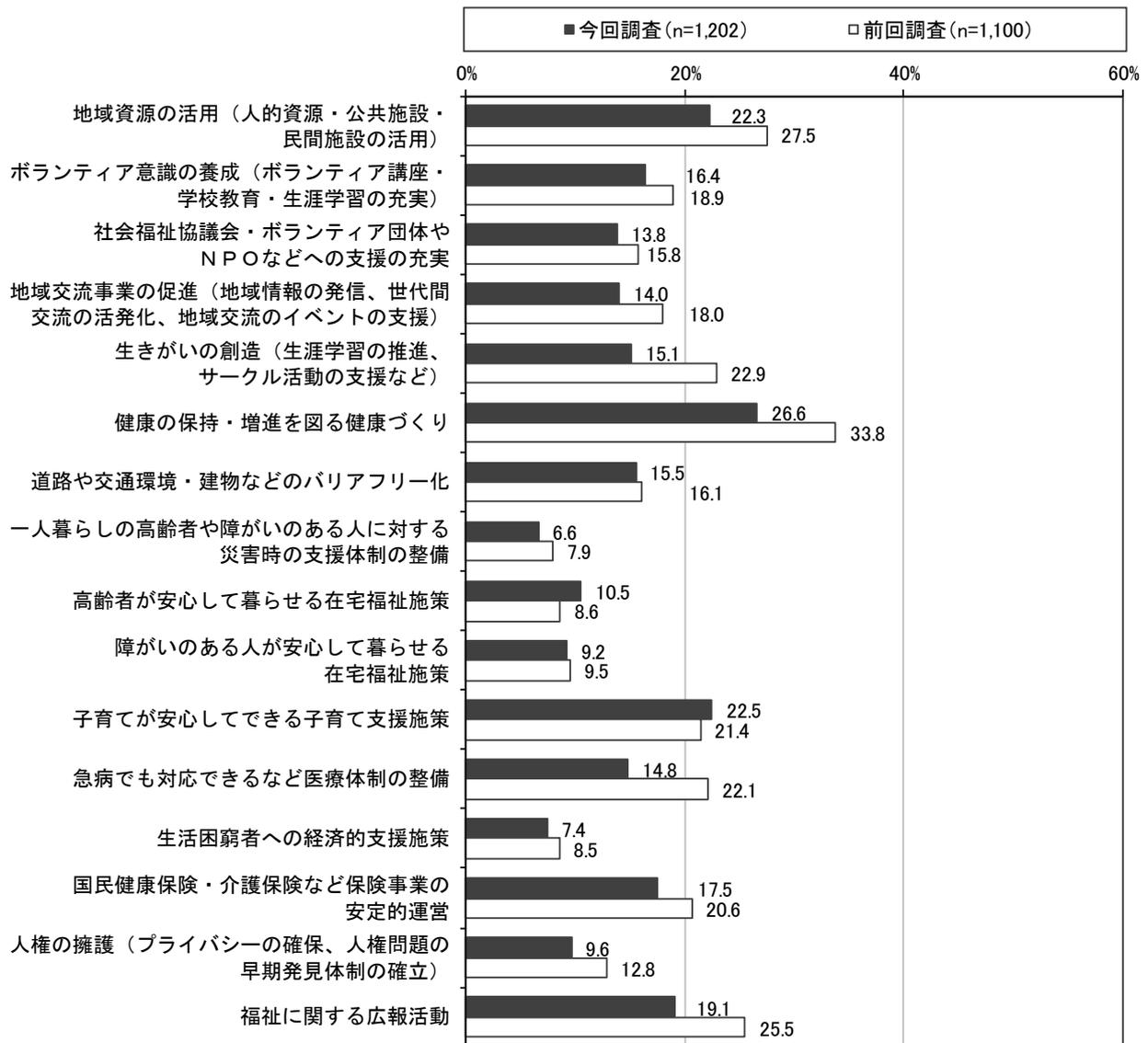
**①現状について（単数回答）**

「大変良い」と「まあ良い」を合わせた割合をみると、「健康の保持・増進を図る健康づくり」が26.6%と最も多く、次いで「子育てが安心してできる子育て支援施策」が22.5%、「地域資源の活用（人的資源・公共施設・民間施設の活用）」が22.3%となっています。また、「やや悪い」と「悪い」を合わせた割合をみると、「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」が33.0%と最も多く、次いで「急病でも対応できるなど医療体制の整備」が28.3%となっています。



●前回調査との比較（「大変良い」と「まあ良い」を合わせた割合）

前回調査と比較すると、「生きがいの創造（生涯学習の推進、サークル活動の支援など）」が7.8ポイント、「急病でも対応できるなど医療体制の整備」が7.3ポイント、「健康の保持・増進を図る健康づくり」が7.2ポイント、「福祉に関する広報活動」が6.4ポイント、「地域資源の活用（人的資源・公共施設・民間施設の活用）」が5.2ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目／「大変良い」と「まあ良い」を合わせた割合）

年代別をみると、10～40代では「子育てが安心してできる子育て支援施策」が、50代では「健康の保持・増進を図る健康づくり」と「子育てが安心してできる子育て支援施策」が、それ以外の年代では「健康の保持・増進を図る健康づくり」が最も多く、特に10-20代の「子育てが安心してできる子育て支援施策」では、全体より16.1ポイント多くなっています。また、10-20代では「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」と「高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策」、「障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉施策」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

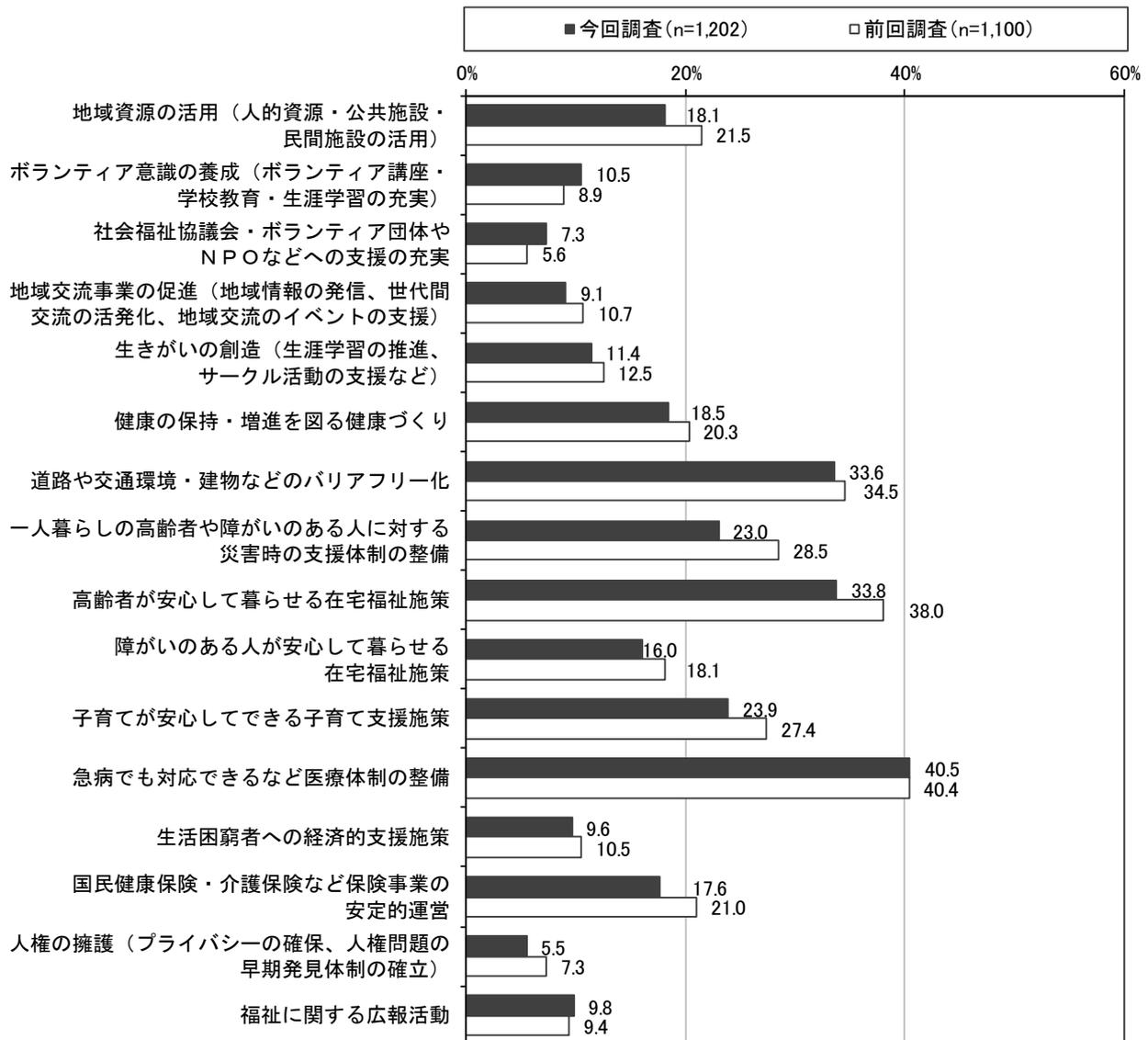
地区別をみると、西中学校A地区では「子育てが安心してできる子育て支援施策」が、それ以外の地区では「健康の保持・増進を図る健康づくり」が最も多くなっています。また、四街道中学校地区では「障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉施策」が、全体より5.4ポイント多くなっています。

(単位：%)		地域資源の活用	ボランティア意識の養成	社会福祉協議会・ボランティア団体への支援の充実	地域交流事業の促進	生きがいの創造	健康づくり・増進を図る	道路や交通環境・建物などのバリアフリー化	一人暮らしの高齢者などに対する災害時の支援体制の整備	在宅福祉施策	高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策	障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉施策	子育てが安心してできる子育て支援施策	急病でも対応できるなど医療体制の整備	生活困窮者への経済的支援施策	国民健康保険・介護保険など保険事業の安定的運営	人権の擁護	福祉に関する広報活動
合計	(n=1,202)	22.3	16.4	13.8	14.0	15.1	26.6	15.5	6.6	10.5	9.2	22.5	14.8	7.4	17.5	9.6	19.1	
年代別	10-20代	(n=106)	31.1	23.6	13.2	20.7	17.9	30.2	33.9	12.3	24.5	19.8	38.6	18.9	11.3	18.9	18.9	18.9
	30代	(n=116)	24.2	13.8	13.8	17.2	15.6	25.0	23.3	8.6	9.5	9.5	29.3	8.6	6.9	14.7	12.1	14.7
	40代	(n=188)	25.5	18.6	14.9	18.1	17.5	26.1	17.6	7.5	12.8	10.1	31.9	16.5	10.1	12.8	7.9	16.0
	50代	(n=178)	18.6	13.5	13.5	13.0	10.7	23.0	15.2	3.9	8.4	6.7	23.0	15.7	6.7	11.3	8.5	15.2
	60代	(n=201)	21.4	14.4	14.4	14.4	16.9	26.9	12.4	7.0	8.5	7.5	16.9	14.9	8.0	20.4	10.5	22.4
	70代以上	(n=383)	20.1	17.0	13.5	9.4	14.6	27.9	9.4	5.5	7.8	7.8	14.8	14.4	5.7	22.2	7.3	22.4
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	25.9	19.6	17.5	13.7	14.3	28.0	14.3	4.3	5.3	6.4	18.5	15.9	7.4	17.5	8.5	21.1
	北中学校地区	(n=194)	24.8	15.9	11.3	12.9	15.4	28.4	15.9	6.2	8.2	7.7	23.7	16.5	7.8	17.0	8.7	21.6
	西中学校A地区	(n=154)	14.9	13.0	9.7	9.7	11.0	20.7	16.2	5.1	11.0	5.8	22.7	13.0	7.1	17.5	7.7	22.1
	西中学校B地区	(n=159)	17.0	11.4	10.7	13.2	15.1	25.2	15.1	5.7	10.7	8.8	21.3	11.3	7.0	18.9	11.3	17.7
	四街道中学校地区	(n=274)	25.9	17.6	15.7	18.2	16.0	28.1	17.5	9.5	15.3	14.6	27.7	16.8	7.6	15.7	11.0	16.4
	旭中学校地区	(n=189)	21.7	19.5	16.4	13.2	18.6	27.0	13.8	7.9	10.6	9.0	20.1	14.2	8.5	19.6	10.1	17.4

## ②今後力を入れるべき分野について（複数回答／主なもの5つまで）

「急病でも対応できるなど医療体制の整備」が40.5%と最も多く、次いで「高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策」が33.8%、「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」が33.6%となっています。

前回調査と比較すると、「一人暮らしの高齢者や障がいのある人に対する災害時の支援体制の整備」が5.5ポイント前回より少なくなっています。



●クロス集計（グレー部分は最多項目）

年代別をみると、10～30代では「子育てが安心してできる子育て支援施策」が、40代では「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」と「急病でも対応できるなど医療体制の整備」が、それ以外の年代では「急病でも対応できるなど医療体制の整備」が最も多く、特に10～30代の「子育てが安心してできる子育て支援施策」では、全体より10ポイント以上多くなっています。また、10-20代では「生活困窮者への経済的支援施策」が、30代では「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」が、50代では「一人暮らしの高齢者などに対する災害時の支援体制の整備」が、全体より10ポイント以上多くなっています。

地区別をみると、西中学校A地区では「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」が、それ以外の地区では「急病でも対応できるなど医療体制の整備」が最も多く、特に西中学校A地区の「道路や交通環境・建物などのバリアフリー化」では、全体より9.9ポイント多くなっています。また、千代田中学校地区では「健康の保持・増進を図る健康づくり」が、西中学校B地区では「子育てが安心してできる子育て支援施策」が、旭中学校地区では「地域資源の活用」と「高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策」が、全体より5ポイント以上多くなっています。

(単位：%)		地域資源の活用	ボランティア意識の養成	社会福祉協議会・ボランティア団体などへの支援の充実	地域交流事業の促進	生きがいの創造	健康づくり	健康の保持・増進を図る	道路や交通環境・建物などのバリアフリー化	一人暮らしの高齢者などに対する災害時の支援体制の整備	在宅福祉施策	高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策	障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉施策	子育てが安心してできる子育て支援施策	急病でも対応できるなど医療体制の整備	生活困窮者への経済的支援施策	国民健康保険・介護保険など	人権の擁護	福祉に関する広報活動
合計	(n=1,202)	18.1	10.5	7.3	9.1	11.4	18.5	33.6	23.0	33.8	16.0	23.9	40.5	9.6	17.6	5.5	9.8		
年代別	10-20代	(n=106)	15.1	13.2	0.9	10.4	12.3	17.0	40.6	24.5	33.0	21.7	43.4	37.7	20.8	9.4	10.4	13.2	
	30代	(n=116)	17.2	6.9	5.2	16.4	6.0	15.5	44.8	15.5	30.2	15.5	45.7	44.8	10.3	9.5	4.3	11.2	
	40代	(n=188)	22.3	10.6	8.0	9.0	10.1	17.0	37.8	22.9	30.3	18.1	30.3	37.8	10.1	11.2	4.8	9.0	
	50代	(n=178)	21.3	16.9	6.7	7.3	12.9	19.1	41.6	33.1	38.2	17.4	23.6	44.9	11.2	15.7	5.6	9.6	
	60代	(n=201)	17.4	11.4	8.5	7.5	14.4	23.4	31.8	22.9	33.3	15.9	21.4	41.8	7.5	25.4	4.0	10.0	
	70代以上	(n=383)	15.7	7.8	9.1	8.6	11.5	18.3	24.8	20.9	35.5	13.1	10.4	39.4	6.3	22.7	5.7	8.6	
地区別	千代田中学校地区	(n=189)	18.0	12.7	8.5	13.2	12.7	23.8	33.9	25.9	33.3	16.4	27.0	42.9	9.0	19.0	5.3	10.1	
	北中学校地区	(n=194)	18.0	10.8	6.7	6.7	13.4	14.9	35.6	20.6	36.1	18.0	23.7	42.3	11.3	20.6	5.7	12.9	
	西中学校A地区	(n=154)	14.9	13.6	7.1	9.1	7.8	19.5	43.5	20.1	28.6	16.9	24.0	36.4	9.1	18.8	5.8	10.4	
	西中学校B地区	(n=159)	17.0	7.5	6.9	10.1	12.6	18.2	29.6	27.0	37.1	18.9	28.9	42.8	9.4	17.0	5.0	6.9	
	四街道中学校地区	(n=274)	16.4	9.5	6.6	9.5	9.9	17.9	31.8	22.6	31.8	12.4	23.4	37.6	9.9	12.8	6.6	10.9	
	旭中学校地区	(n=189)	23.8	10.6	8.5	7.4	13.2	19.6	31.7	22.2	39.2	16.4	18.0	45.0	7.9	21.2	4.8	6.9	

**問 35 市民の皆さんが助け合い・支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。（自由回答）**

※有効回答件数は 253 件でした。下記の主な分野別意見については、主旨を尊重しながら表現をまとめるとともに、誤字等を修正しました。また、複数の内容について触れている場合、回答内容の中で冒頭に述べられたもの限定しました。さらに、下記の分野別意見では、意見の多い順に整理しています。

《主な分野別意見》

全体的なまちづくりに関して（32 件）
高齢化社会が進む中、一番必要なものが福祉だと思います。全体の意識を高め、ボランティア活動を推し進め、多少なり豊かな生活を望みます。
とても暮らしやすい街なので、福祉を更に充実させて、より良くなって欲しいです。
四街道市は内陸だが、災害時の被害も少なく、コンパクトで住みやすい街だと思っている。地域活動は表に見えにくいですが、季節ごとのイベントは充実している。文化センターと違う多目的施設があると、様々な活動の拠点になるのではないかと。
四街道市民が、経済面、健康面、防犯・災害時等で、安全・安心のゆとりある生活が送れるとともに、特に近年話題になっている子供のいじめ、差別、偏見等に対し積極的に向き合い、努力・改善していく事を望みます。
道路・交通環境に関して（28 件）
車道の整備は良いのに、歩道の整備をもう少し良くしてほしい。デコボコしている所が多い。歩いていて、転びやすい。
物井一ヶアプラザ間のバスが、朝一便しかありません。夕方 6 便があればいいのですが。
腰が悪いので、大日から JR 千葉駅行きのバスがあれば、大変助かります。
古い街なので道幅が大変狭く、歩行者と自転車がすれ違ふことが出来ない道が多く、危ない。
地域でのふれあい・交流に関して（27 件）
もっと交流が積極的に出来る場があれば、いいと思います。
コミュニケーションの度合いは、地域それぞれです。近隣との付き合いのなさそうな地域だから、居心地が悪いという事は言えないと思います。それぞれの地域の特性を皆（市民）が知って、お互いを受け止めてあげる心のゆとりのある人達が住む地域になれば良い、と思います。
向う三軒両隣が仲良く交流できることが大事だが、残念ながら、そのような状況を作ることが出来ない。自治会にも参加しない住民が増えてきている。
高齢者支援等に関して（23 件）
一人暮らしの老人です。これから先のことを思うと、不安がいっぱいです。住み慣れたこの街、この家で、最後までいたい。介護の充実を切に望みます。
四街道市は、今後急速に高齢化が進むとされます。高齢者の健康づくりと元気な高齢者の特技を生かせる取り組みが必要ではないかと思えます。

年金の少ない人も安心して老後が暮らせるように、思いやりのある町にして欲しい。
情報提供等に関して（21件）
広報活動を充実させて、相談しやすい窓口づくりをお願い致します。
SNS等、ネット上での意見交換ができる場を作って欲しいのと、広報での発信、PR活動の拡充。
市民への広報については、ホームページやEメール等にこだわらず、市民全員に広報する方法を考えて欲しい。
子ども・子育てに関して（18件）
子供は町の財産です。もっと子供に優しい町になって下さい。子供、子育てにぴったりなまちづくりに向けて、頑張ってください。
子供がボール遊びできる場所がない。バリアフリーが遅れている（鷹の台）。不登校の子供の居場所づくりが急務と感じる。
もう少し、子育てに関する情報やイベントがあるといいと思う。親子で参加できるようなもの。
地域の支え合いに関して（17件）
市民の助け合い、支え合いばかりが、強調されているように感じます。並行して、行政からの情報発信、対応の充実化が図られるべきだと思います。
地域の支え合いが無くならない様にしてもらいたい。
私共の地域活動は、盛んな方だとは思いますが、いざ行動を起こそうとする時、個人情報保護が邪魔になり、踏み込めず活動が出来なくなる事が多々あります。孤独死もありました。そのような事が絶対にあってはならないと思います。
これからはwithコロナのため、集まって訪問しての支援が難しくなって来ると思われる。子育てしている親子や一人暮らしのお年寄りが孤独にならない為、つながりを感じ、安心していつでも相談できるように、テレビ電話やzoomを使った支援を充実させていくことも必要になっていくのではないかと考える。
行政・サービス等に関して（17件）
急病でも対応できる医療体制面の整備をしてほしい。
現在コロナショックにより生活困難の中、早急に対応、支援していただきました。大変ありがとうございます。
アンケートに関して（17件）
今迄、関心がなかったわけではありません。このアンケートのように項目が並べられると、知らなかった事柄が多くあり、どのように答えて良いかわからず、少々困りました。これからはもう少し地域福祉に目を向けていきたいと感じました。
地域福祉に関してのアンケートを記入していく中で、もっと市全体の視野を見つめ考えていかなければと感じました。必要であること、大切であることなど、これからも市民や家庭と結びつきながら教えて頂けたらと思います。
生活環境に関して（15件）
街灯が少なく夜の道が怖い感じがして、夜出かけられない。
水源地近くの汚染の問題などに市として真剣に取り組んで、四街道市に住みたいと思う人を増やしてほしい。

防災・災害対応に関して（7件）
災害の備え（避難、災害情報の迅速なシェア、助け合い等）が、特に大事だと思います。大規模な市内での一斉訓練が必要ではないか（コロナのご時世で、すぐには難しいと思いますが）。
防災無線が、とにかく聞こえにくいです。耳が遠い人などが聞き取るのは無理ですので、有事の際の伝達方法を考えて欲しいです。今後、大災害が起こる可能性を見通した対策が必要だと思います。新しいアイデアをどんどん試して下さい。
障がいに関して（5件）
障がい者団体が交流できる場所が欲しいと、親同士でよく話している。資料の置き場所などを固定してもらえれば、活用もしやすい。
障がいがあるので、買い物に行く時、乗り合いタクシーなどが出来ると、とても便利で助かると思う（タクシーは玄関前などに）。タクシーの料金の補助など。
公共施設等に関して（5件）
公共施設、図書館、文化センター、公民館の使用を活性化させ、設備を使いやすい物にしていく。
公園は、数だけはあるが、トイレがすごく古くて使いたくなかったり、駐車場が少なかったり、利用したくない所もあります。
相談・窓口対応に関して（5件）
一度、戸籍担当の方に、親身に話をして頂いた事があります。私自身一人で悩んでいたため、話を聞いてくれてアドバイスをして頂き、すごく救われました。誰にも言えず悩んでいる人は、多いと思います。市役所などの窓口で、話を聞いてくれる所があれば、いいと思います。
多くの方がスマホを持っているので、webでの相談を受け付けていただけると良いかと思います。いろいろとご苦労されていると思いますが、皆様のおかげで助かる人は、多いと思います。
市民講座等に関して（3件）
市のカルチャー講座を申し込むと、すぐに満席になるので受けられません。人気の講座は、再度、日程を増やしてほしいです。
外国人に関して（3件）
四街道市在住の外国人で、日常生活で不自由を感じている人達が、かなり多くいるような気がする。特に、学校に通う児童にとって、学校とのコミュニケーションが困難な家庭も多いと思う。外国人児童の学習の場を、幅広い支援が出来る環境に整えるよう、四街道市に要望したい。
市役所と福祉関連が、国際結婚家庭に関心を持ち、外国人の就職や在留資格審査の問題解決を助けて欲しいです。また、外国人が病気の時、通訳の対応問題があります。
民生委員に関して（2件）
皆に民生委員の事（活動している事や氏名等）をよく知って欲しい。
その他（8件）
いつもありがとうございます。今後とも期待しています。

### Ⅲ. 団体アンケート調査結果

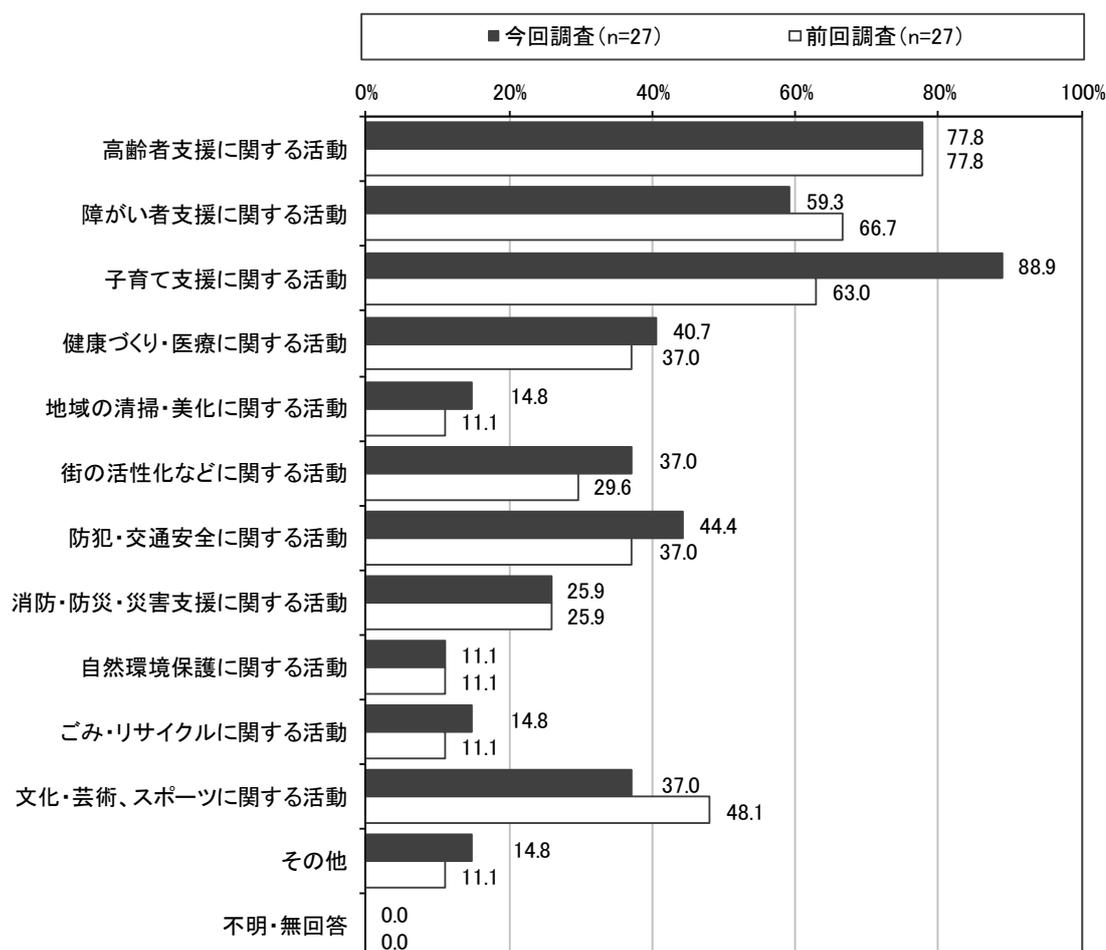
---

# 1 団体が行っている福祉に関する活動について

## 問3 ふだんの活動の中で、地域と一緒にいることや、地域に向けて行っている福祉に関する主な活動分野は、次のどれにあてはまりますか。(複数回答)

「子育て支援に関する活動」が88.9%と最も多く、次いで「高齢者支援に関する活動」が77.8%、「障がい者支援に関する活動」が59.3%となっています。

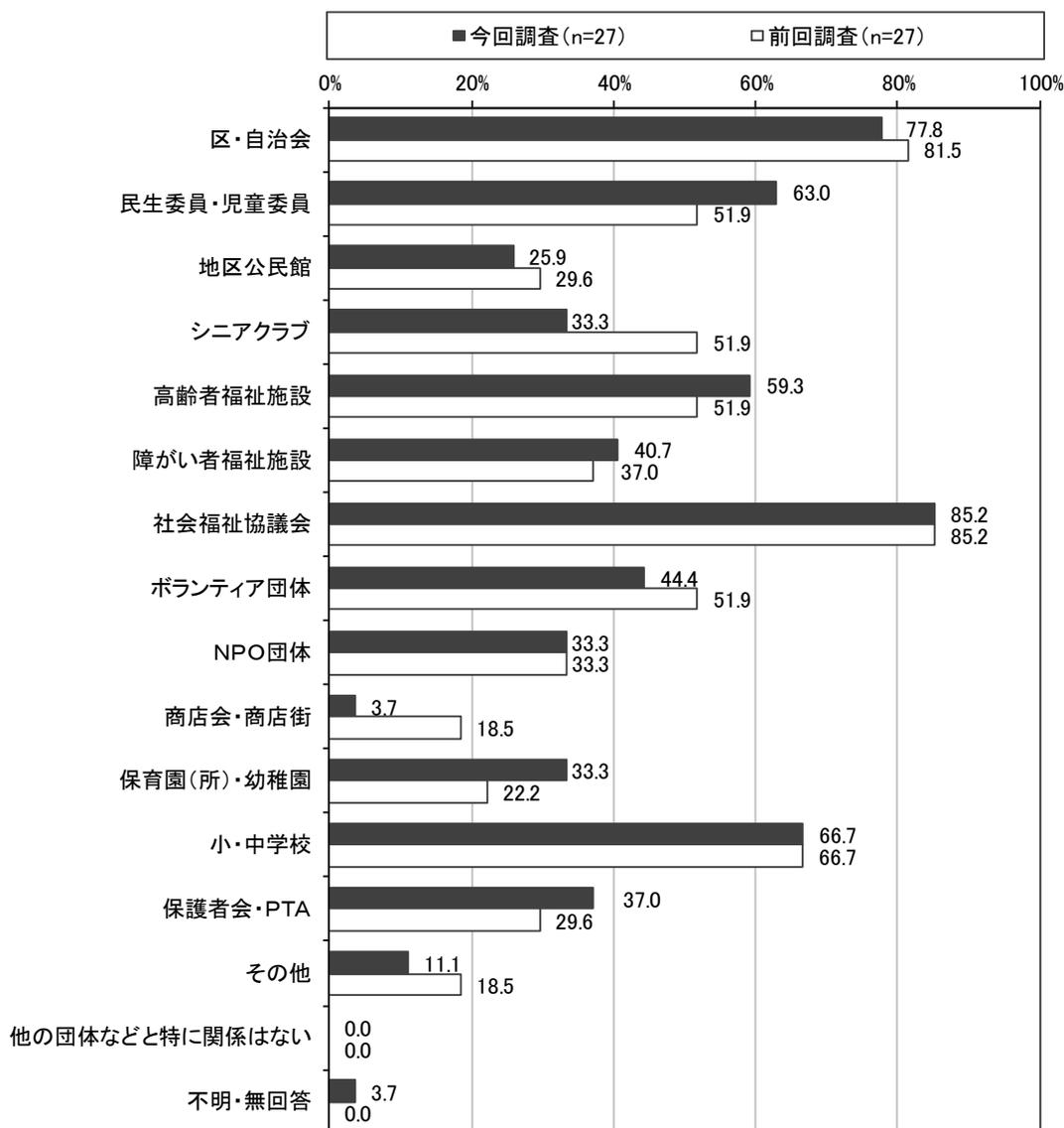
前回調査と比較すると、「子育て支援に関する活動」が25.9ポイント前回より多く、反対に、「文化・芸術、スポーツに関する活動」が11.1ポイント前回より少なくなっています。



#### 問4 貴団体が活動を行う上で他のボランティア団体や公共団体などとの交流や協力関係がありますか。(複数回答)

「社会福祉協議会」が85.2%と最も多く、次いで「区・自治会」が77.8%となっています。

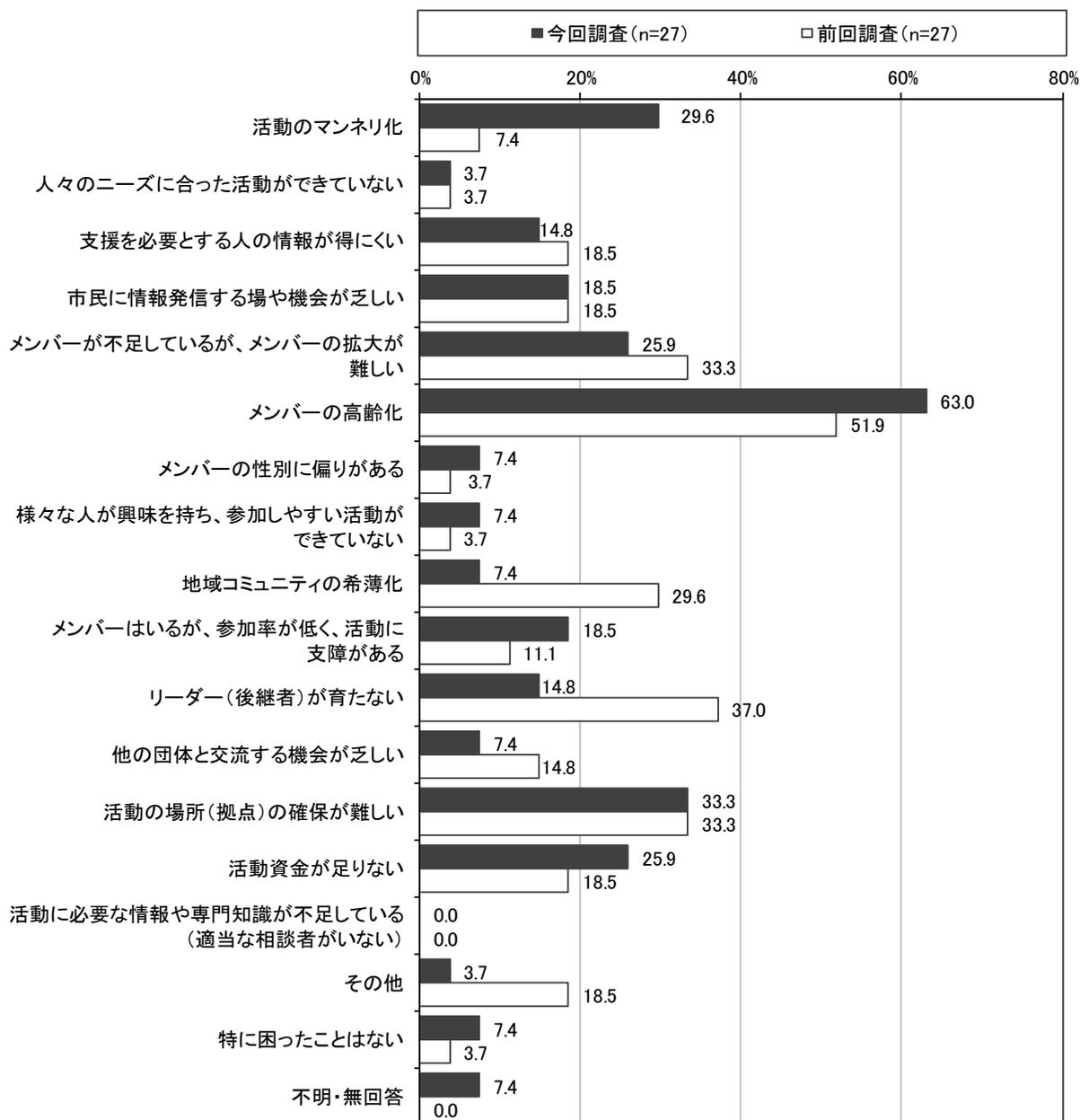
前回調査と比較すると、「民生委員・児童委員」と「保育園（所）・幼稚園」がともに11.1ポイント前回より多く、反対に、「シニアクラブ」が18.6ポイント、「商店会・商店街」が14.8ポイント前回より少なくなっています。



**問5 現在、貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。**  
**(複数回答)**

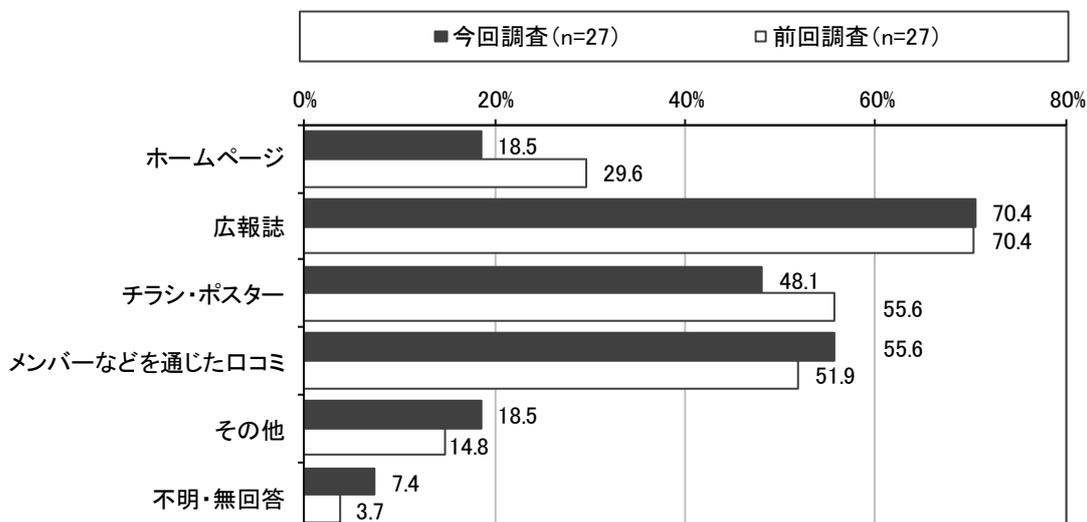
「メンバーの高齢化」が63.0%と最も多く、次いで「活動の場所(拠点)の確保が難しい」が33.3%、「活動のマナー化」が29.6%となっています。

前回調査と比較すると、「活動のマナー化」が22.2ポイント、「メンバーの高齢化」が11.1ポイント前回より多く、反対に、「地域コミュニティの希薄化」と「リーダー(後継者)が育たない」がともに22.2ポイント、「その他」が14.8ポイント前回より少なくなっています。



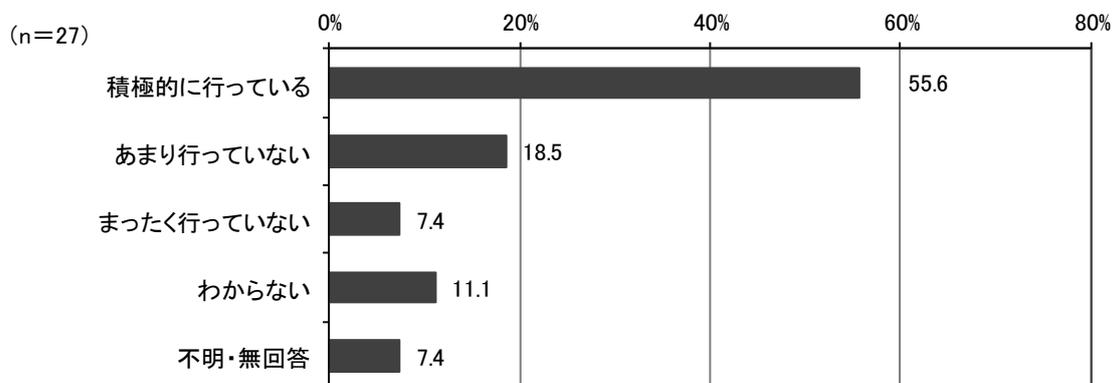
**問6 貴団体の活動情報は、どのようなものを通じて、発信されていますか。(複数回答)**

「広報誌」が70.4%と最も多く、次いで「メンバー等を通じた口コミ」が55.6%となっています。前回調査と比較すると、「ホームページ」が11.1ポイント前回より少なくなっています。



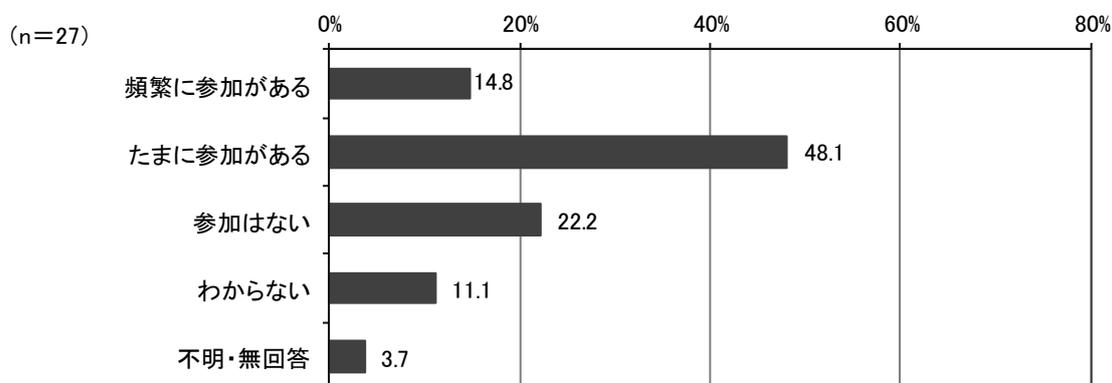
**問7 貴団体は、新規メンバーの募集は行っていますか。(単数回答)**

「積極的に行っている」が55.6%と最も多く、次いで「あまり行っていない」が18.5%となっています。



**問8 貴団体の活動に、市民の方が様子見として参加することはありますか。(単数回答)**

「たまに参加がある」が48.1%と最も多く、次いで「参加はない」が22.2%となっています。

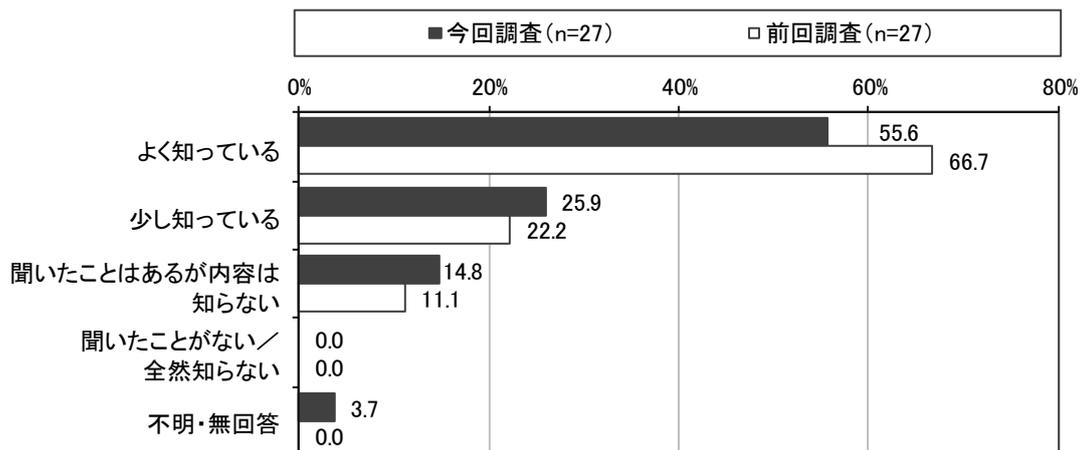


**2 地域包括ケアシステム等について**

**問9 「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(単数回答)**

「よく知っている」が55.6%と最も多く、「少し知っている」(25.9%)を合わせた“知っている”は81.5%となっています。反対に、「聞いたことはあるが内容は知らない」(14.8%)と「聞いたことがない／全然知らない」(0.0%)を合わせた“知らない”は14.8%となっています。

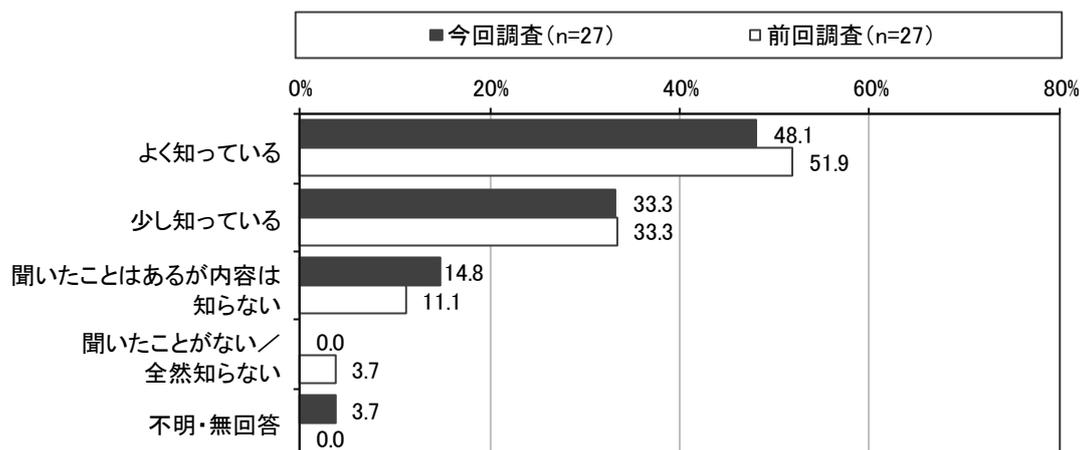
前回調査と比較すると、「よく知っている」が11.1ポイント前回より少なくなっています。



### 問 10 「生活困窮者自立支援制度」を知っていますか。(単数回答)

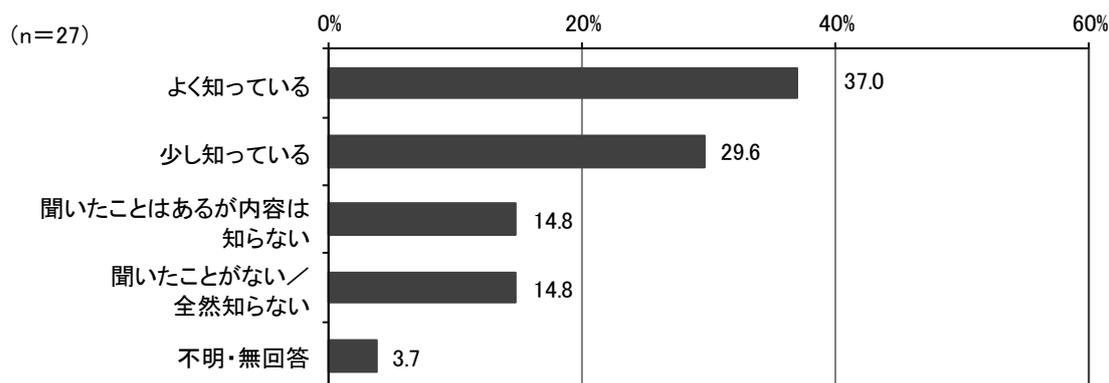
「よく知っている」が48.1%と最も多く、「少し知っている」(33.3%)を合わせた“知っている”は81.4%となっています。反対に、「聞いたことはあるが内容は知らない」(14.8%)と「聞いたことがない/全然知らない」(0.0%)を合わせた“知らない”は14.8%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



### 問 11 「四街道市地域福祉計画」を知っていますか。(単数回答)

「よく知っている」が37.0%と最も多く、「少し知っている」(29.6%)を合わせた“知っている”は66.6%となっています。反対に、「聞いたことはあるが内容は知らない」(14.8%)と「聞いたことがない/全然知らない」(14.8%)を合わせた“知らない”は29.6%となっています。

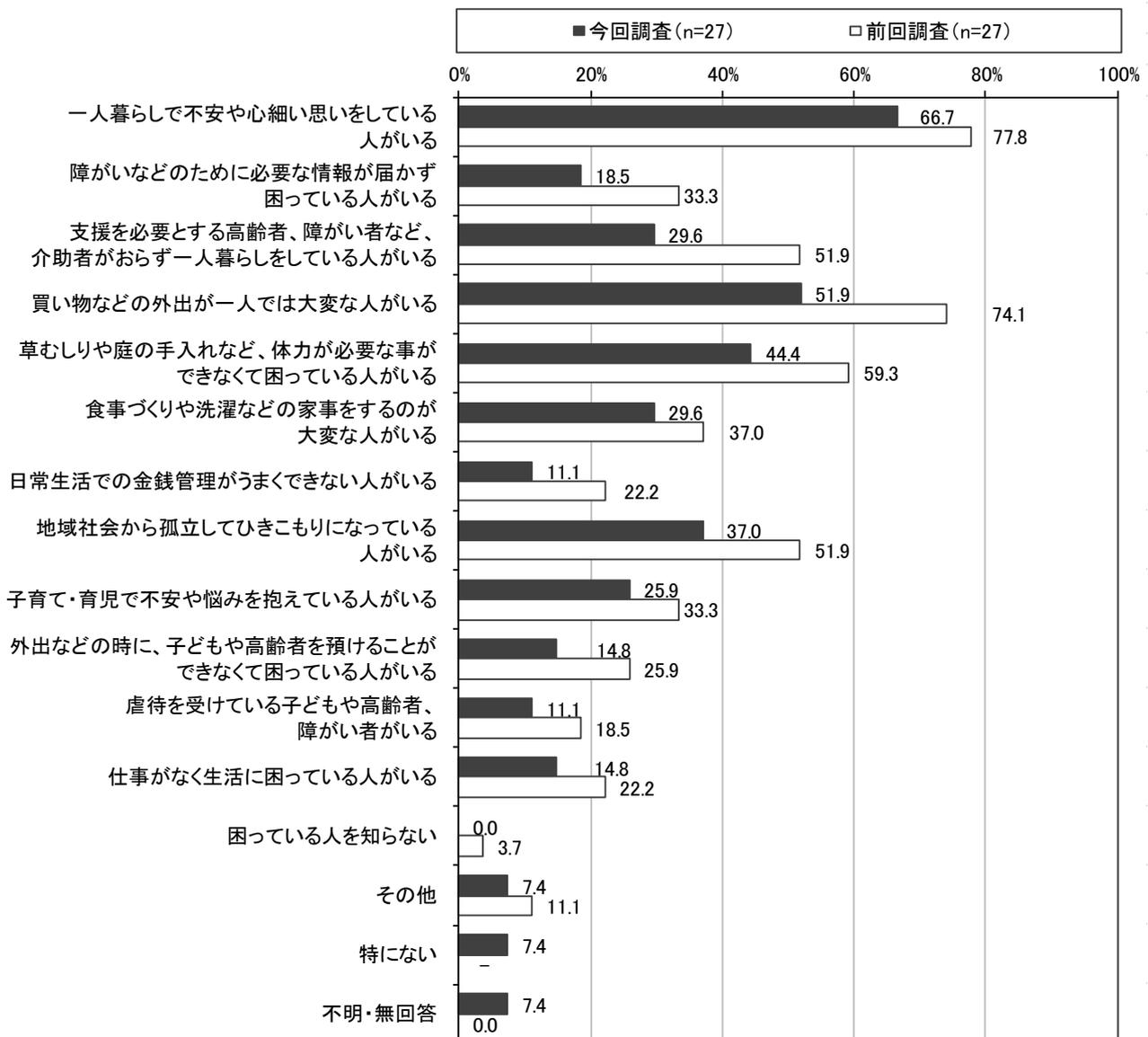


### 3 団体が活動する地域について

#### 問 12 地域の人が日常生活で困っていることには、どのようなことがありますか。 (複数回答)

「一人暮らしで不安や心細い思いをしている人がいる」が 66.7%と最も多く、次いで「買い物などの外出が一人では大変な人がいる」が 51.9%、「草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる」が 44.4%となっています。

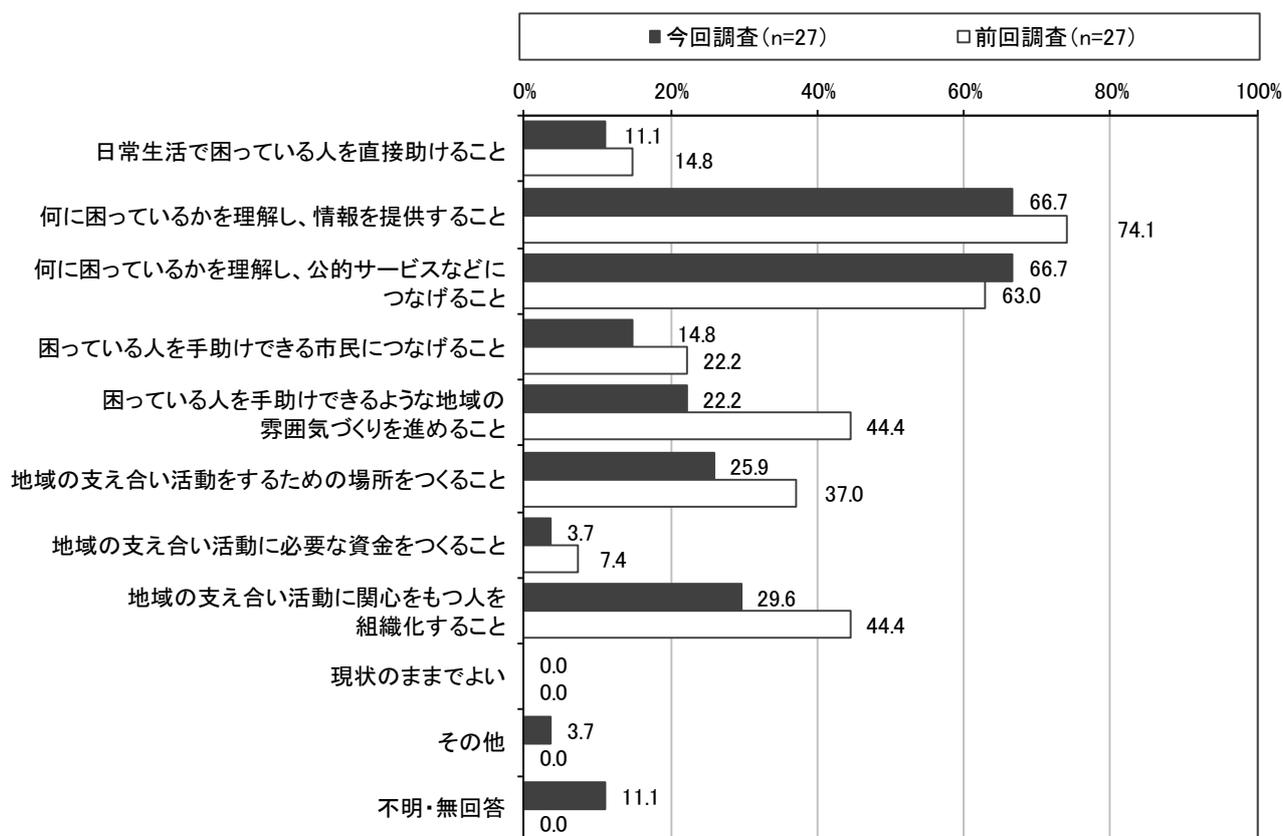
前回調査と比較すると、10 ポイント以上前回より少ない項目が多くみられ、特に「支援を必要とする高齢者、障がい者など、介助者がおらず一人暮らしをしている人がいる」と「買い物などの外出が一人では大変な人がいる」が 20 ポイント以上前回より少なくなっています。



**問 13 日常生活で困っている人がいた場合、貴団体ではどのようなことをする必要が  
あると思いますか。(複数回答/主なもの3つまで)**

「何に困っているかを理解し、情報を提供すること」と「何に困っているかを理解し、公的サービスなどにつなげること」がともに 66.7%と、最も多くなっています。次いで「地域の支え合い活動に関心をもつ人を組織化すること」が 29.6%となっています。

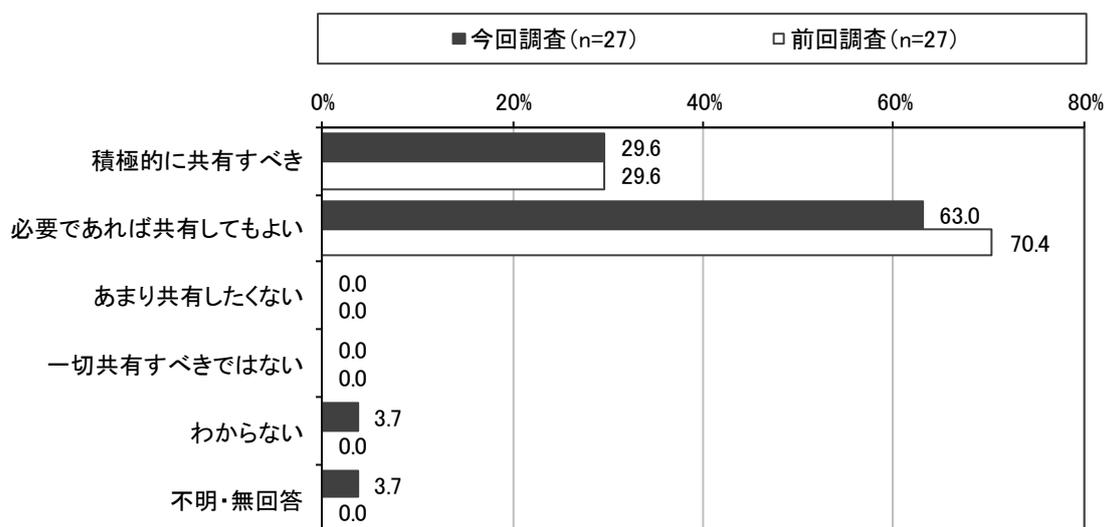
前回調査と比較すると、「困っている人を手助けできるような地域の雰囲気づくりを進めること」が 22.2 ポイント、「地域の支え合い活動に関心をもつ人を組織化すること」が 14.8 ポイント、「地域の支え合い活動をするための場所をつくること」が 11.1 ポイント前回より少なくなっています。



**問 14 貴団体では、災害時の支援や孤独死・孤立死の防止などのために、区・自治会などを単位とした支援者が必要な個人情報を共有することについて、どのように思いますか。（単数回答）**

「必要であれば共有してもよい」が63.0%と最も多く、次いで「積極的に共有すべき」が29.6%となっています。

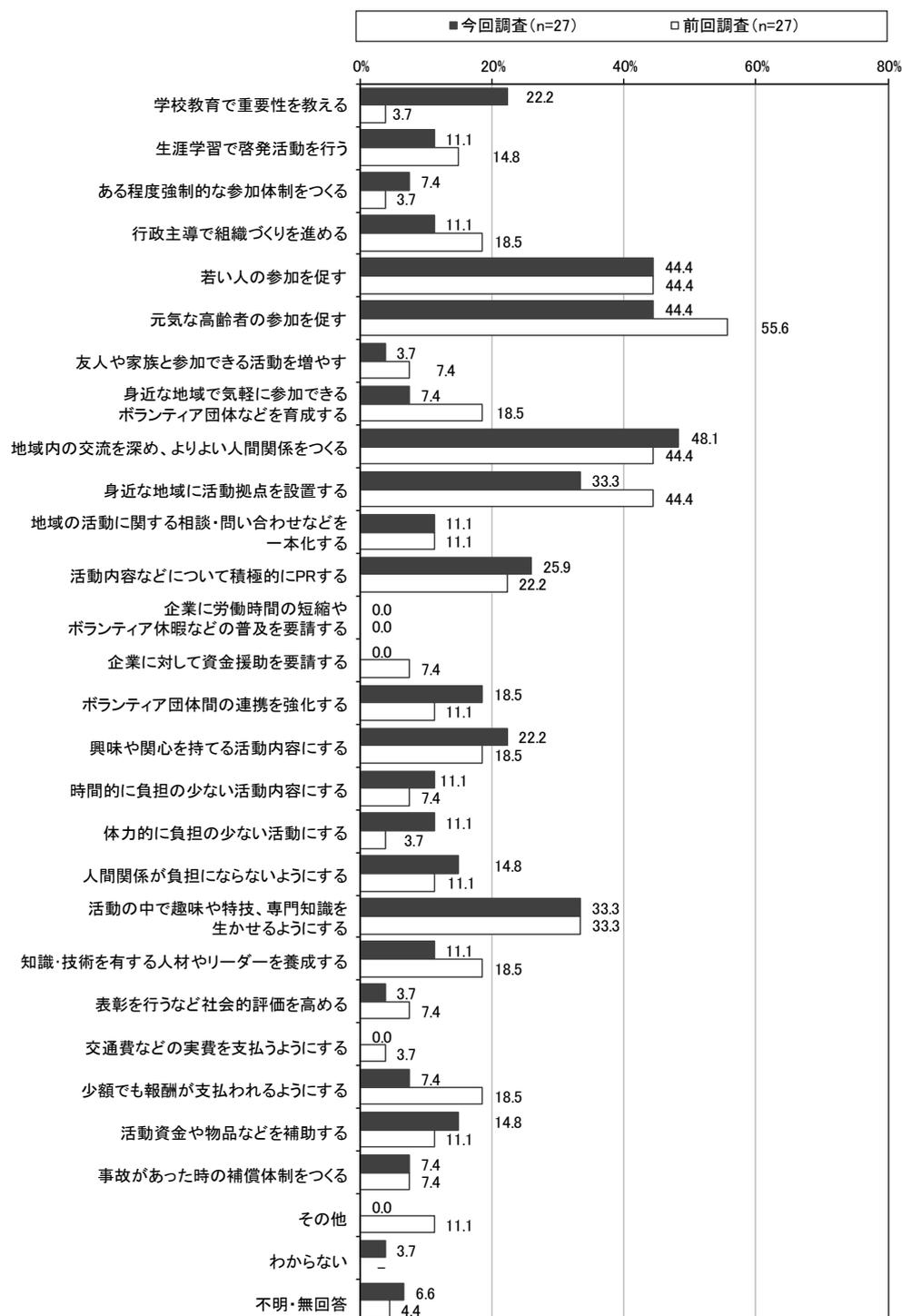
前回調査と比較すると、ほぼ同じ傾向となっています。



**問 15 地域での活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。**  
**(複数回答/主なもの5つまで)**

「地域内の交流を深め、よりよい人間関係をつくる」が 48.1%と最も多く、次いで「若い人の参加を促す」と「元気な高齢者の参加を促す」がともに 44.4%となっています。

前回調査と比較すると、「学校教育で重要性を教える」が 18.5 ポイント前回より多く、反対に、「元気な高齢者の参加を促す」が 11.2 ポイント、「身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体などを育成する」と「身近な地域に活動拠点を設置する」と「少額でも報酬が支払われるようにする」と「その他」がいずれも 11.1 ポイント前回より少なくなっています。



**問 16 ふだん活動されている中で、地域の人々からどのような日常の困り事、地域での問題などをお聞きしますか。（自由回答）**

※有効回答件数は 17 件でした。個々の回答は複数の内容について触れている場合がありますが、回答を分類する際は、分類項目に沿って回答を分割しています。

地域住民の困り事などに関して
子育て世代が多いので、子どもの事、子育ての事、遊び場の事、学習面での話がよくあります。
高齢者夫婦のみで住んでいる方は、近くに家族がいるので大丈夫と話されている。
買い物に行く事が大変。 ゴミ出しが大変（体の問題と、日を間違える）。 植木、草取りが大変。
買い物難民。歩いていける距離に店がなく、食料の買い出しに苦労している。 高齢者の居場所。歩いていける距離で、皆が集まれる場所がない。 こどもの居場所。気軽に参加できる場所がない。 防災、災害が発生した時に、地域でできる対応。支援が必要な人の把握。
免許を返納し、通院・買い物等がとても不便です。送迎等の対策を要望する。 イベント等に参加したいが、足が悪いので参加できない。住まいの近くでサロン等の居場所を作ってほしい。
認知症の方について。その方の子供達は遠方に住んでおり、年に数回程度来て面倒を見ているが、近所の方は、その方の行動や生活状態を心配している。 認知症の夫の行動について、その妻が、近所の方々に迷惑をかけていることが心配でならないらしい。
高齢者は、地域の活動に参加したくても、足腰に自信がなくなると、参加を控えることが多くなる。 高齢者は、買い物や近くの病院に行くにも、タクシーを利用するしか交通手段のない地域がある。 若い人達は、自治会活動に無関心な人が多い。これからの自治会活動のあり方を考えなければならない。
移動についての相談。通院のためのタクシー代が、高額で困っている。 居場所についての相談。妻が認知症で、長い時間、家を空けられない。見守っている自分は、退屈でたまらない。 市役所に公的な手続きをしに行ったが、納得ができず、事務所に立ち寄る。 障がい等のある人からの相談。仕事を探している。ボランティア活動などを勧めた。
急速に高齢化が進み、認知症が増えています。
買い物難民。
高齢になり、買い物に行けなくなった（移動手段がない）。 一人暮らしで、もしもの時（病院・介護）が心配。 災害時、地域で支援が必要な人が把握できない。 歩いていける範囲にある高齢者の居場所。 気軽に参加できる子どもの居場所。
家族間や近隣のもめごとから、行政サービスに関する事等、幅広く何でもあります。

<p>買い物難民の増加。</p> <p>一人暮らし高齢者への支援（草取り、植木の手入れ、電球の交換など）。</p>
<p>旧住民と新住民との地域交流があまりなく、新住民は地域に入りづらく、なかなか活動しづらい。</p>
<p>通学路の途中で、カーブミラーが見つらいと聞きます。</p>
<p>発達が気になる子の保護者から、子どもの発達支援の方法について、相談されることがあります。感覚の過敏、コミュニケーションの苦手さ、こだわりの強さなど、気軽に日常の中で相談でき、対応の仕方を教えてもらえる場や親の不安な気持ちを聞く場が必要だと感じます。</p>
<p>困っている人に対応した、団体活動上の困り事に関して</p>
<p>「高齢者の見守り」について、各団体で連携できないか。</p> <p>「児童の登下校時の見守り」について、各団体でもっと連携できないか。</p> <p>災害発生時に、どの様に対応すればよいのか不安だ。</p>
<p>高齢者が高齢者を支えなくてはならなくなっている。その為、老人会活動などに支障が起きてくるのではないかと、懸念される。</p>
<p>将来、若い人の定年が遅くなり、ボランティアや民生委員などの人員不足が課題だと思いますし、人員確保が難しく、困難だと思います。これからは、若い人を職員としたボランティア組織として、進めて頂きたいと思います。</p>
<p>アパート住まいの高齢者や障がい者に対し、災害時の支援体制の整備に協力してくれる近隣の住民を見つけることが困難である。</p>
<p>地区で、グランドゴルフやお祭り等のイベントがありますが、いつも出てこられる方は同じ人で、出てこない人を参加するようにするにはどうしたらよいか、いつも話題になります。</p> <p>アパートが増えていくこの頃、どんな人が入居されているのかが、わからない。又、区費等も払わない。地域のつながりが希薄になっていくような気持で、とても寂しいです。</p>

**問 17 問 16 の地域での問題の中で、貴団体の活動として対応できるものにはどのようなことがあげられますか。（自由回答）**

※有効回答件数は 16 件でした。個々の回答は複数の内容について触れている場合がありますが、回答を分類する際は、分類項目に沿って回答を分割しています。

<p>他団体などとの連携による対応に関して</p>
<p>公的機関やボランティア団体、NPO 法人、個人など、それぞれの問題について対応してもらえる所を捜して、あらゆる生活上の問題に対応します。</p>
<p>地域の問題に、PTA がどう関わるのか、関われるかが、わかりません。</p>
<p>（アパート住まいの方の災害時の協力体制について）その他の自治会と協力して、援護者を探す。</p>
<p>（買い物難民の増加などについて）団体、個人へのリストアップと紹介。</p>
<p>（道路環境について）地域の区長さんに報告しています。</p>
<p>（買い物が大変なことについて）各自治会で組織されているお助け隊にお願いをする。</p>
<p>（ゴミ出しが大変なことについて）行政にお願いをする。</p>

地域サロン（地区社協で助成しているサロン）、高齢者サロン、子育てサロン、子ども食堂、学習教室の紹介。
民生委員の方々に、事例をあげて話し、協力を得るようにしています。
地区社協は、地域福祉を推進する為に設置された組織であると認識しています。今後も地域住民のニーズを実現すべく、仕組みづくりに貢献して参りたい。
地域包括支援センターとの連携を密にし、情報を共有して対応することの大切さを、定例会等の場で理解していく必要がある。
八木原の地域福祉館で実施している「樺」で対応することが多い。居場所であり、働きたいけど働けない障がいや困難を抱えた人には、適度な「やりがい」を感じられる場所のようです。
サロン。 健康づくり。 買い物の支援。
地域の居場所づくりのための勉強会の開講（関係者、開設希望者等）。 地域の居場所づくりをしている団体の連絡会。 情報交換会開催。 地域の居場所づくりをしている団体のサポート。
自団体での対応に関して
子どもの事、子育ての事については、スタッフに子育て世代や子育てが終わった方もいるので、その経験をもとに、話をしたり、悩みに合わせて選書を行って本を読んでもらったりします。また、遊び場については、敷地内にツリーハウスや竹林などの里山もあるため、自然の中で一緒に過ごしたりしています。また、学習面や学校に登校できない子どもに対しては、学習の場として提供することもできます。
本団体は全市を対象として活動している為、地域の活動には中学校区ごとに地域活動に参加し、お手伝いができるように努めている。
スタッフやプレーワーカー（遊び場スタッフ）が、子どもの発達や発達障がいについての研修を行い、困り事を抱える保護者や子どもへの対応を行っています。中高生については、週に一回、室内のフリースペースをはじめ、夕方以降も参加できる場を開催しています。
その他
高齢で無理ができなくなり、それなりの元気をいかに維持できるかと、年を重ねる都度、感じています。しかし、少しでも社会との関わりを大切に、思いやりを持って仲間との活動を続けていければと願っています。

**問 18 貴団体が活動するうえで、他の団体に協力してほしいことはありますか。**

**(自由回答)**

※有効回答件数は 13 件でした。個々の回答は複数の内容について触れている場合がありますが、回答を分類する際は、分類項目に沿って回答を分割しています。

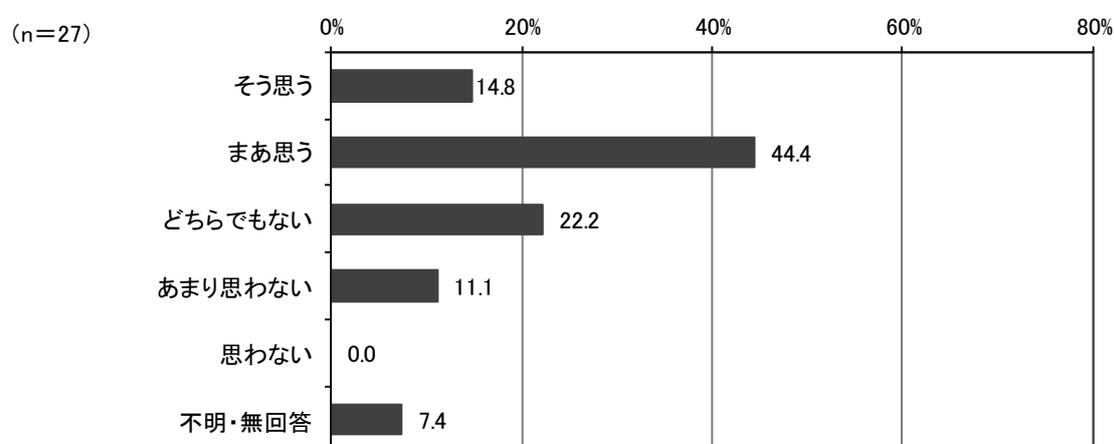
他団体との交流などによる協力体制に関して
チラシを置くなどの広報。
他の団体と手を組んで活動したいと考えていますが、他の団体を知らない為、協力を得ることが出来ない。橋渡しをするところがあれば、協力し合うことができると考えます。紹介の説明会等が開かれると、理解しやすいと感じます。
各自治会との連携を大切にしたい。
事業の広報協力。 事業のボランティア活動参加。 協働での福祉活動。
地域住民の皆様、各団体等の皆様と連携させていただいております。今後とも、その役割を果たしていきたい。
国レベルで展開される「社会を明るくする運動」は、青少年の健全育成に関わる諸団体の積極的な協力のもと、活動できたらよいと思う。 目的を同じくする団体への活動協力ができることがあれば、行いたいと思います。
他の団体との交流の中で、活動の場が広がると良いです。
多種多様な団体が、それぞれの長所、持ち味を活かし、協働による住み良いまちづくりを進める。
今のところ、思いつきませんが、地域（自治会、子ども会など）とは協力しあう必要があると考えています。
情報の共有などに関して
民生委員が地域のすべての状況を把握できるわけではないので、自治会や支え合いの会などに寄せられた相談等は、民生委員に情報を流して下さい。地域全体での見守りが必要な場合には、個人情報保護に注意しながら協力をお願いします。
情報の共有をもっと促進する。
地区社協の理事、評議員としての参加や部会への参加。
参加者が抱える悩みの共有と、共に支援していく連携体制をつくる。
その他
放課後子ども教室のサポーターを探しているのですが、担ってもらえる方が出てこない。サポーター探しのPR 不足ではないか、と思っている。

## 4 四街道市の現状について

### 問 19 四街道市の地域での支え合いの現状についてどう思われますか。(単数回答)

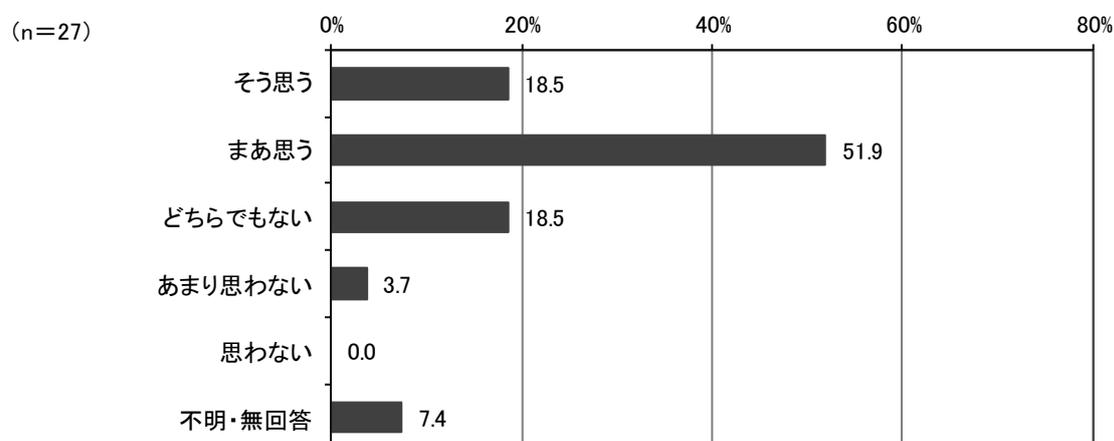
#### ア 住民同士のつながり・支え合いがある

「まあ思う」が44.4%と最も多く、「そう思う」(14.8%)を合わせた“つながり・支え合いがあると思う”は59.2%となっています。また、「どちらでもない」は22.2%で、「あまり思わない」(11.1%)と「思わない」(0.0%)を合わせた“つながり・支え合いがあると思わない”は11.1%となっています。



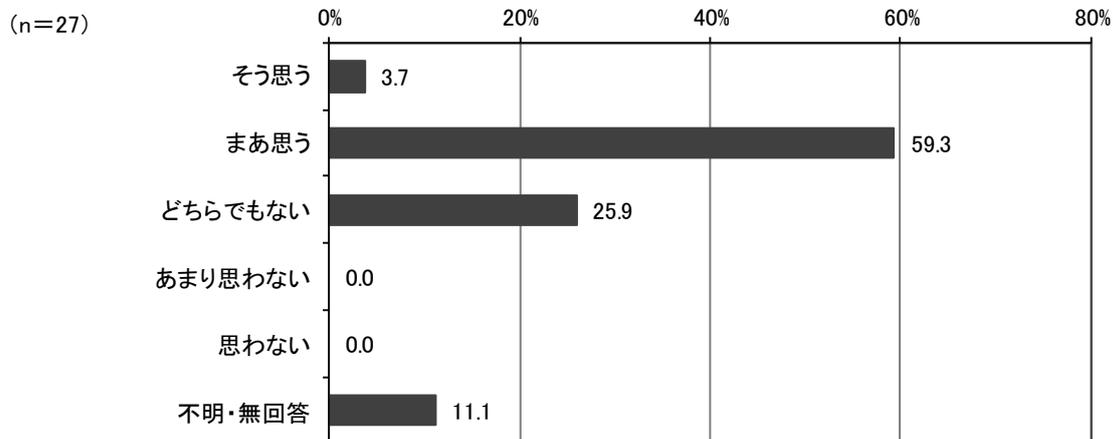
#### イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い

「まあ思う」が51.9%と最も多く、「そう思う」(18.5%)を合わせた“取り組んでいる人が多いと思う”は70.4%となっています。また、「どちらでもない」は18.5%で、「あまり思わない」(3.7%)と「思わない」(0.0%)を合わせた“取り組んでいる人が多いと思わない”は3.7%となっています。



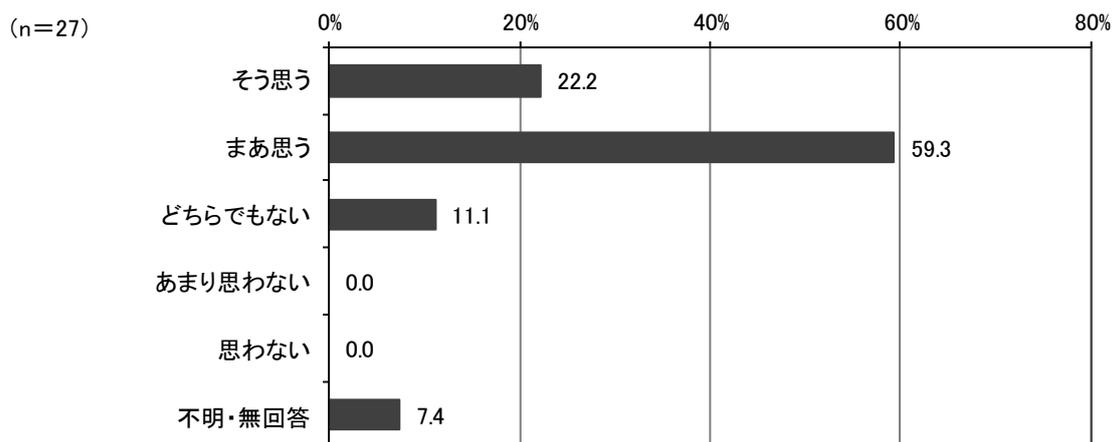
## ウ 困ったときには、解決できるよう相談できる／助けてもらえる安心感がある

「まあ思う」が59.3%と最も多く、「そう思う」(3.7%)を合わせた“安心感があると思う”は63.0%となっています。また、「どちらでもない」は25.9%で、「あまり思わない」(0.0%)と「思わない」(0.0%)を合わせた“安心感があると思わない”は0.0%となっています。



## エ 暮らしている地域は安心・安全であると感じる

「まあ思う」が59.3%と最も多く、「そう思う」(22.2%)を合わせた“安心・安全であると思う”は81.5%となっています。また、「どちらでもない」は11.1%で、「あまり思わない」(0.0%)と「思わない」(0.0%)を合わせた“安心・安全であると思わない”は0.0%となっています。



## 5 今後の活動について

### 問 20 貴団体の活動に関することで、市や社会福祉協議会に対してご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。(自由回答)

※有効回答件数は 19 件でした。個々の回答は複数の内容について触れている場合がありますが、回答を分類する際は、分類項目に沿って回答を分割しています。

団体の活動支援に関して
四街道は市民活動が活発で、それぞれで頑張っているが、広報などを市でもっと積極的に行い、地域の人々に情報を広げていければと思う。
活動の重点が、ともすれば高齢者に偏りがちと感ずるので、年少者（中学生位まで）に対する、支援活動を考えたい。
元気な高齢者へのボランティア参加を促す事業の設置。
保健推進委員の活動は、主に月曜～金曜日が多いので、仕事を休んでの活動になりますので、土曜、日曜日での活動となること、ありがたいです。
行政や団体間の連携強化に関して
これからの地域社会には、住民の自主的な活動が必須。行政には、活動の現場を直に見てもらい、共に地域づくりを考えていきたい。
子どもは、家庭、学校、地域の3つの場で育っていきます。それぞれの場での育ちを共有し、支援し合うために、連絡会や協議会など、三者が連携する機会とともに、医療機関や専門職ともつながる機会を増やしていただくとよいと思います。
協力をする事です。
○課題について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域のネットワーク」が構築されていない（連携体制が確立していない）。各団体・市・社会協議会等が、それぞれバラバラな活動を展開している。ボランティアセンター、みんなで地域づくりセンター等を含め、すべてが縦割りになっており、活動が連携できていない。</li> <li>・地域ネットワークの要になるのが、地区社協であるにもかかわらず、地区社協の組織が活用されていない（地区社協を、もっともっと活用していただきたい）。</li> </ul>
○地域福祉について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉とは、地域を軸として、福祉政策を展開させることです。</li> <li>・社会福祉協議会は、社会福祉法に定められた民間団体であり、「地域福祉の推進を目的とする団体」であることが明記されています。</li> <li>・地域福祉を推進することの要が社会福祉協議会であり、それを具体的に展開していくのが、地区社協の役割であると認識しています。</li> <li>・本来、市社協と地区社協は、一体の組織であるべきと考えておりますが、現実には、別々の組織になっていると認識しています。</li> <li>・市社協の体制等が、地域福祉を推進する体制として、横断的に展開できる組織に変わっていくことの検討を希望します。</li> </ul>

団体への活動予算に関して
PTA 連絡協議会の運営については、各 PTA から抽出した会費でまかなう部分が多いので、もう少し市からの補助をいただけたらうれしいです（PTA 連絡協議会の事務局は、大変ご苦労されていると思います）。
地区社協への助成金（補助金）は、これからも継続してほしい。
事業の見なおし等については、日頃活動している団体の意見、考えをお聞きいただきたい。
活動の活性化に伴い、予算の拡大が必要となるため、可能な限りの財政支援を望む。
行政の事業活動などに関して
今回の自粛生活で、閉じこもり生活を続けることになった一人住まいの高齢者の方に対する支援策を示していただきたい。
高齢者への支援の充実。特に施設等。
会として登録用紙を提出しておりますが、個々の登録用紙を毎年提出するのが、当事者として面倒という声があがりましたので、団体で許可してもらえたら幸いです。
情報共有に関して
いつもお世話になっておりますが、民生委員に対する情報提供が、もう少しスムーズに行われることを願います。例えば、児童虐待の相談を受け、市に通報すると、既にケースとして扱っている場合が多いようですが、主任児童委員に氏名だけでも教えておいて頂けると、それなりの対応が出来ると思います（細かいことで申し訳ありません）。
訪問介護や介助を受けている方の情報を共有することで、見守り活動での共働ができるのではないかと思います。
人材の確保・育成に関して
ボランティア活動に関しての専門家の育成。
社協の働きには、感謝しております。しかし、将来を思うと大変不安です。定年制度も変わりますし、人員維持が困難だと思います。変革の時代に入ると思います。
移動支援に関して
吉岡、鷹の台地区は、市の中心部からも離れていて、「よっぴい」は走ってない。唯一のバスも本数を減らされ、四街道に行く手段が、車しかありません。四街道の中心部の方々が、利用しやすくするためにも、バスの本数を増やして頂きたい。
移動支援について、行政が中心となって、何か進められませんか。市民の自発的な助け合いでは、事故についての保証が、車の持ち主である個人の負担になってしまいますので、助け合いは広がりません。社協の移送サービスも、運転者不足と聞いています。運転者に対し、有償活動の形は、できないでしょうか。
活動の拠点づくりに関して
私達の団体は、活動拠点を持っていない。拠点づくりの協力を考えてもらいたい。
その他
各地域の実情に合わせて活動していく。
市、地区社協の活動には、本団体の会員として参加させていただいているものが多くある。これからも、子育て支援や高齢者の活動、青少年への支援などを協力していきたい。

**問 21 貴団体の活動として、今後行政との協働でどのようなことに取り組めると思われますか。(自由回答)**

※有効回答件数は 16 件でした。個々の回答は複数の内容について触れている場合がありますが、回答を分類する際は、分類項目に沿って回答を分割しています。

困っている人などへの支援に関して
行政の支援が得られるのであれば、子育て支援や高齢者支援などの地域福祉活動をさらに広げることができる。
私達は PTA なので、基本的には「子ども」に関することがメインです。しかし、子どもの見守りなどを地域の皆様をお願いしている部分もあることから、地域と子ども達の交流などがあれば、協力していけるのではないかと思います（PTA 連絡協議会の意見ではなく、個人的見解です）。
学校、PTA との協働での子育て。
子ども達や中高生の声を聞く機会をつくる際には、場の提供（野外の方が話しやすい）や、子どもや親の相談の場を提供できます。また、これまでの経験を生かして、中高生の居場所づくりを広げていくことが可能です。
3歳6ヵ月児検診時に、応援として「食べたら（歯を）みがこう」という指人形劇を行っています（参考としての情報です）。
活動拠点を整備することにより、何か起きた時（問題）は、とりあえずそこに行って、いつでも相談出来るという安心感が生まれると良い。
災害時や今後起こるかも知れない多重災害時に、民生委員としての役割や出来ることを話し合っていきたいです。
再犯防止に向けた取り組み。
行政や団体との連携に関して
地域の支え合い活動について、自治会の協力を得られるような、情報発信、会合の場を設ける必要を感じます。
地域の身近な相談者として活動しているが、今後についても、住民が安心して地元で暮らしていくために、行政サービス等の必要な人については、つなぎ役として、情報提供をし、又、その中で地域での支援も必要な人については、情報共有や連携をして、働きかけをしていきたい。
福祉連絡会議などへの参加。
協力をする事です。
いろいろな事はできると思います。まずは行政の方が、どのような現状かを、現場を見て一緒に考えることが大切だと思います。
○地域内の少人数で取り組むサロン活動（飲食を含む）に対して、柔軟に対応できないか。 ○スポーツ・ゲーム大会等における商品の提供について。
その他
社会福祉課の皆様には、大変お世話になっています。私達の活動が、より活発に成果のあるものになるよう、御指導をお願いしたい。

私共の活動は、わろうべの里を拠点として、一年を通しての行事が企画されており、メンバーも高齢化になっていますので、精一杯、行事を楽しんで行っています。

## 問 22 その他、地域福祉の推進についてご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。(自由回答)

※有効回答件数は 15 件でした。個々の回答は複数の内容について触れている場合がありますが、回答を分類する際は、分類項目に沿って回答を分割しています。

助け合い・支え合いの地域づくり・人材育成に関して
将来、ますます少子高齢化が進むので、その対策に協力・参加する若人の教育、発掘が急務と思う。地域住民が支え合うことができるまちになればよいと思います。
若い方達は仕事で忙しく、なかなかボランティア等には参加されませんが、元気な高齢者の方に参加してもらうのは、いいと思います。高齢者の方達も、少しでも収入になれば有り難いと思うので、その辺のところも考えていただくと、いいと思います。
70 歳迄仕事をしなければならぬ時代になり、将来、地域福祉を担う人がいなくなってしまうのではないかと。また、今回の「コロナ渦」の中で、ボランティアによる福祉活動が休止し、集う場所もなくなってしまった。このような社会の現状で、「地域を支える」とか「地域で助け合う」とか、どんな姿を目指していくのか。新しい地域福祉の考え方が生まれてくるのでしょうか。
○お互いに支え合う（支える人＝支えられる人）ことについて ・現状の福祉政策は、支える人と支えられる人が明確に区分されておりますが、一方的に支えてほしいと思っている人は、ごく少数で、大半の人々は、常に支える側の人でありたいと思っていることが、地区社協の活動の中で確認できました（活動に参加することが、すべてボランティア活動）。 ○高齢者の活用について（経験豊富で、元気な高齢者が多くいます） ・ポイントは、高齢者の活躍の場をいかに提供できるかということです。地域内には、いろいろなノウハウをお持ちの方や、専門知識等をお持ちの方等、経験豊富な高齢者が多くおり、地域のために何か役に立ちたいと思っています（地域内は、人材が豊富です）。また、高齢者の皆さんは、自分の活躍できる場を望んでいます。
行政による施策に関して
支援を必要としている方（家族）に対し、より良い支援が行える施策を期待したい。
地域包括ケアシステムの体制づくりの動きが始まってきているが、在宅で生活している障がい者（特に精神）の方に対し、事業への支援充実が必要だと思えます。
100 人程度の懇親会ができる場所の充実。
情報共有に関して
民生委員や各ボランティアからの情報が、反映できるようにしていきたい。
例えば、包括支援センターやヘルパー等に関わっている人と、情報共有ができれば助かります。

活動予算などに関して
四街道市は、高齢者が増えている。この人達が集まれる場を作りたいと自治会等が考えているが、予算が無い。補助金等を作り、サロンを開く助けになるように考えて下さい。
地域福祉予算の充実
団体間の連携に関して
現在、社会情勢の変化により、地域の福祉問題は複雑化しており、1つの団体だけの活動では、諸問題への対応をカバーしきれない。これからの地域福祉は、様々な団体が協働して課題に取り組む必要があり、行政には各団体が連携しやすい環境整備について、リーダーシップをもって進めてほしい。
移動支援に関して
市内循環バスの路線増や乗合いタクシー制度など、住民の足の利便化。
その他
PTAとして、地域福祉について、ご協力できる範囲内で協力できればと考えております。引き続き、宜しく願い申し上げます。
行政として無駄な支出がないよう、大切な税金を有意義に運用して頂きたいと存じます。切に願っております。

## IV. 団体意見交換会・まとめ

---

# 1 第1回意見交換会の主な意見

## ■団体活動の担い手不足に関して

---

### 【課題・問題について】

- メンバーの高齢化が問題。新しく活動メンバーを募集するのだが、近年では定年が伸びて、仕事をされている方が増え、ボランティア活動につながらない。
- ボランティア団体においても、メンバーの固定化と高齢化は課題となっている。
- 地域の人たちの高齢化が進み、保健推進委員に推薦することが大変という感じで、区・自治会長は悩んでいる。
- 民生委員も、メンバーが固定化し、欠員になっても補充ができない状態にある。

### 【課題解決について】

- 若者のボランティア育成が重要。幼稚園・小学生などの小さい頃から福祉について学ぶことで、大人になっても活動につながることから、福祉教育に力をいれる必要がある。

## ■団体間の協力・連携に関して

---

### 【課題・問題について】

- 高齢者の見守りについて、各団体でもっと連携できないのか。民生委員や自治会の人などと連携を強化できないのか。具体的に児童の登校時の見守り活動をしているが、そういったものについて、もっと各団体連携できないのかと思っている。
- 様々な団体と連携し、各団体の特色を十分発揮することができるネットワークづくりが課題。

### 【課題解決について】

- 各自治会と意見交換をしながら進める。
- 連携体制の確立に取り組むことが、地区社会福祉協議会の役割と認識している。課題対応した取り組みを各地区に水平に展開し、具体的な施策に落とし込んでほしい。総合的な施策ではなく、優先順位をつけて、具体的に展開できるような施策を作ってほしい。
- 困っている人に対しては、民生委員や自治会に協力をお願いしている。
- 地域の支援ネットワークづくりで大切なのは自治会である。しかし、社会福祉協議会を通じて支え合い会議をやっているが、なかなか自治会の方が来られていない。行政から自治会長を呼ぶなど、行政がサポートをしながら地域の支援ネットワークを完成させていくことが大切。
- 民生委員として活動する中でも、自治会との連携が非常に重要。

## ■社会福祉協議会の活動に関して

---

### 【課題・問題について】

- 活動している中で、様々な制約があって、活動が難しいとアンケートで書いてくる人がいた。それに輪をかけて、金銭的な縛りが多く、やりがいを感じられない。
- 地区社会福祉協議会の地域活動の枠組みが大きいのではないか。小学校単位なら、地域福祉がもう少し必要とする人たちの手に届くと思う。
- 地区社会福祉協議会のメンバーが高齢者であるため、若い人などは、なかなか活動に参加してくれない。子育て支援に関しても、年代が違うから、上手くいかない。
- 地域に困っている人が、どれくらいいるのかが掴みづらい。また、自分の地域で支援してやろうという人も、掴みづらい。
- 四街道市は、面積は狭いが、各地区にそれぞれ固有の課題があり、課題の把握が正確にできていないというのが問題と思う。

### 【課題解決について】

- 民生委員の活動の中で、公的機関につなぐことや、困った人に情報を提供することが主な活動だが、直接家に訪問しているのも、ほとんどが民生委員。社会福祉協議会や自治会の方は、家まで訪問しない。家庭の困り事や人数の把握するのは、民生委員が1番先にできると思う。この民生委員の役割を上手く活用できる仕組みづくりを、さらに発展させる必要がある。
- 困っている方をいかに早く必要なところにつなげるかが、非常に重要。社会福祉協議会では、たくさんの相談機関をもっているし、そういうところとつながっている。地域の中に必要な情報が必要なおところに流れて、困った人がいた時に、速やかにつなげられるような仕組みを作る事が重要。

## ■民生委員の活動に関して

---

### 【課題・問題について】

- 個人情報の問題があり、積極的に住民の情報を得る事ができない。そのため、各サロンや社会福祉協議会の様々な行事に関わりながら、そこから情報をいただくという形に変わってきているが、その参加が多くなり、本来の仕事に負担を感じている。
- 個人情報については、「民生委員がなんでそんな事知っているのだ」というクレームが、いくつかある。
- 民生委員がもっている個人情報を、地域の自治会などに伝えられないから、自治会などとの連携が上手く取れない。

### 【課題解決について】

- 民生委員の活動をもっとアピールするとともに、民生委員を上手く活用する仕組みづくりをバックアップしてもらえると、民生委員の人たちはボランティアの気持ちが凄くあるので、解決につながると思う。

○一人暮らしのほとんどの人にヘルパーさんが入っているが、ヘルパーさんがもっている情報を共有ができればいいと思っている。

## ■活動拠点に関して

---

【課題・問題について】

- おかげさまで地区社会福祉協議会では、すでに4地区の拠点を設置し、5つ目を設置する予定だが、こちらは問題ないと思っている。
- 北中学校地区の地区社会福祉協議会では活動拠点について、空き家の民家を活用した拠点をつくり、皆の集いの場所になっている。行政の方が中心になってスキームを作った。そういうスキームを行政が作ってくれないと、具体的に話が進まない。

## ■地域活動への参加促進などに関して

---

【課題・問題について】

- 高齢者の会は、高齢化のため、メンバーが減っていく。市からの補助も受けられない。補助がでないからお金を使う行事が出来ない。そうすると皆が集まらないから、どんどん縮小されていく。このような悪循環を、高齢化に対する行政の考え方の中で、制度的に上手く対応してもらいたい。
- 高齢者の貯筋体操に来る人が固定化している。
- 区・自治会長が悩んでいる事は、自治会の行事などの参加者の固定化で、普段出てこない人がどうすれば出てくるようになるのかを模索中。
- 地域活動などに参加しない人に対し、民生委員として、どのように働きかけていけばよいか課題。

【課題解決について】

- 区費を払っていない家庭のお子さんでも参加できるよう、うちの地区では月に1回コスモスの会を開催し、そこで、ちぎり絵づくりや料理づくりなどをやっている。

## ■災害時の対応に関して

---

【課題・問題について】

- 災害の発生時に、どのように対応すればよいのかの体制づくりが必要。
- 私の区では災害時の支援体制はとれてない。

【課題解決について】

- 行政を通じて、自治会に協力を働きかけてもらい、支援体制の重要性などをもっと明確にしてもらうと、民生委員としてやりやすくなる。

## ■移動支援に関して

---

### 【課題・問題について】

- 交通の便が悪く、運転免許を返納して買い物等が不便な人がいる。
- 高齢者や障害者の移動手段について、有効な手段はそんなに多くなく、むしろ少ない。特に、コロナ感染の影響でボランティア活動が自粛している時は、移動に困った人が浮き彫りとなり、大きな課題だと感じている。
- 施設が離れたところにあり、車の運転をして、誰かを乗せていかないといけない時がある。その人員を増やしていかなければならないというのが、今の悩み。
- 中学校向けのスクールバス化している路線バスがあるが、生徒の都合の良い時間に合っていない。
- 四街道中学校地区にはヨッピーバスがない。駅の北側はあるけれど、南側にはバスがない。高齢者のためにも、若い世代の車が無い人のためにも、ぜひ市の政策の方で考えていただきたい。

### 【課題解決について】

- 学校や地域の方に、都合の良いバスの時間帯を聞いてもらえば、乗る人が増える事もあると思う。

## ■その他の地域住民が困っていることなどに関して

---

### 【課題・問題について】

- イベント等に参加したいけれど、足が悪くて参加できない人がいる。住まいの近くで、居場所を作ってほしい。
- 子どもが少ない、子ども会がなくなった。今いる子どもたちをどうやって楽しめるようにしたらいいかについて、区長さんは悩んでいる。
- 区費を払わない人が増えてきて、地域のつながりが希薄になっている。

### 【課題解決について】

- シニアクラブなど、他の団体と上手く連携をとり、協力してもらうことは有効（草刈り、交通安全の旗振りなど）。

## ■包括的な相談体制などに関して

---

### 【課題解決について】

- 地域包括支援センターでは、高齢者に対する対応はしてくれるが、一人親家庭や子どもには対応していない。これからの事を考えると、高齢者以外の人にも対応してくれると助かる。
- 子どもの相談などについて、私たちが教育委員会や市役所に相談に行くと、「それは学校の問題だから」とか「それは市役所の方に」とか言われたりするため、子どもに対して包括的に相談を受け付けている場所を1カ所（ワンストップ）に定めてもらえると助かる。
- 地域で相談所を設けるには、PRの仕方を考えないと駄目。

- 各地区の総合相談窓口が必要になってくると思う。障害者はこっち、高齢者はこっち、子どもはこっちと言うのではなく、そこへ行けばある程度相談にのってもらえて、そこから交通整理してくれるところが必要になってくる。
- 参考として、ひまわりサロンは、社協と民児協と自治会がそれぞれ分担し、全く同じ立場でやっている。

## 2 第2回意見交換会の主な意見

### ■団体活動の担い手不足に関して

---

【課題・問題について】

- 高齢化で、活動の継続が可能なのか。また、後継者をどうしていけるのかが不安。
- 担い手不足と活動を継続していくための準備が課題。
- 若い方が入ってこない、どう次につないでいくかが悩み。

### ■子どもに関して

---

【課題・問題について】

- アンケートを見ても、子どもの意見が全然出てこない。子どもたち自身の声が出てきにくいし、表立って出てこない。
- 子どもたちの福祉を考えると、発達が気になる子が増えてきている。それに悩む保護者の方が相談されるケースが多い。
- 中高生の居場所が少ないのも問題。
- コロナ禍の中でストレスがたまり、もやもやしている子どもがおり、親たちも心配している。

【課題解決について】

- 施設のホールなどを開放してもらえれば、コロナ禍の中で、工夫しながら乳幼児の人形劇などから始めていこうかと話している。

### ■障害に関して

---

【課題・問題について】

- 障害をもつ子どもの親御さんが亡くなっている人、片親の人、75歳以上の人もかなりいる。それが一番重くのしかかっている。
- 現在コロナ禍で、通所先などが休所し、家にいたら、家族がバラバラになっていく、というような人もいる。
- 話を聞いていると、自分たちは、隔離されたところにいると感じた。自分たちが困っていることをいっぱい言っていけばいいと思うが、言う場所が限定されていて、声を出していく場所がない。
- 子どもたちの発言の場所がないというのは知的障害も同じ。自分たちを置いてきぼりにせず、自分たちで発信できることは発信するというのが、全国的になってきている。
- 会のメンバーの高齢化が進んでいる。肢体不自由児は毎日の介護で手一杯。100kg近い車いすを押したりしないといけないので、どのお母さんも本当に疲れている。
- 成年後見人の話をきいて、親亡き後のことが、一番の心配事。

○障害者が外に出ていくことの大切さ、自分たちの中で固まってしまっていたら、普通の人が障害者にどう関わっていったら良いのかわからないということを教わったので、できる限り電車など公共交通を発達させるためにも車いすで出かけたりしていた。しかしどっと疲れてしまうこともある。

【課題解決について】

○つながらないからわからない、発展しないのだと気づいた。今回こういう場を設けていただいたことで、つながることができたのが大きな収穫。

## ■活動への参加促進などに関して

---

【課題・問題について】

○活動への協力や参加を増やしたい。

## ■高齢者等の移動支援に関して

---

【課題・問題について】

○親が高齢者となって、いつまで送り迎えできるのかという問題がある。これからどうしたらよいか、悩んでいる。

○四街道方面からのバスが4月から減らされてしまい、四街道方面からスタッフで来てくれている方が、旦那さんや他のスタッフに送り迎えをしてもらっている状況となっている。スタッフをやりたいと言ってくれても、足がなくて来てもらえないのが問題。

## ■活動拠点に関して

---

【課題・問題について】

○場所がないということは、何も活動ができない。当会は全国組織があり、組織的に大きな地域では、活動場所を自分たちで持っているところもあるが、四街道市はそこまで力がなく、お借りして全部をやっている状態なので、どう打破していったらよいかかが悩み。

## ■地域づくりセンターに関して

---

### 【課題・問題について】

○皆さんが抱えている課題を詳しくお伺いして、地域づくりセンターにも相談として電話がかかってくることもあるが、「会とそれが必要な方とをつなげる場所がない」、「自分たちの場所をもっと知ってもらえる場があったら」という話があったので、お手伝いできることがあるのではないかと思った。これからセンターに持ち帰って検討していきたい。

### 【課題解決について】

- 団体の情報発信と会議のつなげる場の提供は、地域づくりセンターとしても力をいれてできること。今日も顔を合わせて話すことで、こんなこともできる、こんなことをしてもいいんだということが分かって素敵な場だった。センターとしてもこういった会を企画することができるので、お声かけさせていただきたい。
- 地域で助け合いをできる部分をつなげていくということが、地域づくりセンターの仕事の範疇かと思うので、そこを充実させていくことが大事だと思った。

## ■その他

---

○場とか情報の共有が課題。今回の話を聞いていて、こういう団体があるのだとか、こういう活動しているのだとか、こういうことに困っている人がいるのだとか、こういう人をあそこにつなげられるといったことが出てきたので、こういう意見交換ができる場を積極的に作ってもらえるとよいと思った。



## (資料①)市民アンケート調査票

---

# 第3次四街道市地域福祉計画策定のための 市民アンケート調査

日ごろより福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

四街道市では、平成28年3月に策定した「第2次四街道市地域福祉計画」にもとづき、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、関係団体などと連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを進めております。

このたび、次期計画策定にあたり、ご近所付き合いや地域活動への参加状況などの実態とともに、地域福祉などに対する住民の皆さんの考え方やご意見を広くお聞きするためのアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、四街道市にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000人を選ばせていただきました。いただいた回答の結果は、統計的に処理し、この調査の目的以外に使用することはありません。つきましては、趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせください。ご協力をお願い申し上げます。

令和2年6月

四街道市長 佐渡 斉

## ご記入にあたってのお願い

- ①質問には、あて名のご本人がご回答ください。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の考えをお聞きの上、代理でご記入ください。
- ②ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
- ③質問によって、○印は（ひとつ）（3つまで）といった、ことわり書きが付してありますので、説明に従ってご回答ください。  
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。  
例) 
- ④お答えで「その他」を選んだときは、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

**6月23日（火）**までにお近くの郵便ポストに投函してください。

（お名前やご住所の記入は不要です）

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

四街道市役所 福祉サービス部 社会福祉課

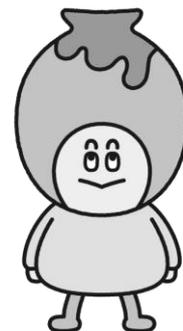
担当：安井、秋山

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地

電話：043-421-6121（直通）

FAX：043-424-2011

E-mail：yshafuku@city.yotsukaido.chiba.jp



よつぼくん

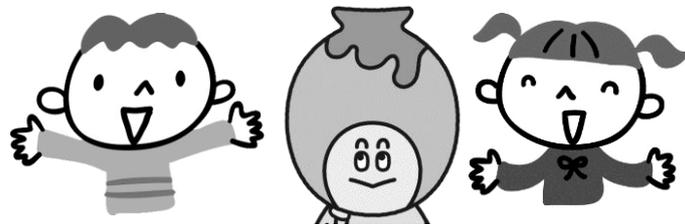
「ドラマチック四街道プロジェクト」  
ナビゲーター

# 地域福祉って何？

ふだんの生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？  
子どもの登下校が不安…、災害時の対応が心配…、外出したくても交通手段がない…、など。こういった不安や不便さは、ほんの少しの手助けや気づかいで解決できることがたくさんあります。

「地域福祉」とはそういった問題を地域の中で解決し、「**住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、市民が主役で進める取り組み**」のことをいいます。

例えば、近所の人にあいさつすることや子どもの安全を地域で見守ることなども、地域福祉の活動といえます。



## ■ 地域福祉計画が目指すもの

四街道市では、

**「みんなで助け合い・支え合い 安心して、いきいき暮らせるまち 四街道**  
を目指して、地域福祉を推進しています！

そのためには？

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている  
地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。

**市民参加の一環として、アンケート調査へのご協力を  
よろしくお願いします。**



# 1. あなたご自身についておたずねします。

## 問 1 あなたの性別はどちらですか。(どちらかに○)

1 男性	2 女性
------	------

## 問 2 あなたの年代はどれですか。(ひとつだけ○)

1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
5 50代	6 60代	7 70代以上	

## 問 3 あなたは四街道市内に何年住んでいますか。(ひとつだけ○)

1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満	4 10～15年未満
5 15～20年未満	6 20～40年未満	7 40年以上	

## 問 4 お住まいの地区はどこですか。該当する番号に、○をつけてください。(ひとつだけ○)

1 千代田中学校地区	2 北中学校地区	3 西中学校A地区
4 西中学校B地区	5 四街道中学校地区	6 旭中学校地区

**②北中学校地区**  
 <参考：該当自治会名>  
 栗山郷、馬洗、半台、萱橋、畔田台、富士見ヶ丘、萱橋台、今宿、鹿渡一区、さちが丘1丁目、さちが丘2丁目、栗山新町、つくし座、電電栗山、くりやま台、すみれ台、内黒田鉄道団地、県営栗山団地

**③西中学校A地区**  
 <参考：該当自治会名>  
 下志津新田、四街道一区、四街道二区、四街道三区、四街道四区、新生、春日団地、北園、四街道団地、花園、緑ヶ丘団地、さつきヶ丘、サンクタス四街道

**④西中学校B地区**  
 <参考：該当自治会名>  
 大作岡、中志津、緑ヶ丘、桜ヶ丘、鹿放ヶ丘、桜ヶ丘中央

**⑤四街道中学校地区**  
 <参考：該当自治会名>  
 鹿渡二区、三才、鹿渡、和良比、第2グリーンタウン、めいわ5丁目、わらびが丘、向南台、ヴェルデ四街道、美しが丘1丁目、美しが丘2丁目、美しが丘3丁目、ひかりが丘西、めいわ東、和良比西

**①千代田中学校地区**  
 <参考：該当自治会名>  
 亀崎、物井、物井二区、長岡、内黒田、千代田一丁目、千代田二丁目、千代田三丁目、千代田四丁目、千代田五丁目、物井茶屋の作、バードヒル池花、もねの里2丁目、もねの里3丁目、エクセレントもねの里、もねの里6丁目呼戸、もねの里6丁目ツインズ地区、もねの里6丁目東部、物井東口

**⑥旭中学校地区**  
 <参考：該当自治会名>  
 宿、川戸、向井、吉岡、小名木、成台中、南波佐間、上野、和田第1、旭ヶ丘、みそら、鷹の台、吉岡南、鷹の台1丁目、サンクレイドル千城台・御成台公園前

## 問 5 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

1 農業・商工業・専門職などの自営業	2 会社員（正規社員）
3 会社や団体などの法人役員	4 公務員・団体職員
5 パート・アルバイト・派遣などの非正規社員	6 専業主婦・夫（年金生活の方は8を選択）
7 学生	8 年金生活者
9 無職	
10 その他（ ）	

## 問 6 あなたの家族(世帯)構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

1 単身世帯	2 夫婦のみの世帯	3 親と子の2世代世帯
4 親と子と孫の3世代世帯	5 その他（ ）	

**問 7 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。**  
(あてはまるものすべてに○)

1 乳児（1歳未満）	2 幼児（1歳から就学前まで）
3 小学生	4 中学生・高校生
5 65歳以上の人	6 介護を必要とする人
7 身体・知的・精神などの障がいのある人	8 いずれもない

## 2. 「地域との関わり」についておたずねします。

**問 8 あなたは、現在、ご近所とどのようなお付き合いをされていますか。（ひとつだけ○）**

1 困った時に、助け合える関係	2 自治会などの行事の時だけ付き合う程度
3 たまに立ち話をする程度	4 会えばあいさつをする程度
5 ほとんど付き合いはない	6 その他（ ）

**問 9 あなたは、今後、ご近所とどのようなお付き合いができるかと思えますか。**  
(ひとつだけ○)

1 困った時に、助け合える関係	2 自治会などの行事の時だけ付き合いたい
3 たまに立ち話をする程度でよい	4 会えばあいさつをする程度でよい
5 あまり付き合いたくない	6 その他（ ）

**問 10 現在お住まいの地域との関わりについて、あなたは満足していますか。（ひとつだけ○）**

1 満足している	2 まあまあ満足している	3 どちらでもない
4 あまり満足していない	5 満足していない	

**問 11 地域での問題とあなたの関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。**  
(ひとつだけ○)

1 地域での問題にはできるだけ主体的に関わっていきたい
2 地域での問題に熱心に取り組んでいる方のお手伝いはしたい
3 地域での問題に関わっていきたいが、実際に関わることは難しい
4 地域での問題には関わりたくない

**問 12 「地域福祉」とは、支援を必要としている人をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民が主役で進める取り組みのことです。あなたは「地域福祉」に関心をおもちですか。（ひとつだけ○）**

1 とても関心がある	2 ある程度関心がある
3 あまり関心がない	4 まったく関心がない

### 3. 「地域での活動」についておたずねします。

問 13-1 あなたは現在、地域で活動していますか。(ひとつだけ○)

1 活動している	2 活動していない
----------	-----------

↓

↓

問 13 - 4 へ

(問 13-1 で「1」を選んだ人におたずねします。)

問 13-2 あなたは地域で、どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 高齢者支援に関する活動	2 障がい者支援に関する活動
3 子育て家庭の支援に関する活動	4 健康づくりに関する活動
5 地域の清掃・美化に関する活動	6 街の活性化などに関する活動
7 防犯・交通安全に関する活動	8 消防・防災・災害支援に関する活動
9 自然環境保護に関する活動	10 ごみ・リサイクルに関する活動
11 文化・芸術、スポーツに関する活動	
12 その他 ( )	

(問 13-1 で「1」を選んだ人におたずねします。)

問 13-3 活動に参加している理由として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。  
(ひとつだけ○)

1 活動自体が楽しく興味のある内容だから
2 活動に参加すると自分や自分の家族に有利になるから
3 活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから
4 身近な地域のために役立ちたいから
5 その他 ( )
6 わからない

→ 問 14 へ

(問 13-1 で「2」を選んだ人におたずねします。)

問 13-4 あなたが現在活動に参加していない主な理由として、あてはまるものはどれですか。  
(主なもの2つまでに○)

1 楽しく興味のある活動内容がないから
2 身近な地域のことには関心がないから
3 仕事や学業などで忙しく時間がないから
4 どのような活動があるのか知らないから
5 体力的に自信がないから
6 人付き合いが面倒だから
7 その他 ( )
8 わからない

**問 14 今後、地域での活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。**

**(主なもの5つまでに○)**

- |    |                               |   |
|----|-------------------------------|---|
| 1  | 学校教育で重要性を教える                  |   |
| 2  | 生涯学習で啓発活動を行う                  |   |
| 3  | ある程度強制的な参加体制をつくる              |   |
| 4  | 行政主導で組織づくりを進める                |   |
| 5  | 若い人の参加を促す                     |   |
| 6  | 元気な高齢者の参加を促す                  |   |
| 7  | 友人や家族と参加できる活動を増やす             |   |
| 8  | 身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体などを育成する |   |
| 9  | 地域内の交流を深め、よりよい人間関係をつくる        |   |
| 10 | 身近な地域に活動拠点を設置する               |   |
| 11 | 地域の活動に関する相談・問い合わせなどを一本化する     |   |
| 12 | 活動内容などについて積極的にPRする            |   |
| 13 | 企業に労働時間の短縮やボランティア休暇などの普及を要請する |   |
| 14 | 企業に対して資金援助を要請する               |   |
| 15 | ボランティア団体間の連携を強化する             |   |
| 16 | 興味や関心を持てる活動内容にする              |   |
| 17 | 時間的に負担の少ない活動内容にする             |   |
| 18 | 体力的に負担の少ない活動にする               |   |
| 19 | 人間関係が負担にならないようにする             |   |
| 20 | 活動の中で趣味や特技、専門知識を生かせるようにする     |   |
| 21 | 知識・技術を有する人材やリーダーを養成する         |   |
| 22 | 表彰を行うなど社会的評価を高める              |   |
| 23 | 交通費などの実費を支払うようにする             |   |
| 24 | 少額でも報酬が支払われるようにする             |   |
| 25 | 活動資金や物品などを補助する                |   |
| 26 | 事故があった時の補償体制をつくる              |   |
| 27 | その他 (                         | ) |
| 28 | わからない                         |   |

**問 15 あなたは、今後、地域での活動やボランティア活動に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(ひとつだけ○)**

- |   |                      |   |                |
|---|----------------------|---|----------------|
| 1 | 積極的に取り組んでいきたい        | 2 | できるだけ取り組んでいきたい |
| 3 | 機会があれば取り組んでもよい       | 4 | あまり取り組みたくない    |
| 5 | 取り組むことができない／取り組みたくない |   |                |

#### 4. 「福祉の考え方」についておたずねします。

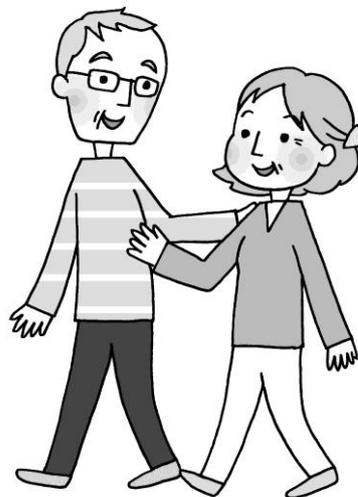
問 16-1 四街道市は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけ○)

1 暮らしやすいと思う	2 まあまあ暮らしやすいと思う	→ 問 17へ
3 あまり暮らしやすいとは思わない	4 暮らしやすいとは思わない	→ 問 16-2へ
5 わからない		→ 問 17へ

(問 16-1で「3」または「4」を選んだ人におたずねします。)

問 16-2 暮らしにくいと思う理由は何ですか。(主なものを3つまでに○)

1 地域住民の理解や協力が少ない	2 交通機関が不便・利用しにくい
3 利用できる医療機関が少ない	4 買い物などが不便
5 生活の悩みを相談できる窓口が少ない	6 教育・進学相談ができる窓口が少ない
7 公民館など利用しやすい公共施設が少ない	8 身近に働く場所や就労相談ができる窓口が少ない
9 防犯・防災対策が十分ではない	10 リハビリや療養のための施設が少ない
11 親子で遊べる場所が少ない	12 日常生活を支える福祉サービスが少ない
13 その他 ( )	



**問 17 現在、あなた自身や同居する家族の方で困っていることはありますか。また、お住まいの地域で、困っている人がいますか。(①と②それぞれ、あてはまるものすべてに○)**

項目	①あなたご自身や同居する家族の方で困っていることの有無	②お住まいの地域で、困っている人の有無
1 一人暮らしで不安や心細い思いをしている(人がいる)	1	1
2 障がいなどのために必要な情報が届かず困っている(人がいる)	2	2
3 支援を必要とする高齢者、障がい者など、介助者がおらず一人暮らしをしている(人がいる)	3	3
4 買い物などの外出が一人ではできない(人がいる)	4	4
5 草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている(人がいる)	5	5
6 食事づくりや洗濯などの家事をすることができない(人がいる)	6	6
7 日常生活での金銭管理がうまくできない(人がいる)	7	7
8 地域社会から孤立してひきこもりになっている(人がいる)	8	8
9 子育て・育児で不安や悩みを抱えている(人がいる)	9	9
10 外出などの時に、子どもや高齢者を預けることができなくて困っている(人がいる)	10	10
11 虐待で困っている(人がいる)	11	11
12 仕事がなく生活に困っている(人がいる)	12	12
13 その他	( )	( )
14 特にない(困っている人を知らない)	14	14

## 5. 「地域の変化」についておたずねします。

問 18 現在と今後の四街道市についておたずねします。

現在、地域で暮らす中で、良いと思っていること、変わると良いと思っていることは何ですか。

(「①良いと思っていること」、「②変わると良いと思っていること」に、それぞれ3つずつ○)

項目	① 良いと思っ ていること	② 変わると 良いと思っ ていること
1 地域の見守りや助け合いがあり、安心して暮らせる	1	1
2 家族のコミュニケーションが活発で結びつきが強い	2	2
3 地域での交流が活発である	3	3
4 いじめ、差別や偏見がない	4	4
5 日本で生活している外国の人たちとの交流が活発である	5	5
6 経済的な生活の不安がない	6	6
7 生涯にわたって、自らの健康を守り、健康づくりができる	7	7
8 介護する人が身体的・精神的な負担から開放されている	8	8
9 誰もが、仕事と生活を両立しながら、自分の希望する働き方ができる	9	9
10 ボランティア活動やNPO*活動が活発である	10	10
11 生涯にわたって学ぶことができ、その成果を活かすことができる	11	11
12 寝たきりや病気がちになっても生涯自分の家で暮らせる	12	12
13 障がいのある人たちが安心して外出できる基盤が充実している	13	13
14 災害時の地域における支援の仕組みがあり安心して暮らせる	14	14
15 安心して夜間外出できるなど治安が安定している	15	15
16 まちが清潔で自然も多く、憩いと安らぎを得られる	16	16

※NPO：民間の非営利組織のことで、政府・自治体や企業には含まれず、利益追求のためではなく、様々な社会問題の解決を目指して自立的に活動する組織・団体。

## 6. 「地域における支え合い」についておたずねします。

**問 19 民生委員・児童委員は社会福祉の精神を持って、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指して、さまざまな活動を行っています。**

**あなたはお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。(ひとつだけ○)**

- |              |            |        |
|--------------|------------|--------|
| 1 顔と名前を知っている | 2 名前を知っている | 3 知らない |
|--------------|------------|--------|

**問 20 民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知のものはどれですか。**

**(あてはまるものすべてに○)**

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 日常生活の悩みや心配事の相談   | 2 福祉に関する情報の提供 |
| 3 高齢者など支援が必要な人への訪問 | 4 子どもに関する相談   |
| 5 関係行政機関の依頼による事実確認 | 6 いずれも知らない    |

**問 21 あなたは社会福祉協議会をご存じですか。(ひとつだけ○)**

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 名前も活動の内容もよく知っている          |
| 2 名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない |
| 3 名前も活動の内容もよく知らない           |

## 7. 「福祉に関する情報・相談など」についておたずねします。

**問 22 福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)**

- |                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| 1 家族・親戚                     | 2 近所の人、友人・知人 |
| 3 民生委員・児童委員                 | 4 学校や職場      |
| 5 市の広報紙やパンフレット              | 6 市のホームページ   |
| 7 市役所の窓口(保健センターなどを含む)       | 8 社会福祉協議会の窓口 |
| 9 社会福祉協議会の広報紙やパンフレット        | 10 保健所       |
| 11 医療機関(医師・看護師など)や薬局        |              |
| 12 NPO やその他の民間団体(福祉関連事業者含む) |              |
| 13 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど          |              |
| 14 市のホームページ以外のインターネットの情報サイト |              |
| 15 特にない                     |              |
| 16 その他( )                   |              |

**問 23 福祉に関する行事や講座\*などにどの程度参加していますか。(ひとつだけ○)**

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| 1 よく参加している   | 2 ある程度参加している           |
| 3 あまり参加していない | 4 ほとんど、あるいはまったく参加していない |

\*福祉に関する行事や講座：子育てに関する行事や講座をはじめ、高齢者向けのもの、ボランティアに関するもの、健康に関するものなどのことです。



**問 27 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に相談していますか。**

(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親戚	2 近所の人
3 知人・友人	4 同じ悩みを持つ仲間
5 職場の人	6 医療機関の医師
7 自治会(町会)役員	8 民生委員・児童委員
9 社会福祉協議会	10 子育て支援センター
11 地域包括支援センター	12 障がい者相談支援事業所
13 警察	14 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど
15 NPOなどの民間団体	16 市役所
17 相談する人がいない	18 相談するつもりはない
19 その他( )	

**問 28-1 あなたやご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり、不満に思ったことはありますか。(ひとつだけ○)**

1 福祉サービスの利用に際し、不都合や不満を感じたことがある	→ 問 28-2へ
2 福祉サービスの利用に際し、不都合や不満を感じたことはない	→ 問 29へ
3 現在のところ、福祉サービスを必要としていない	→ 問 29へ

(問 28-1で「1」を選んだ人におたずねします。)

**問 28-2 不都合を感じたり、不満に思ったことは、どのようなことですか。**

(あてはまるものすべてに○)

1 福祉サービスに関する情報が入手しづらかった
2 どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった
3 相談窓口が自宅から遠く、不便だった(移動が面倒だった)
4 相談窓口の開設時間が限られており、利用しづらかった
5 利用を申し込んだが、窓口でたらいまわしにされた
6 相談や利用手続きが複数の窓口にわたり、面倒だった
7 利用手続きが煩雑だった
8 窓口の対応が悪かった
9 どのサービスが良いのかわからず、選びにくかった
10 利用したいサービスが利用できなかった
11 サービス内容に満足しなかった
12 その他( )

## 8. 「防災」についておたずねします。

問 29 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(ひとつだけ○)

- 1 参加している
- 2 以前参加したことはあるが、現在は参加していない
- 3 参加したことはない

問 30 災害時についての不安や心配事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 避難場所・避難所がわからないこと
- 2 避難場所・避難所が遠いこと
- 3 ご自身又は同居家族が災害時に一人で避難することが困難なこと
- 4 近所に一人で避難することが困難な人がいること
- 5 乳幼児がいたり、障がいがあるなどのため、避難所で過ごすことが困難なこと
- 6 災害時の情報がわかりづらいこと
- 7 食料や日用品の備蓄が不十分なこと
- 8 家具や家電の転倒対策が不十分なこと
- 9 老朽化などお住い(家屋)のこと
- 10 その他( )
- 11 特にない

## 9. 「福祉教育・学習」についておたずねします。

問 31 福祉教育・学習(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育・学習)について、どのように行うべきだと思いますか。(ひとつだけ○)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1 学校教育の中で学ぶ     | 2 家庭の中で親などから学ぶ    |
| 3 地域の活動などを通じて学ぶ | 4 生活していく中で自然に身につく |
| 5 その他( )        |                   |
| 6 特に必要はない       |                   |
| 7 わからない         |                   |

問 32 より暮らしやすい地域社会の実現に向けては、福祉はもちろん、より幅広い分野について、関心を持つ方や活動する方が増えることも重要なことといえます。

今後、学びたい・活動したいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 高齢者支援に関する活動	2 障がい者支援に関する活動
3 子育て支援に関する活動	4 健康づくり・医療に関する活動
5 地域の清掃・美化に関する活動	6 街の活性化などに関する活動
7 防犯・交通安全に関する活動	8 消防・防災・災害支援に関する活動
9 自然環境保護に関する活動	10 ごみ・リサイクルに関する活動
11 文化・芸術、スポーツに関する活動	
12 その他 ( )	

## 10. 「福祉全般」についておたずねします。

問 33 四街道市の地域での支え合いの現状についてどう思われますか。

(ア～エの項目にそれぞれひとつずつ○)

項目	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
ア 住民同士のつながり・支え合いがある	1	2	3	4	5
イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い	1	2	3	4	5
ウ 困ったときには、解決できるよう相談できる／助けてもらえる安心感がある	1	2	3	4	5
エ 暮らしている地域は安心・安全であると感じる	1	2	3	4	5



問 34 四街道市の、福祉関連の分野の施策について、

①下記項目の現状についてどう思われますか。(ア～タの項目にそれぞれひとつずつ○)

②また、今後どの分野に力を入れるべきと思いますか。

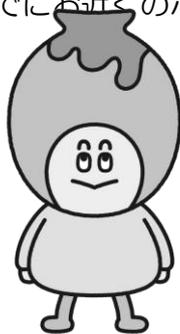
(ア～タの項目の中で、主なもの5つまでに○)

項目	①現状					② 今後
	大変 良い	まあ 良い	どちら でもない	やや 悪い	悪い	
ア 地域資源の活用(人的資源・公共施設・民間施設の活用)	1	2	3	4	5	ア
イ ボランティア意識の養成(ボランティア講座・学校教育・生涯学習の充実)	1	2	3	4	5	イ
ウ 社会福祉協議会・ボランティア団体やNPOなどへの支援の充実	1	2	3	4	5	ウ
エ 地域交流事業の促進(地域情報の発信、世代間交流の活発化、地域交流のイベントの支援)	1	2	3	4	5	エ
オ 生きがいの創造(生涯学習の推進、サークル活動の支援など)	1	2	3	4	5	オ
カ 健康の保持・増進を図る健康づくり	1	2	3	4	5	カ
キ 道路や交通環境・建物などのバリアフリー化	1	2	3	4	5	キ
ク 一人暮らしの高齢者や障がいのある人に対する災害時の支援体制の整備	1	2	3	4	5	ク
ケ 高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策	1	2	3	4	5	ケ
コ 障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉施策	1	2	3	4	5	コ
サ 子育てが安心してできる子育て支援施策	1	2	3	4	5	サ
シ 急病でも対応できるなど医療体制の整備	1	2	3	4	5	シ
ス 生活困窮者への経済的支援施策	1	2	3	4	5	ス
セ 国民健康保険・介護保険など保険事業の安定的運営	1	2	3	4	5	セ
ソ 人権の擁護(プライバシーの確保、人権問題の早期発見体制の確立)	1	2	3	4	5	ソ
タ 福祉に関する広報活動	1	2	3	4	5	タ

問35 市民の皆さんが助け合い・支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、もう一度お確かめの上、  
調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、  
6月23日（火）までにお近くのポストへ投函してください。





## (資料②)団体アンケート調査票

---

## 第3次四街道市地域福祉計画策定のための 地域福祉関連団体アンケート調査 ご協力をお願い

日ごろより福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

四街道市では、平成28年3月に策定した「第2次四街道市地域福祉計画」にもとづき、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、関係団体などと連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを進めております。

このたび、次期計画策定にあたり、地域福祉の中核を担う団体を対象に、各団体が実施している活動の状況や今後の方向性などをお聞きし、計画策定のための貴重な資料とさせていただくために本調査を実施することとなりました。

つきましては、お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年6月

四街道市長 佐渡 斉

### ご記入にあたってのお願い

- 質問によって、○印は（ひとつ）（3つまで）といった、ことわり書きが付してありますので、説明に従ってご回答ください。例)   
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。
- ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**6月23日（火）までにお近くの郵便ポストに投函してください。**（お名前やご住所の記入は不要です）
- 後日、調査票をもとに直接お会いして、より詳細なご意見などをお聞きする場合がございます。詳細につきましては、別途、ご連絡させていただきます。

### 【調査に関するお問い合わせ先】

四街道市 福祉サービス部 社会福祉課 担当：安井、秋山  
〒284-8555 四街道市鹿渡無番地  
電話：043-421-6121（直通）



**問 4 貴団体が活動を行う上で他のボランティア団体や公共団体などとの交流や協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)**

1 区・自治会	2 民生委員・児童委員
3 地区公民館	4 シニアクラブ
5 高齢者福祉施設	6 障がい者福祉施設
7 社会福祉協議会	8 ボランティア団体
9 NPO団体	10 商店会・商店街
11 保育園(所)・幼稚園	12 小・中学校
13 保護者会・PTA	14 その他( )
15 他の団体などと特に関係はない	

**問 5 現在、貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)**

1 活動のマナー化
2 人々のニーズに合った活動ができていない
3 支援を必要とする人の情報が得にくい
4 市民に情報発信する場や機会が乏しい
5 メンバーが不足しているが、メンバーの拡大が難しい
6 メンバーの高齢化
7 メンバーの性別に偏りがある
8 様々な人が興味を持ち、参加しやすい活動ができていない
9 地域コミュニティの希薄化
10 メンバーはいるが、参加率が低く、活動に支障がある
11 リーダー(後継者)が育たない
12 他の団体と交流する機会が乏しい
13 活動の場所(拠点)の確保が難しい
14 活動資金が足りない
15 活動に必要な情報や専門知識が不足している(適当な相談者がいない)
16 その他( )
17 特に困ったことはない

**問 6 貴団体の活動情報は、どのようなものを通じて、発信されていますか。(あてはまるものすべてに○)**

1 ホームページ	2 広報誌
3 チラシ・ポスター	4 メンバーなどを通じた口コミ
5 その他( )	

**問 7 貴団体は、新規メンバーの募集は行っていますか。(ひとつだけ○)**

1 積極的に行っている	2 あまり行っていない
3 まったく行っていない	4 わからない

**問 8 貴団体の活動に、市民の方が様子見として参加することはありますか。(ひとつだけ○)**

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 頻繁に参加がある | 2 たまに参加がある |
| 3 参加はない    | 4 わからない    |

**3. 地域包括ケアシステムなどについて、おたずねします。**

**問 9 「地域包括ケアシステム」(※)を知っていますか。(ひとつだけ○)**

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 よく知っている          | 2 少し知っている         |
| 3 聞いたことはあるが内容は知らない | 4 聞いたことがない/全然知らない |

※地域包括ケアシステムとは、介護が必要になった高齢者が、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に受けられる支援体制のことです。

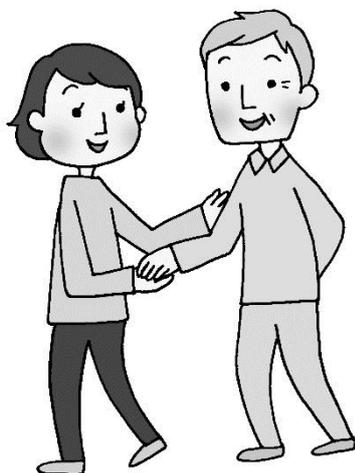
**問 10 「生活困窮者自立支援制度」(※)を知っていますか。(ひとつだけ○)**

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 よく知っている          | 2 少し知っている         |
| 3 聞いたことはあるが内容は知らない | 4 聞いたことがない/全然知らない |

※生活困窮者自立支援制度とは、働きたくても仕事がない、住む所がないなど生活上の困難に直面している方に対し、地域において自立した生活が行えるよう、一人ひとりの状況に応じた自立相談支援を行っていく支援サービスのことで。

**問 11 「四街道市地域福祉計画」を知っていますか。(ひとつだけ○)**

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 よく知っている          | 2 少し知っている         |
| 3 聞いたことはあるが内容は知らない | 4 聞いたことがない/全然知らない |



#### 4. 貴団体が活動する地域について、おたずねします。

問 12 地域の人が日常生活で困っていることには、どのようなことがありますか。 (あてはまるものすべてに○)

- 1 一人暮らしで不安や心細い思いをしている人がいる
- 2 障害などのために必要な情報が届かず困っている人がいる
- 3 支援を必要とする高齢者、障がい者など、介助者がおらず一人暮らしをしている人がいる
- 4 買い物などの外出が一人では大変な人がいる
- 5 草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる
- 6 食事づくりや洗濯などの家事をするのが大変な人がいる
- 7 日常生活での金銭管理がうまくできない人がいる
- 8 地域社会から孤立してひきこもりになっている人がいる
- 9 子育て・育児で不安や悩みを抱えている人がいる
- 10 外出などの時に、子どもや高齢者を預けることができなくて困っている人がいる
- 11 虐待を受けている子どもや高齢者、障がい者がいる
- 12 仕事がなく生活に困っている人がいる
- 13 困っている人を知らない
- 14 その他 ( )
- 15 特にない

問 13 日常生活で困っている人がいた場合、貴団体ではどのようなことをする必要があらうと思えますか。(主なもの3つまでに○)

- 1 日常生活で困っている人を直接助けること
- 2 何に困っているかを理解し、情報を提供すること
- 3 何に困っているかを理解し、公的サービスなどにつなげること
- 4 困っている人を手助けできる市民につなげること
- 5 困っている人を手助けできるような地域の雰囲気づくりを進めること
- 6 地域の支え合い活動をするための場所をつくること
- 7 地域の支え合い活動に必要な資金をつくること
- 8 地域の支え合い活動に関心を持つ人を組織化すること
- 9 現状のままでよい
- 10 その他 ( )

問 14 貴団体では、災害時の支援や孤独死・孤立死の防止などのために、区・自治会などを単位とした支援者が必要な個人情報を共有することについて、どのように思えますか。(ひとつだけ○)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 積極的に共有すべき  | 2 必要であれば共有してもよい |
| 3 あまり共有したくない | 4 一切共有すべきではない   |
| 5 わからない      |                 |

**問 15 地域での活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。**

**(主なもの5つまでに○)**

- 1 学校教育で重要性を教える
- 2 生涯学習で啓発活動を行う
- 3 ある程度強制的な参加体制をつくる
- 4 行政主導で組織づくりを進める
- 5 若い人の参加を促す
- 6 元気な高齢者の参加を促す
- 7 友人や家族と参加できる活動を増やす
- 8 身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体などを育成する
- 9 地域内の交流を深め、よりよい人間関係をつくる
- 10 身近な地域に活動拠点を設置する
- 11 地域の活動に関する相談・問い合わせなどを一本化する
- 12 活動内容などについて積極的に PR する
- 13 企業に労働時間の短縮やボランティア休暇などの普及を要請する
- 14 企業に対して資金援助を要請する
- 15 ボランティア団体間の連携を強化する
- 16 興味や関心を持てる活動内容にする
- 17 時間的に負担の少ない活動内容にする
- 18 体力的に負担の少ない活動内容にする
- 19 人間関係が負担にならないようにする
- 20 活動の中で趣味や特技、専門知識を生かせるようにする
- 21 知識・技術を有する人材やリーダーを養成する
- 22 表彰を行うなど社会的評価を高める
- 23 交通費などの実費を支払うようにする
- 24 少額でも報酬が支払われるようにする
- 25 活動資金や物品などを補助する
- 26 事故があった時の補償体制をつくる
- 27 その他 ( )

**問 16 ふだん活動されている中で、地域の人々からどのような日常の困り事、地域での問題などをお聞きますか。自由にお書きください。**

問 17 問 16 の地域での問題の中で、貴団体の活動として対応できるものにはどのようなことがあげられますか。自由にお書きください。

問 18 貴団体が活動するうえで、他の団体に協力してほしいことはありますか。自由にお書きください。

## 5. 四街道市の現状についておたずねします。

問 19 四街道市の地域での支え合いの現状についてどう思われますか。

(ア～エの項目にそれぞれひとつずつ○)

項目	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
ア 住民同士のつながり・支え合いがある	1	2	3	4	5
イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い	1	2	3	4	5
ウ 困ったときには、解決できるよう相談できる／助けてもらえる安心感がある	1	2	3	4	5
エ 暮らしている地域は安心・安全であると感じる	1	2	3	4	5

**6. 今後の活動についておたずねします。**

**問 20 貴団体の活動に関する事で、市や社会福祉協議会に対してご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。**

**問 21 貴団体の活動として、今後行政との協働でどのようなことに取り組めるとお考えですか。自由にお書きください。**

**問 22 その他、地域福祉の推進についてご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。**

**ご協力ありがとうございました。**

記入もれがないか、もう一度お確かめの上、  
調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、  
6月23日（火）までにお近くのポストへ投函してください。

## 第3次四街道市地域福祉計画策定に係る 基礎調査報告書

---

発行・編集：四街道市 福祉サービス部 社会福祉課  
発行年月：令和3年3月  
〒284-8555 四街道市鹿渡無番地  
電話：043-421-6121（直通）  
FAX：043-424-2011